

原子力発電所周辺の環境放射能調査

平成29年度第1四半期報告書

自：平成29年4月

至：平成29年6月

はじめに

福井県および日本原子力発電株式会社、関西電力株式会社、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構は、福井県環境放射能測定技術会議が定めた「原子力発電所周辺の環境放射能調査報告（計画書）」に基づき、原子力発電所周辺の環境放射線監視を実施しています。

平成29年4月から6月までの第1四半期の監視結果を、平成29年9月に開催された第243回福井県環境放射能測定技術会議において詳細に検討しました。

本報告書はこれら検討結果をとりまとめたものです。

福井県環境放射能測定技術会議

構成機関

福井県安全環境部原子力安全対策課

福井県原子力環境監視センター

福井県水産試験場

日本原子力発電株式会社

関西電力株式会社

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

目 次

1. 調査結果	1
2. 測定結果の概要	2
3. 添付資料	
3-1 調査方法	11
3-2 調査地点	13
第1図 空間線量率連続測定・積算線量測定地点（全域）	19
第2図 敦賀発電所および原子炉廃止措置研究開発センター周辺の試料採取地点	21
第3図 高速増殖原型炉もんじゅ周辺の試料採取地点	22
第4図 美浜発電所周辺の試料採取地点	23
第5図 大飯発電所周辺の試料採取地点	24
第6図 高浜発電所周辺の試料採取地点	25
第7図 比較対照エリア（対照地区）の試料採取地点	26
（参考）測定値の取り扱いについて	27
3-3 測定結果	
第1表 空間線量率連続測定結果（県テレメータシステム）	31
第2表 空間線量率連続測定結果（施設者 〃 ）	36
第3表 積算線量測定結果	43
第4表 浮遊じん放射能の連続測定結果	48
第5表 大気中のヨウ素-131分析結果	50
第6表 核種分析結果 その1 浮遊じん	51
第7表 〃 その2 陸 水	52
第8表 〃 その3 陸 土	53
第9表 〃 その4 農畜産物（原乳）	54
第10表 〃 その5 指標植物（ヨモギ）	55
第11表 〃 その6 指標植物（松葉(2年葉)）	56
第12表 〃 その7 降下物	57
第13表 〃 その8 海 水	58
第14表 〃 その9 海 底 土	59
第15表 〃 その10 海産食品	60
第16表 〃 その11 指標海産生物	61
（参考）今期のセシウム-137分析	62
第17表 トリチウム分析結果 その1 陸 水	63
第18表 〃 その2 大気中水分	64
第19表 〃 その3 雨 水	66
第20表 〃 その4 海 水	67

4. 参考資料

4-1	各発電所の運転実績	69
4-2	(1)各発電所の廃止措置作業状況	70
	(2)高速増殖原型炉もんじゅの試験進捗状況	72
4-3	各発電所の発電停止状況	73
4-4	各発電所の放射性廃棄物放出実績（気体廃棄物）	74
4-5	各発電所の放射性廃棄物放出実績（液体廃棄物）	77
4-6	各発電所の液体廃棄物の核種存在比	78

5. 付録

付録1	大気中水分、雨水（降水）のトリチウム分析結果について	80
付録2	国際放射線防護委員会勧告による放射線防護	82
付録3	軽水型原子力発電所に対する線量目標値	85

1. 調査結果

福井県環境放射能測定技術会議は、第 243 回定例会議において、「平成 29 年度調査計画（F E R C 第 49 巻 6 号）」に基づく平成 29 年 4 月～6 月期の調査結果について、詳細な検討を行った。

今期の調査件数は、次のとおりである。

線量率連続測定	97地点	積算線量測定	123地点
浮遊じん放射能の連続測定	11地点	環境試料	342試料

調査結果を要約すれば、下記のとおりである。

① 線量率連続測定および積算線量測定：

- ・ 県内発電所からの放射性物質の放出に起因する線量上昇は観測されなかった。

(第 1 表 (p.31～p.35)、第 2 表 (p.36～p.40)、第 3 表 (p.43～p.46) 参照)

② 浮遊じん放射能の連続測定：

- ・ いずれも天然放射能のレベルであった。

(第 4 表 (p.48～p.49) 参照)

③ 環境試料の放射能測定：

- ・ 陸土、指標植物、海水、海底土、海産食品および指標海産生物の一部試料からセシウム-137が検出されたが、いずれも環境安全上問題となるレベルに比べはるかに低い濃度であった。これらは県内の原子力発電所に起因するものではなく、過去の核実験フォールアウトが主要因であり、福島第一原子力発電所事故等の影響が加わっていると考えられる。

(第 5 表 (p.50) ～第 1 6 表 (p.61) 参照)

- ・ 大気中水分および雨水から発電所の通常の放射性廃棄物管理放出に伴うトリチウムが検出されたが、いずれも環境安全上問題となるレベルと比べ、はるかに低い濃度であった。

(第 1 7 表 (p.63)～第 2 0 表 (p.67) 参照)

したがって、今期の調査結果において、県内原子力発電所の運転による環境安全上の問題となる影響は認められなかった。

以下に、今期の測定結果の概要を測定項目毎に述べる。

2 測定結果の概要

(1) 空間線量

① テレメータシステムによる線量率連続測定

県および事業者が 97 地点で行っているテレメータシステムによる線量率の常時監視結果では、表－1 に示したように、[平均値+標準偏差(σ)の3倍] (p.27(1)参照) を超える線量率が観測されているが、静穏時の大気中ラドン娘核種濃度の上昇による影響が、敦賀・白木・美浜エリアの 2 地点(敦賀地区) で最大 2 時間、大飯・高浜エリアの 1 地点(広域監視地区) で最大 1 時間認められた以外は、いずれも降雨によるものであり、県内発電所からの放射性物質の放出に起因する線量率上昇はなかった。

図－1 に今期の線量率連続測定結果を示す。図には各測定地点の 1 時間値をもとに算出した 3 ヶ月間の平均値、最高値、最低値を示した。

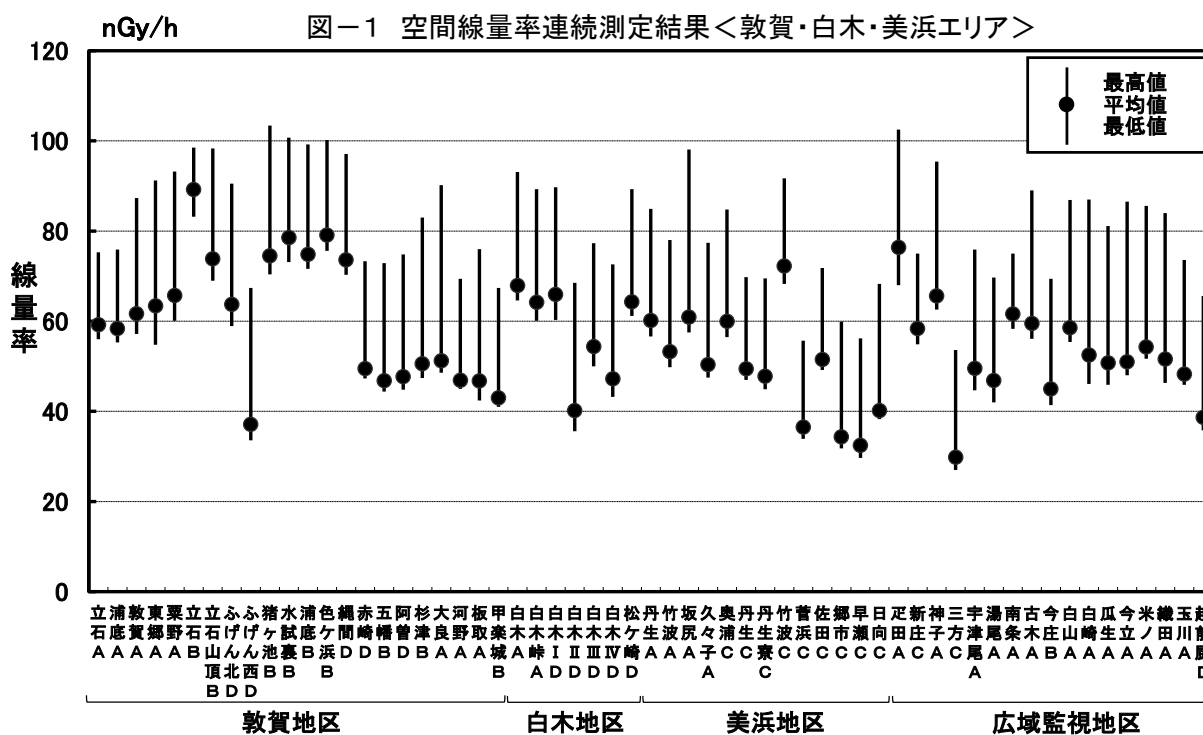
(第 1 表 (p.31~p.35)、第 2 表 (p.36~p.40) 参照)

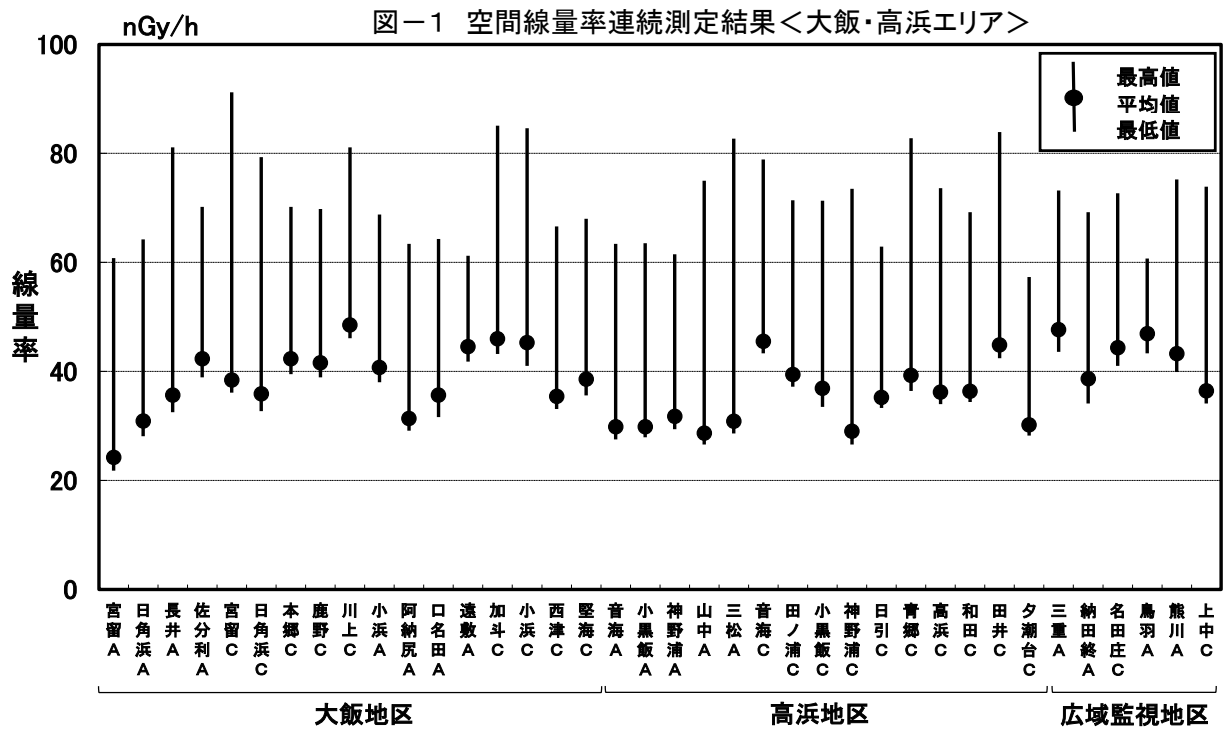
表－1 「平均値+3σ」を超えた原因とその時間

エリア	地区 (地点数)	降 雨	降雨以外	発電所
敦賀・白木・美浜	敦賀 (22)	1~24	0~2	0
	白木 (7)	12~20	0	0
	美浜 (13)	13~22	0	0
	広域監視 (17)	11~23	0	0
大飯・高浜	大飯 (17)	11~22	0	0
	高浜 (15)	9~21	0	0
	広域監視 (6)	9~26	0~1	0

(注1) 上記の評価は 1 時間値をもとに行った。

(注2) 降雨の欄には、各地区で観測された月毎の時間数の最高と最低を示した。





② 積算線量

今期の積算線量測定結果を「測定値の取り扱い(p.27(2)参照)」により評価した結果、発電所の運転による線量上昇は観測されなかった。図-2に積算線量測定結果を示す。

(第3表(p.43~p.46)参照)

図-2 積算線量測定結果<敦賀・白木・美浜エリア>(1)

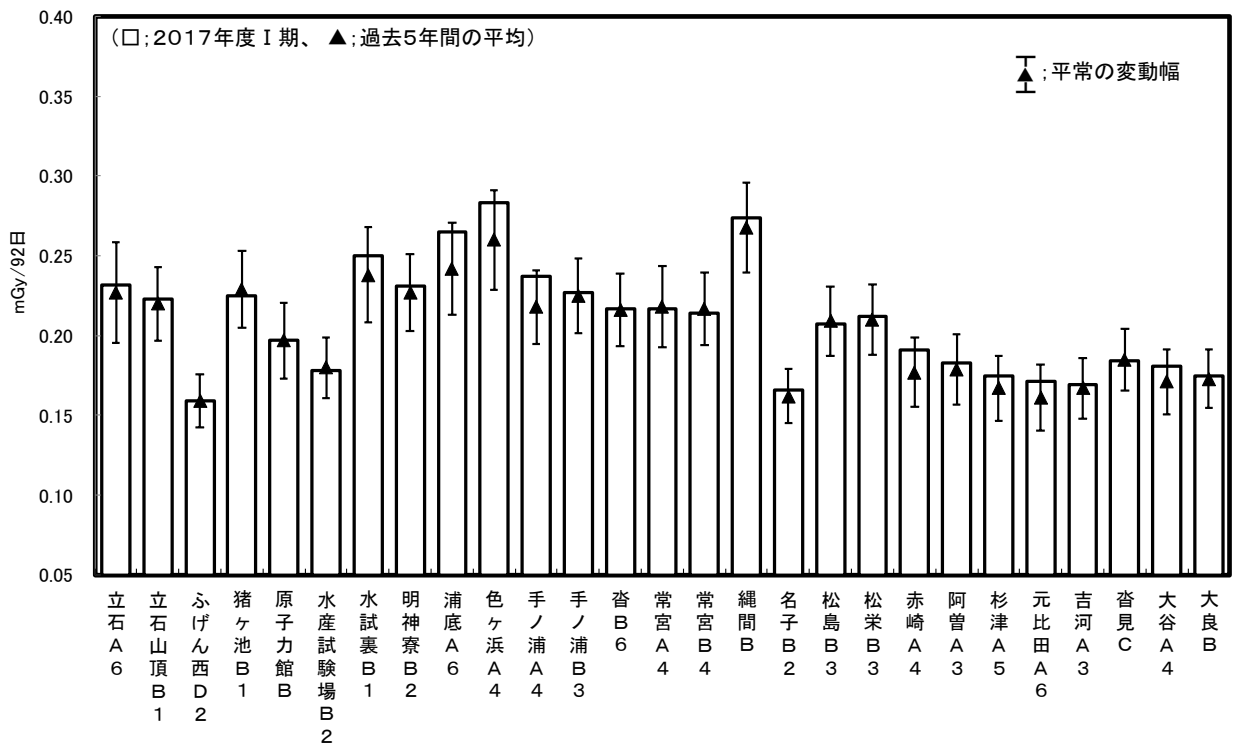


図-2 積算線量測定結果<敦賀・白木・美浜エリア>(2)

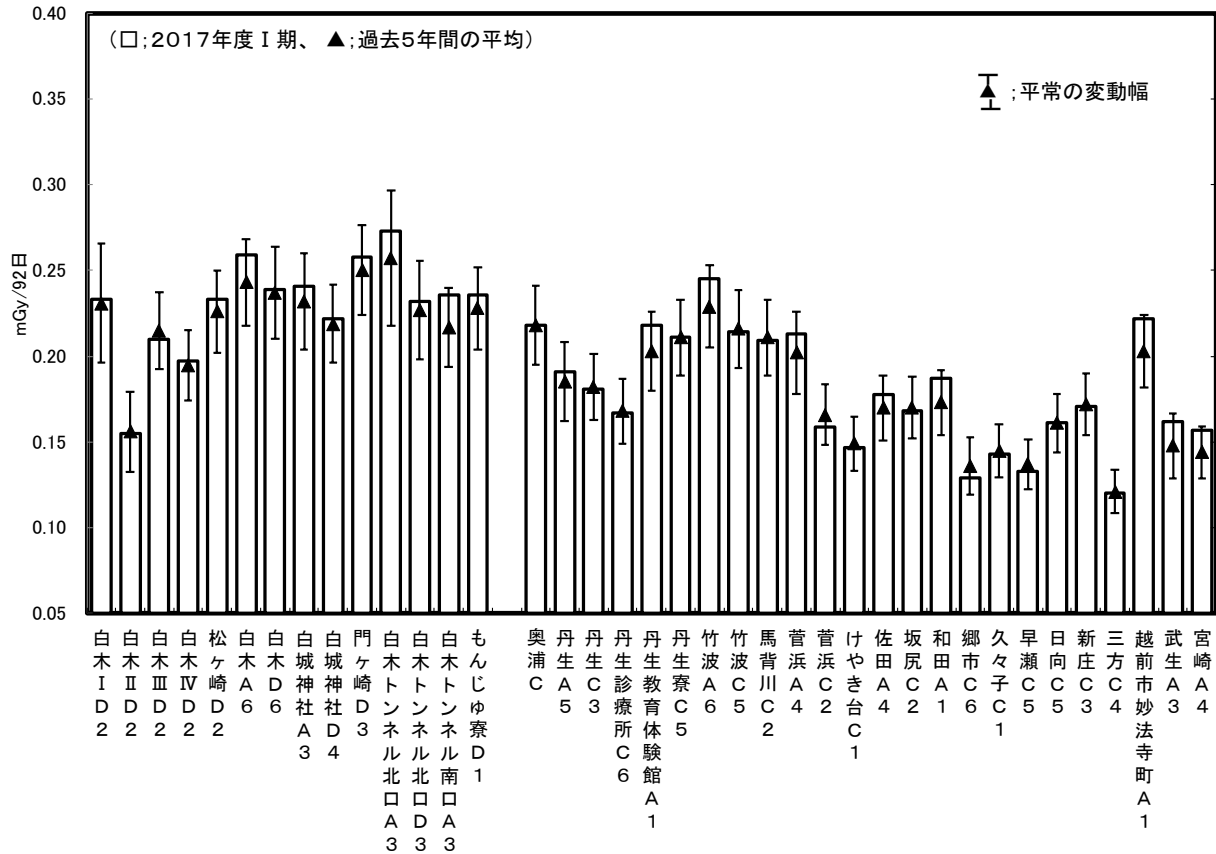


図-2 積算線量測定結果<大飯・高浜エリア>(1)

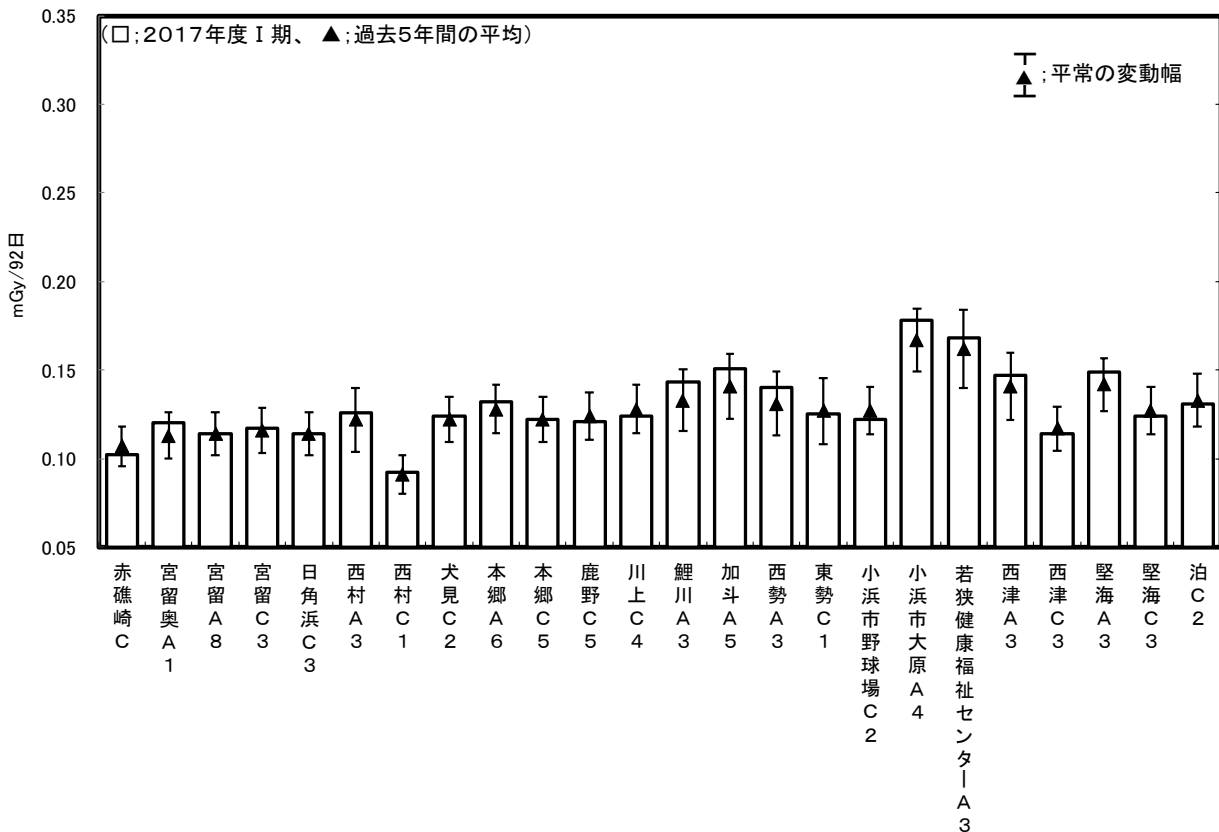
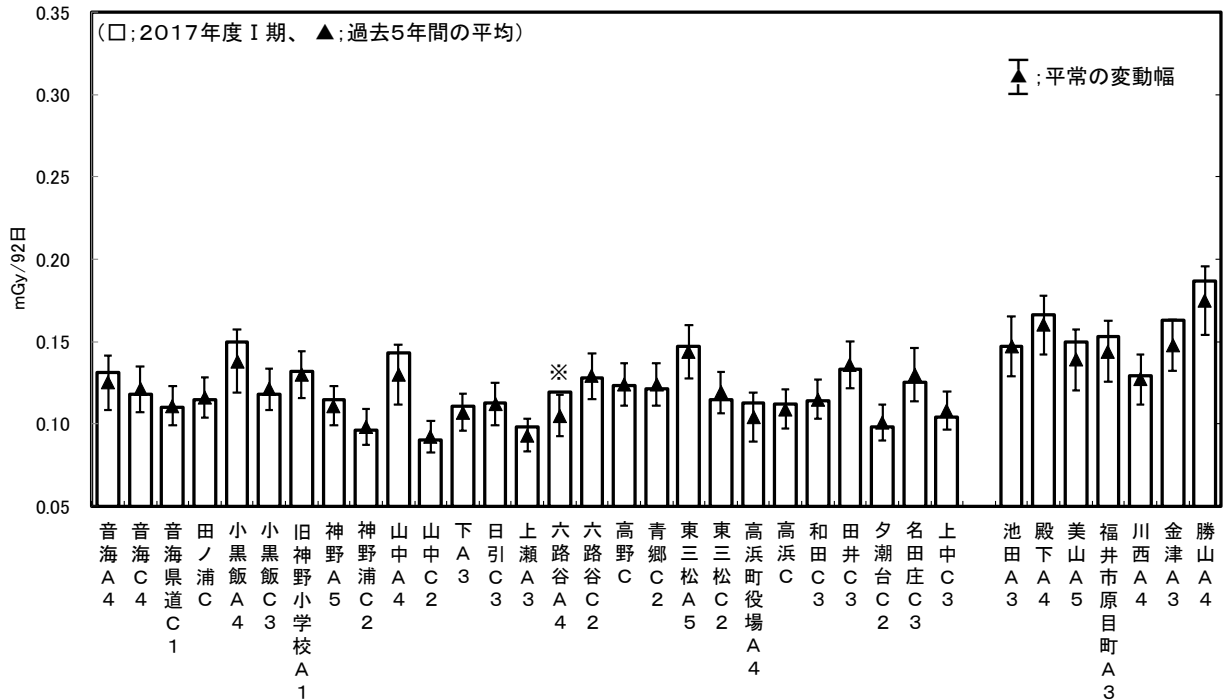


図-2 積算線量測定結果<大飯・高浜エリア>(2)および<比較対照地区>



※六路谷 A 4 は、測定値の統計的なばらつきにより、平常の変動幅をわずかに上回った。

(2) 浮遊じん放射能の連続測定

今期の浮遊じん連続測定の結果、発電所由来の人工放射性核種を監視する指標のベータ/アルファ放射能濃度比では、県内発電所の運転に起因する変動は観測されなかった。またベータおよびアルファ放射能濃度は、いずれも天然放射能のレベルであった。

(第4表(p.48~p.49)参照)

(3) 各種環境試料のゲルマニウム検出器による核種分析

表-2-1および表-2-2 (p.7~p.8) に今期検出された目的核種等^{注1}の試料毎の検出数と検出範囲を示す。人工放射性核種が検出された試料毎の結果を以下に示す。

① 陸土

一部の試料からセシウム-137 が検出されたが、その濃度は過去3か年実績の範囲内であり、過去の核実験フォールアウト等^{注2}の影響と考えられる。

② 指標植物

一部の試料からセシウム-137 が検出されたが、その濃度は過去3か年実績の範囲内であり、過去の核実験フォールアウト等^{注2}の影響と考えられる。

③ 海水

全ての試料からセシウム-137 が検出されたが、その濃度は過去3か年実績の範囲内であり、過去の核実験フォールアウト等^{注2}の影響と考えられる。

④ 海底土

一部の試料からセシウム-137 が検出されたが、その濃度は過去実績の範囲内であり、過去の核実験フォールアウト等^{注2}の影響と考えられる。

⑤ 海産食品

一部の試料からセシウム-137 が検出されたが、その濃度は過去3か年実績の範囲内であり、過去の核実験フォールアウト等^{注2}の影響と考えられる。

⑥ 指標海産生物

一部の試料からセシウム-137 が検出されたが、その濃度は過去3か年実績の範囲内であり、過去の核実験フォールアウト等^{注2}の影響と考えられる。

(第5表(p.50)～第16表(p.61)参照)

(注1) 目的核種は試料によって異なる。詳細は調査方法(p.11～p.12)を参照。

(注2) 過去の核実験フォールアウト等とは、過去の核実験フォールアウトに加え、チェルノブイリ事故や福島第一原子力発電所事故の影響を含む。

表-2-1 目的核種等が検出された試料数と濃度範囲(陸上試料)

(単位：浮遊じん(mBq/m³)、陸水(mBq/l)、降下物(Bq/m²)、その他(Bq/kg))

試料	核種	調査 試料 数	地区	検出された試料数		検出濃度範囲	
				Cs-137	Cs-134	Cs-137	Cs-134
陸上	浮遊じん	48	敦賀	0	0	—	—
			白木	0	0		
			美浜	0	0		
			大飯	0	0		
			高浜	0	0		
			対照	0	0		
	陸水	10	敦賀	0	0	—	—
			白木	0	0		
			美浜	0	0		
			大飯	0	0		
			高浜	0	0		
			対照	0	0		
	陸土	7	敦賀	1	0	ND~18	—
			白木	0	0		
			美浜	1	0		
			大飯	1	0		
			高浜	1	0		
			対照	2	0		
	農畜産物(原乳)	2	美浜	0	0	—	—
			対照	0	0		
	指標植物 (ヨモギ)	12	敦賀	0	0	ND~0.2	—
			白木	0	0		
			美浜	1	0		
			大飯	0	0		
			高浜	0	0		
			対照	1	0		
	指標植物 (松葉)	4	敦賀	0	0	—	—
			白木	/	/		
美浜			0	0			
大飯			0	0			
高浜			0	0			
対照			/	/			
降下物	33	敦賀	0	0	—	—	
		白木	0	0			
		美浜	0	0			
		大飯	0	0			
		高浜	0	0			
		対照	0	0			

ND または [—] は検出限界値未満。0.0 は 0.05 未満で検出限界値以上の測定値を示す。

[/] は調査対象外であることを示す(以下の表-2-2~表-3についても同様)。

表-2-2 目的核種等が検出された試料数と濃度範囲(海洋試料)

(単位：海水(mBq/l)、その他(Bq/kg))

試料	核種	調査 試料数	地区	検出された試料数		検出濃度範囲	
				Cs-137	Cs-134	Cs-137	Cs-134
海洋	海水	17	敦賀	4	0	ND~2.8	—
			白木	2	0		
			美浜	4	0		
			大飯	2	0		
			高浜	4	0		
			対照	1	0		
	海底土	19	敦賀	0	0	ND~5.4	—
			白木	0	0		
			美浜	2	0		
			大飯	0	0		
			高浜	4	0		
	対照	/	/				
	海産食品(魚類)	13	敦賀	1	0	ND~0.3	—
			白木	2	0		
			美浜	4	0		
			大飯	3	0		
			高浜	1	0		
	対照	1	0				
	海産食品(貝類)	5	敦賀	1	0	ND~0.0	—
			白木	0	0		
			美浜	0	0		
			大飯	0	0		
			高浜	/	/		
	対照	0	0				
	海産食品(藻類)	19	敦賀	0	0	—	—
			白木	0	0		
			美浜	0	0		
大飯			0	0			
高浜			0	0			
対照	0	0					
指標海産生物	22	敦賀	0	0	ND~0.1	—	
		白木	0	0			
		美浜	1	0			
		大飯	0	0			
		高浜	2	0			
対照	0	0					

(4) 陸水、大気中水分、雨水、海水のトリチウム

表-3にトリチウムの測定結果の要約を示す。各地区の陸水および海水のトリチウムからはいずれも発電所の影響は観測されなかった。

大気中水分および雨水から発電所の通常の放射性廃棄物管理放出に伴うトリチウムが検出されたが、環境安全上問題となるレベルと比べ、はるかに低い濃度であった。

(第17表(p.63)～第20表(p.67)参照)

表-3 今期のトリチウム分析結果

(単位：Bq/ℓ)

地区・期間 試料	敦賀地区		白木地区		美浜地区	
	今期	14～16年度	今期	14～16年度	今期	14～16年度
陸水	0.9	ND ～ 1.7	0.5	ND ～ 1.0	0.8 ～ 1.2	ND ～ 1.6
大気中水分	0.8 ～ 3.2	0.5 ～ 6.5	0.6 ～ 1.4	ND ～ 2.8	1.1 ～ 2.3	0.7 ～ 3.4
雨水	0.9 ～ 1.3	0.7 ～ 2.5	0.8 ～ 1.0	0.4 ～ 1.5	1.0 ～ 1.2	0.5 ～ 1.6
海水	ND ～ 0.6	ND ～ 9.6	0.6 ～ 0.8	ND ～ 1.2	ND ～ 0.6	ND ～ 2.4

地区・期間 試料	大飯地区		高浜地区		対照地区	
	今期	14～16年度	今期	14～16年度	今期	14～16年度
陸水	0.6	ND ～ 1.1	0.6 ～ 0.7	ND ～ 1.0	0.7	ND ～ 0.8
大気中水分	1.4 ～ 2.3	0.9 ～ 3.3	2.6 ～ 5.5	1.4 ～ 12	0.9 ～ 1.6	ND ～ 2.0
雨水	1.0 ～ 1.1	0.7 ～ 3.0	1.2 ～ 2.3	0.6 ～ 6.3	0.6	ND ～ 1.3
海水	ND ～ 0.4	ND ～ 1.3	ND ～ 1.5	ND ～ 3.5	ND	ND ～ 0.6

(注1) 実績欄の値は、対象となる試料の過去3ヶ年全ての測定結果を地区毎に集計したものである。

(注2) 「/」は今期対象外であることを示す。

(参考1) 成人の預託実効線量が 0.05 ミシーベルトとなる大気および食品中の核種濃度

(単位：大気 (mBq/m³)、その他 (Bq/kg 生))

	大気	魚類	無脊椎動物	藻類	葉菜
¹³¹ I	410	43	420	210	170
¹³⁴ Cs	300	36	360	180	140
¹³⁷ Cs	150	53	520	260	210
³ H	/	16,000	160,000	81,000	32,000
⁹⁰ Sr	/	24	240	120	98
²³⁹ Pu	/	2.7	27	14	11
1日あたりの摂取量	22.2 m ³	200 g	20 g	40 g	100 g

1日あたり最下段の量を1年間摂取し続けるとした場合の濃度。トリチウム(³H)以外の核種において葉菜の除染係数を0.5とした。海藻や葉菜の保存後の放射能の減衰は考慮されていない。トリチウムは有機結合型トリチウムとした場合の値。

(参考2) 成人の預託実効線量が 0.05 ミシーベルトとなるトリチウム濃度(単位：Bq/ℓ)

水道水	大気中水分
2,900	34,000

トリチウムが海水から海産物(魚貝藻類)へ移行し、それを成人が1年間摂取した場合に預託実効線量が0.05ミシーベルトとなる海水中トリチウム濃度は12,000Bq/ℓである。ただし、すべて有機結合型トリチウムと仮定した。

3. 添付資料

3-1	調査方法	11
3-2	調査地点	13
	第1図 空間線量率連続測定・積算線量測定地点（全域）	19
	第2図 敦賀発電所および原子炉廃止措置研究開発センター周辺の試料採取地点	21
	第3図 高速増殖原型炉もんじゅ周辺の試料採取地点	22
	第4図 美浜発電所周辺の試料採取地点	23
	第5図 大飯発電所周辺の試料採取地点	24
	第6図 高浜発電所周辺の試料採取地点	25
	第7図 比較対照エリア（対照地区）の試料採取地点	26
	（参考）測定値の取り扱いについて	27
3-3	測定結果	
	第1表 空間線量率連続測定結果（県テレメータシステム）	31
	第2表 空間線量率連続測定結果（施設者 〃 ）	36
	第3表 積算線量測定結果	43
	第4表 浮遊じん放射能の連続測定結果	48
	第5表 大気中のヨウ素-131分析結果	50
	第6表 核種分析結果 その1 浮遊じん	51
	第7表 〃 その2 陸 水	52
	第8表 〃 その3 陸 土	53
	第9表 〃 その4 農畜産物（原乳）	54
	第10表 〃 その5 指標植物（ヨモギ）	55
	第11表 〃 その6 指標植物（松葉(2年葉)）	56
	第12表 〃 その7 降下物	57
	第13表 〃 その8 海 水	58
	第14表 〃 その9 海底土	59
	第15表 〃 その10 海産食品	60
	第16表 〃 その11 指標海産生物	61
	（参考）今期のセシウム-137分析	62
	第17表 トリチウム分析結果 その1 陸 水	63
	第18表 〃 その2 大気中水分	64
	第19表 〃 その3 雨 水	66
	第20表 〃 その4 海 水	67

3-1 調査方法

(イ) 調査期間：2017年4月～2017年6月

(ロ) 調査機関および測定項目

- 県 (A)：空間線量、浮遊じん、陸水、陸土、農畜産物（原乳）、指標植物（ヨモギ）、降水物、海水、海底土、海産食品、指標海産生物、大気中水分、雨水
- 原電(B)：空間線量、浮遊じん、指標植物（松葉）、降水物、海水、海底土、海産食品、指標海産生物、大気中水分、雨水
- 関電(C)：空間線量、浮遊じん、指標植物（松葉）、降水物、海水、海底土、海産食品、指標海産生物、大気中水分、雨水
- 機構(D)：空間線量、浮遊じん、降水物、海水、海底土、海産食品、指標海産生物、大気中水分、雨水

(ハ) 調査件数

線量率連続測定	97地点	核種分析	海水	17試料	
積算線量	123地点		海底土	19試料	
浮遊じん放射能濃度の連続測定	11地点		海産食品	37試料	
環境試料	核種分析	環境試料	指標海産生物	22試料	
			陸水	10試料	
			トリウム	大気中水分	42試料
			陸土	7試料	
			雨水(3ヶ月混合試料)	11試料	
			原乳	2試料	
			海水	26試料	
			指標植物(ヨモギ)	12試料	
指標植物(松葉)	4試料	環境試料合計	342試料		
降水物	33試料				

(ニ) 調査地点：3-2および第1図～第7図参照

(ホ) 測定器：平成29年度原子力発電所周辺の環境放射能調査計画（FERC第49巻6号）に記載のとおり。

(ヘ) 測定法：

(a) 空間線量測定法

線量率 (連続測定)	固定建屋屋上に設置した、①エネルギー補償方式のNaI(Tl)シンチレーション式線量率計および②加圧型の電離箱式線量率計（一部半導体検出器）を用いてテレメータシステムによる集中監視。	NaI(Tl)シンチレーション式線量率計の校正は、 ²²⁶ Ra3.7MBq等の密封線源を用い垂直方向1mで照射して実施。
積算線量	①各地点に3本(6素子)の熱ルミネッセンス線量計(TLD)を配備し、3ヶ月毎の積算線量を測定。(県、関電) ②各地点に1台の電子式線量計を配備し、3ヶ月毎の積算線量を測定。(原電) ③各地点に4個の蛍光ガラス線量計を配備し、3ヶ月毎の積算線量を測定。(原子力機構)	①測定器の校正は ¹³⁷ Csで、約0.2～0.3mGy照射したTLDを使用。 ②電子式線量計の校正は ¹³⁷ Csで、約0.2～0.3mGy照射して実施。 ③蛍光ガラス線量計の校正は ¹³⁷ Csで、約0.2～0.3mGy照射して実施。

(b) 浮遊じんの放射能測定法

浮遊じん	HE-40T長尺ろ紙(90m)を用い毎分約100ℓで3時間吸引し、ろ紙送りする。吸引中、ろ紙に吸着した放射能のアルファ(α)線およびベータ(β)線を波形弁別方式により同時測定し、それぞれの計数値より平衡仮定した3時間平均濃度を求め、β/α放射能濃度比を求める。	検出器計数効率の校正は、浮遊じんの捕集試料と同一形状の密封線源(³⁶ Cl, ²⁴¹ Am)により実施する。
------	--	---

(c)ゲルマニウム検出器による核種分析測定法

区分	試料	測定試料形態		測定用試料量		目的核種	参考核種	天然核種
陸上モニタリング	大気中ヨウ素	県	活性炭カートリッジ [®] CHC-50 (TEDA 添着炭)	約 400m ³ (連続採取)		¹³¹ I (ガス状)		
	浮遊じん	県	ろ紙 (HE-40T)	約 4000m ³ (連続採取)		²² Na, ⁵⁴ Mn, ⁵⁸ Co, ⁶⁰ Co, ¹³¹ I, ¹³⁴ Cs, ¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru, ¹⁴⁴ Ce,	⁷ Be
			ろ紙 (GB-100R)	約 1000m ³ (1日採取)				
	陸水	原電・関電・機構	ろ紙 (HE-40T)	約 2000m ³ (連続採取)		⁵⁴ Mn, ⁵⁸ Co, ⁶⁰ Co, ¹³¹ I, ¹³⁴ Cs, ¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru, ¹⁴⁴ Ce,	⁷ Be, ⁴⁰ K, Th-, U-系列
			直接 (マリネピッカー)	2ℓ				
	陸土		乾燥ふるい、2mm 以下 (0~5cm で採取)		乾土 300 g 程度	⁵⁴ Mn, ⁵⁸ Co, ⁶⁰ Co, ¹³⁴ Cs, ¹³⁷ Cs		
	指標植物		乾燥物 (粉碎)		生 400 g 程度	²² Na, ⁵⁴ Mn, ⁵⁸ Co, ⁶⁰ Co, ¹³¹ I, ¹³⁴ Cs, ¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru, ¹⁴⁴ Ce,	⁷ Be, ⁴⁰ K
	農畜産物	大根葉	乾燥物 (粉碎)		生 500 g 程度	²² Na, ⁵⁴ Mn, ⁵⁸ Co, ⁶⁰ Co, ¹³¹ I, ¹³⁴ Cs, ¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru, ¹⁴⁴ Ce, ¹⁴⁰ Ba	⁷ Be, ⁴⁰ K
			原乳	直接 (マリネピッカー)		2ℓ	⁵⁴ Mn, ⁵⁸ Co, ⁶⁰ Co, ¹³¹ I, ¹³⁴ Cs, ¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru, ¹⁴⁴ Ce
	降下物	樹脂吸着	原電・関電	約 0.2m ² 以上	約 0.2m ² 以上	²² Na, ⁵⁴ Mn, ⁵⁸ Co, ⁶⁰ Co, ¹³¹ I, ¹³⁴ Cs, ¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru, ¹⁴⁴ Ce, ¹⁴⁰ Ba	⁷ Be
機構			約 0.5m ²					
海洋モニタリング	海水	MnO ₂ 法、AMP 法		20ℓ	⁵⁴ Mn, ⁵⁸ Co, ⁵⁹ Fe, ⁶⁰ Co, ¹³⁴ Cs, ¹³⁷ Cs			
	海底土	乾燥ふるい、2mm 以下 (主にエクマンパージ採泥器で採取)		乾土 300 g 程度	⁵⁴ Mn, ⁵⁸ Co, ⁶⁰ Co, ¹³⁴ Cs, ¹³⁷ Cs		⁷ Be, ⁴⁰ K, Th-, U-系列	
	海産食品	魚類	灰化物		生 1kg 程度	²² Na, ⁵⁴ Mn, ⁵⁸ Co, ⁶⁰ Co, ¹³⁴ Cs, ¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru, ¹⁴⁴ Ce	⁷ Be, ⁴⁰ K
		貝類	灰化物		生 (除殻) 200 g 程度			
		藻類	乾燥物 (粉碎)		生 500g 程度	²² Na, ⁵⁴ Mn, ⁵⁸ Co, ⁶⁰ Co, ¹³¹ I, ¹³⁴ Cs, ¹³⁷ Cs		
指標海産生物		乾燥物 (粉碎)		生 1kg 程度	²² Na, ⁵⁴ Mn, ⁵⁸ Co, ⁶⁰ Co, ¹³¹ I, ¹³⁴ Cs, ¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru, ¹⁴⁴ Ce, ¹⁴⁰ Ba		

(注) 計測時間は 500 分以上。試料採取から測定までの期間は、¹³¹I を対象とする試料は 10 日以内、¹³¹I を対象としない試料は 30 日以内を目標とする。測定容器は各機関ともプラスチック製カップウェア V-1 (直径 60mm、高さ 30mm)、V-2 (同 80mm、40mm)、V-3 (同 95mm、50mm)、マリネピッカー (2ℓ) を使用する。

(d)液体シンチレーション検出器によるトリチウム測定法

分析試料	採取方法	測定試料	測定
蛇口水	蛇口より直接採取	採取時試料	蒸留後、試料水40ml「50ml」に 乳化シンチレーター60ml「50ml」 を加え、冷暗所に保管。 500分 (50分×10回) 測定。 検出限界値 0.5~1 Bq/ℓ (注) 「」内は県および原子力機構が採用。
大気中水分	除湿機による	月間試料	
雨水	トリチウム用雨水採取器	3ヶ月間の月別 加重平均混合試料	
海水	船から直接採取	採取時試料	

(注) トリチウム分析結果は Bq/ℓ で表示する。

3-2 調査地点

第1表 線量率連続測定地点

<敦賀・白木・美浜エリア>

敦賀地区	立石 A ☆ (八坂神社)	(1)
	浦底 A ☆ (明神寮下県道脇)	(2)
	敦賀 A (福井県敦賀合同庁舎)	(3)
	東郷 A (咸新小学校)	(4)
	栗野 A (黒河小学校)	(5)
	立石 B (集落入口県道脇)	(6)
	立石山頂 B (山頂付近)	(7)
	ふげん北 D (北敷地境界付近)	(8)
	ふげん西 D (西敷地境界付近)	(9)
	猪ヶ池 B (敦賀原子力館下)	(10)
	水試裏 B (水産試験場裏)	(11)
	浦底 B (県道脇・剣神社西)	(12)
	色ヶ浜 B (白山神社)	(13)
	縄間 D (西浦駐在所横)	(14)
	赤崎 D (赤崎区民センター)	(15)
	五幡 B (東浦公民館)	(16)
	阿曾 D (東浦体育館)	(17)
	杉津 B (東浦小中学校下国道脇)	(18)
	大良 A (道の駅河野)	(19)
	河野 A (南越前町河野総合事務所)	(20)
	板取 A (今庄365スキー場)	(21)
	甲楽城 B (河野小学校前)	(22)
白木地区	白木 A ☆ (白木公民館東県道脇)	(1)
	白木峠 A ☆ (旧道市町境)	(2)
	白木Ⅰ D (北東敷地境界)	(3)
	白木Ⅱ D (東南東敷地境界)	(4)
	白木Ⅲ D (南南東敷地境界)	(5)
	白木Ⅳ D (南西敷地境界)	(6)
	松ヶ崎 D (松ヶ崎)	(7)
美浜地区	丹生 A ☆ (丹生バス停)	(1)
	竹波 A ☆ (竹波区内公園)	(2)
	坂尻 A (坂尻トンネル東側出口南)	(3)
	久々子 A (美浜町総合体育館)	(4)
	奥浦 C (奥浦公園奥)	(5)
	丹生 C (丹生診療所)	(6)
	丹生寮 C (関電丹生寮)	(7)
	竹波 C (高那弥神社)	(8)
	菅浜 C (農業構造改善センター)	(9)
	佐田 C (美浜東小学校)	(10)
	郷市 C (美浜町役場)	(11)
	早瀬 C (水無月神社)	(12)
	日向 C (日向漁業センター)	(13)

広域監視地区	疋田 A (愛発公民館)	(1)
	新庄 C (日吉神社)	(2)
	神子 A (岬小学校)	(3)
	三方 C (若狭町役場三方庁舎)	(4)
	宇津尾 A (広野地区農業集落排水処理施設)	(5)
	湯尾 A (南越消防組合南消防署)	(6)
	南条 A (南越前町役場)	(7)
	古木 A (南越前町ふるさと交流センターきらめき)	(8)
	今庄 B (南越前町今庄総合事務所前国道脇)	(9)
	白山 A (白山小学校)	(10)
	白崎 A (越前市白崎公園)	(11)
	瓜生 A (越前市瓜生水と緑公園)	(12)
	今立 A (越前市今立歴史民族資料館)	(13)
	米ノ A (越前南部地区漁業集落排水処理施設)	(14)
	織田 A (織田中学校)	(15)
	玉川 A (越前町玉川地区集会施設)	(16)
	越前厨 D (城崎小学校脇)	(17)

☆印の地点では、浮遊じん放射能の連続測定を行っている

第1表 線量率連続測定地点(つづき)

<大飯・高浜エリア>

大 飯 地 区	宮 留 A ☆ (袖ヶ浜海水浴場)	(1)	広 域 監 視 地 区	三 重 A (名田庄総合運動場)	(1)
	日 角 浜 A ☆ (大島小学校)	(2)		納 田 終 A (頭巾山青少年旅行村)	(2)
	長 井 A (地区ゲートボール場横)	(3)		名 田 庄 C (名田庄観光館)	(3)
	佐 分 利 A (きのこの森)	(4)		鳥 羽 A (鳥羽小学校)	(4)
	宮 留 C (エルパーク大飯下三叉路)	(5)		熊 川 A (道の駅若狭熊川宿)	(5)
	日 角 浜 C (旧大島公民館)	(6)		上 中 C (上中体育館)	(6)
	本 郷 C (おおい町役場)	(7)			
	鹿 野 C (佐分利小学校)	(8)			
	川 上 C (川上公民館)	(9)			
	小 浜 A (小浜市役所)	(10)			
	阿 納 尻 A (内外海小学校)	(11)			
	口 名 田 A (小浜市総合運動場)	(12)			
	遠 敷 A (福井県若狭合同庁舎)	(13)			
	加 斗 C (加斗小学校)	(14)			
	小 浜 C (小浜市営野球場)	(15)			
	西 津 C (小浜漁協西津支所)	(16)			
	堅 海 C (県栽培漁業センター)	(17)			
高 浜 地 区	音 海 A ☆ (旧音海小中学校)	(1)			
	小 黒 飯 A ☆ (集落北県道脇)	(2)			
	神 野 浦 A ☆ (気比神社)	(3)			
	山 中 A (内浦小中学校)	(4)			
	三 松 A (JR三松駅)	(5)			
	音 海 C (音海漁港奥)	(6)			
	田 ノ 浦 C (南東敷地境界)	(7)			
	小 黒 飯 C (白浜トンネル北口)	(8)			
	神 野 浦 C (集落南西道路脇)	(9)			
	日 引 C (旧日引小学校)	(10)			
	青 郷 C (青郷小学校)	(11)			
	高 浜 C (高浜小学校)	(12)			
	和 田 C (和田小学校)	(13)			
	田 井 C (田井グラウンド)	(14)			
	夕 潮 台 C (夕潮台公園)	(15)			

☆印の地点では、浮遊じん放射能の連続測定を行っている。

(調査地点の詳細 つづき) その2 積算線量測定地点

<敦賀・白木・美浜エリア>

敦賀地区	立石 A 6 (八坂神社)	(1)
	立石山頂 B 1 (原電モーターリングポスト)	(2)
	ふげん西 D 2 (西敷地境界付近)	(3)
	猪ヶ池 B 1 (原電モーターリングポスト)	(4)
	原子力館 B (敦賀原子力館敷地)	(5)
	水産試験場 B 2 (水産試験場)	(6)
	水試裏 B 1 (原電モーターリングポスト)	(7)
	明神寮 B 2 (明神寮)	(8)
	浦底 A 6 (剣神社)	(9)
	色ヶ浜 A 4 (本隆寺)	(10)
	手ノ浦 A 4 (舟幸寺)	(11)
	手ノ浦 B 3 (舟幸寺)	(12)
	沓 B 6 (常福寺)	(13)
	常宮 A 4 (常宮小学校)	(14)
	常宮 B 4 (常宮神社)	(15)
	縄間 B (宗清寺)	(16)
	名子 B 2 (名子バス停)	(17)
	松島 B 3 (原電松島寮)	(18)
	松栄 B 3 (敦賀地方合同庁舎)	(19)
	赤崎 A 4 (赤崎小学校グラウンド)	(20)
	阿曾 A 3 (ふれあい会館)	(21)
	杉津 A 5 (東浦小中学校)	(22)
	元比田 A 6 (集落掲示板横)	(23)
	吉河 A 3 (原子力センター)	(24)
	沓見 C (原子力発電訓練センター)	(25)
	大谷 A 4 (八幡神社)	(26)
大良 B (大良集会所)	(27)	
白木地区	白木 I D 2 (北東敷地境界)	(1)
	白木 II D 2 (東南東敷地境界)	(2)
	白木 III D 2 (南南東敷地境界)	(3)
	白木 IV D 2 (南西敷地境界)	(4)
	松ヶ崎 D 2 (機構モーターリングステーション)	(5)
	白木 A 6 (県テレメ観測局)	(6)
	白木 D 6 (白木公民館東県道脇)	(7)
	白城神社 A 3 (神社鳥居横)	(8)
	白城神社 D 4 (")	(9)
	門ヶ崎 D 3	(10)
	白木トンネル北口 A 3	(11)
	白木トンネル北口 D 3	(12)
	白木トンネル南口 A 3 (渓流水貯水池横)	(13)
	もんじゅ寮 D 1 (もんじゅ寮前)	(14)

美浜地区	奥浦 C (奥浦公園奥)	(1)
	丹生 A 5 (中村旅館)	(2)
	丹生 C 3 (丹生漁港)	(3)
	丹生診療所 C 6 (丹生診療所)	(4)
	丹生教育体験館 A 1 (旧丹生小中学校)	(5)
	丹生寮 C 5 (関電丹生寮)	(6)
	竹波 A 6 (県テレメ観測局)	(7)
	竹波 C 5 (高那弥神社)	(8)
	馬背川 C 2 (ポンプ場)	(9)
	菅浜 A 4 (旧菅浜保育所)	(10)
	菅浜 C 2 (民宿藤田横)	(11)
	けやき台 C 1 (けやき台ハイツ)	(12)
	佐田 A 4 (あおなみ保育園)	(13)
	坂尻 C 2 (三谷商店前)	(14)
	和田 A 1 (ふる里交流センター)	(15)
	郷市 C 6 (美浜町役場)	(16)
	久々子 C 1 (県園芸試験場)	(17)
	早瀬 C 5 (水無月神社)	(18)
	日向 C 5 (日向漁業センター)	(19)
広域監視地区	新庄 C 3 (日吉神社)	(1)
	三方 C 4 (若狭町役場三方庁舎)	(2)
	越前市妙法寺町 A 1 (白山神社)	(3)
	武生 A 3 (丹南土木事務所)	(4)
	宮崎 A 4 (宮崎中学校)	(5)

(調査地点の詳細 つづき) その2 積算線量測定地点

<大飯・高浜エリア>

大 飯 地 区	赤 礁 崎 C (関電あかぐり崎クラブ) (1)
	宮 留 奥 A 1 (あかぐり海釣公園) (2)
	宮 留 A 8 (宮留区生活改善センター横) (3)
	宮 留 C 3 (エルパーク大飯下三叉路) (4)
	日 角 浜 C 3 (旧大島公民館) (5)
	西 村 A 3 (常禅寺) (6)
	西 村 C 1 (西村トシ南口県道脇) (7)
	犬 見 C 2 (集落手前道端) (8)
	本 郷 A 6 (町営住宅サンハイムうらら) (9)
	本 郷 C 5 (おおい町役場) (10)
	鹿 野 C 5 (佐分利小学校) (11)
	川 上 C 4 (川上公民館) (12)
	鯉 川 A 3 (牛尾神社) (13)
	加 斗 A 5 (加斗小学校) (14)
	西 勢 A 3 (民宿つどい前ゲートボール場) (15)
	東 勢 C 1 (旧道脇) (16)
	小浜市野球場 C 2 (小浜市営野球場) (17)
	小浜市大原 A 4 (栖雲寺) (18)
	若狭健康福祉センター A 3 (19)
	西 津 A 3 (水産高校) (20)
	西 津 C 3 (小浜漁協西津支所) (21)
	堅 海 A 3 (旧堅海小学校) (22)
	堅 海 C 3 (県栽培漁業センター) (23)
	泊 C 2 (大谷旅館前) (24)
高 浜 地 区	音 海 A 4 (児玉旅館) (1)
	音 海 C 4 (音海漁港奥) (2)
	音海県道 C 1 (日本海港湾保稅上屋入口門付近) (3)
	田 ノ 浦 C (南東敷地境界) (4)
	小 黒 飯 A 4 (寿奎寺裏旧道脇) (5)
	小 黒 飯 C 3 (白浜トシ北口) (6)
	旧神野小学校 A 1 (7)
	神 野 A 5 (桃源寺) (8)
	神 野 浦 C 2 (関電モニタポスト) (9)
	山 中 A 4 (県テレメ観測局) (10)
	山 中 C 2 (JA若狭内浦出張所) (11)
	下 A 3 (産霊神社) (12)
	日 引 C 3 (旧日引小学校) (13)
	上 瀬 A 3 (山神神社) (14)
	六 路 谷 A 4 (ふれあい会館) (15)
	六 路 谷 C 2 (杉森神社横) (16)
	高 野 C (旧青郷小学校高野分校) (17)
	青 郷 C 2 (青郷小学校) (18)
	東 三 松 A 5 (東三松グラウンド) (19)
	東 三 松 C 2 (民宿菘の家) (20)
	高浜町役場 A 4 (高浜町役場旧庁舎前庭) (21)
	高 浜 C (高浜小学校) (22)
	和 田 C 3 (和田小学校) (23)
	田 井 C 3 (田井グラウンド) (24)
	夕 潮 台 C 2 (夕潮台公園) (25)

広 域 監 視 地 区	名 田 庄 C 3 (名田庄観光館) (1)
	上 中 C 3 (上中体育館) (2)

<比較対照エリア>

対 照 地 区	池 田 A 3 (池田町役場) (1)
	殿 下 A 4 (殿下小学校) (2)
	美 山 A 5 (美山児童館) (3)
	福井市原目町 A 3 (福井分析管理室) (4)
	川 西 A 4 (川西中学校) (5)
	金 津 A 3 (坂井健康福祉センター) (6)
	勝 山 A 4 (奥越土木(勝山)) (7)

(調査地点の詳細 つづき) その3 陸上試料採取地点(定点)

項目	地区	採取地点	
大 ヨ 気 ウ 中 素 131	敦賀 白木 美浜 大飯 高浜	浦底A (県テレメ観測局)	
		白木A (県テレメ観測局)	
		竹波A (県テレメ観測局)	
		宮留A (県テレメ観測局)	
		日角浜A (県テレメ観測局)	
		小黒飯A (県テレメ観測局)	
		神野浦A (県テレメ観測局)	
浮 遊 じ ん	敦賀	立石A (県テレメ観測局) *	
		立石B (原電モニタリングステーション)	
		浦底A (県テレメ観測局)	
		浦底B (原電モニタリングステーション)	
		色ヶ浜B (原電モニタリングステーション)	
		白木	白木A (県テレメ観測局)
			白木峠A (県テレメ観測局) *
		美浜	松ヶ崎D (機構モニタリングステーション)
			丹生A (県テレメ観測局) *
		大飯	丹生 (関電モニタポスト横)
	竹波A (県テレメ観測局)		
	宮留A (県テレメ観測局)		
	宮留 (関電モニタポスト横)		
	日角浜A (県テレメ観測局)		
	高浜		音海A (県テレメ観測局) *
			音海 (関電モニタポスト横)
	小黒飯A (県テレメ観測局)		
	小黒飯 (関電モニタポスト横)		
	神野浦A (県テレメ観測局)		
	対照	福井市原目町 (福井分析管理室)	
陸 水	敦賀 白木 美浜 大飯 高浜 対照	浦底 (水産試験場)	
		白木 (民家)	
		丹生 (民家)	
		菅浜 (菅浜多目的広場)	
		竹波 (落合川)	
		宮留 (民家)	
		音海 (民家)	
		神野浦 (区集会所)	
		日引 (旧日引小学校)	
		対照	福井市原目町 (福井分析管理室)
陸 土	敦賀 白木 美浜 大飯 高浜 対照	明神町 (猪ヶ池野鳥園)	
		白木 (川崎重工事務所)	
		竹波 (高那弥神社)	
		宮留 (県テレメ観測局横)	
		神野浦 (気比神社)	
		対照	福井市原目町 (衛環研) 勝山市池ヶ原 (奥越高原牧場)
指標 植物 (ヨモギ)	敦賀 白木 美浜 大飯 高浜 対照	浦底	
		白木	
		竹波	
		日角浜	
		小黒飯	
		対照	福井市原目町

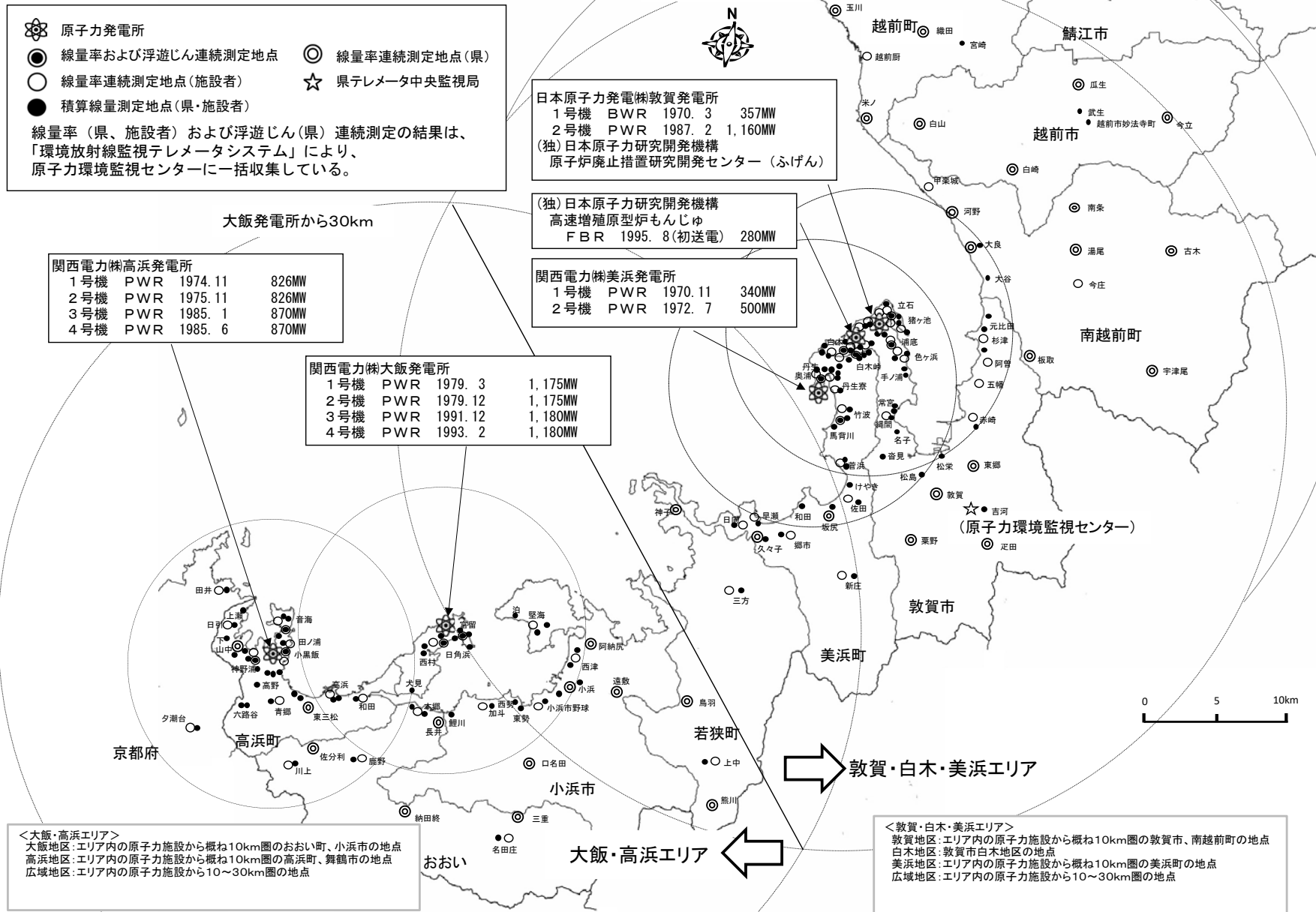
項目	地区	採取地点	
指標 植物 (松葉)	敦賀 美浜 大飯 高浜	浦底 (明神寮)	
		丹生 (奥浦公園入口付近)	
農畜 産物 (原乳)	美浜 対照	畑村 (県道脇)	
		小黒飯 (白浜トンネル上)	
降 下 物	敦賀	山上 (敦賀原子力館)	
		勝山市池ヶ原 (明神寮)	
	白木	白木 (川崎重工事務所)	
		松ヶ崎 (機構モニタリングステーション)	
	美浜	竹波 (落合川取水場)	
		丹生 (関電丹生寮)	
	大飯	宮留 (県テレメ観測局)	
		日角浜 (ヴィラ大島)	
	高浜	小黒飯 (県テレメ観測局)	
		小和田 (小和田ポンプ所)	
対照	福井市原目町 (福井分析管理室)		
大 気 中 水 分	敦賀 白木 美浜 大飯 高浜 対照	立石A (県テレメ観測局)	
		猪ヶ池B (原電モニタリングポスト)	
		浦底A (県テレメ観測局)	
		浦底B (原電モニタリングステーション)	
		色ヶ浜B (原電モニタリングステーション)	
		白木	白木A (県テレメ観測局)
			白木峠A (県テレメ観測局)
		美浜	竹波A (県テレメ観測局)
			竹波 (落合川取水場)
		大飯	宮留A (県テレメ観測局)
日角浜 (関電モニタポスト横)			
高浜	小黒飯A (県テレメ観測局)		
	神野浦 (関電モニタポスト横)		
対照	福井市原目町 (福井分析管理室)		

(注1) *の地点は採取のみを行い、必要に応じて測定を行う。

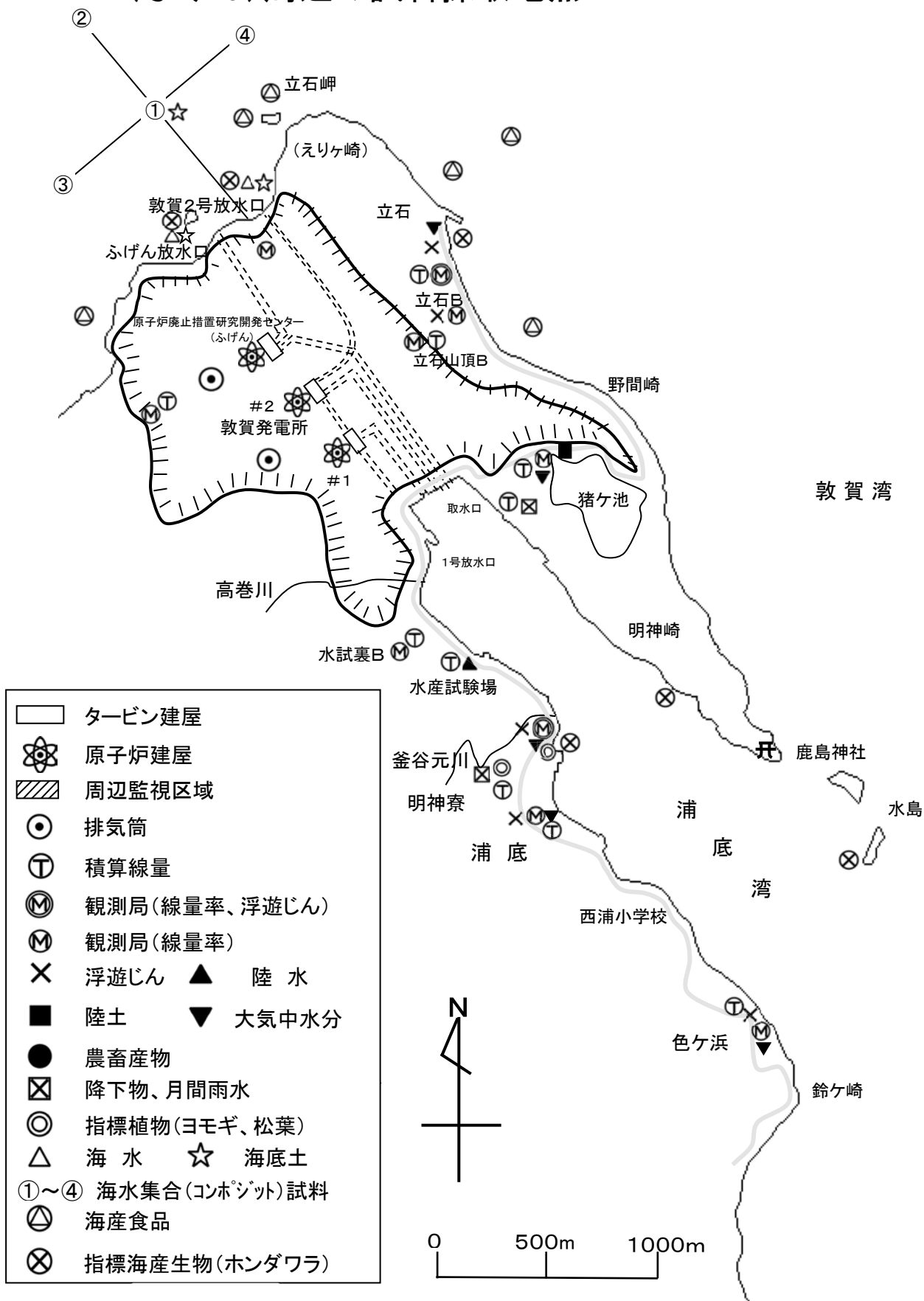
(注2) 海洋試料の詳細な採取地点は図2～図7の採取地点図と各測定結果の採取地点欄に示されている。

調査地点

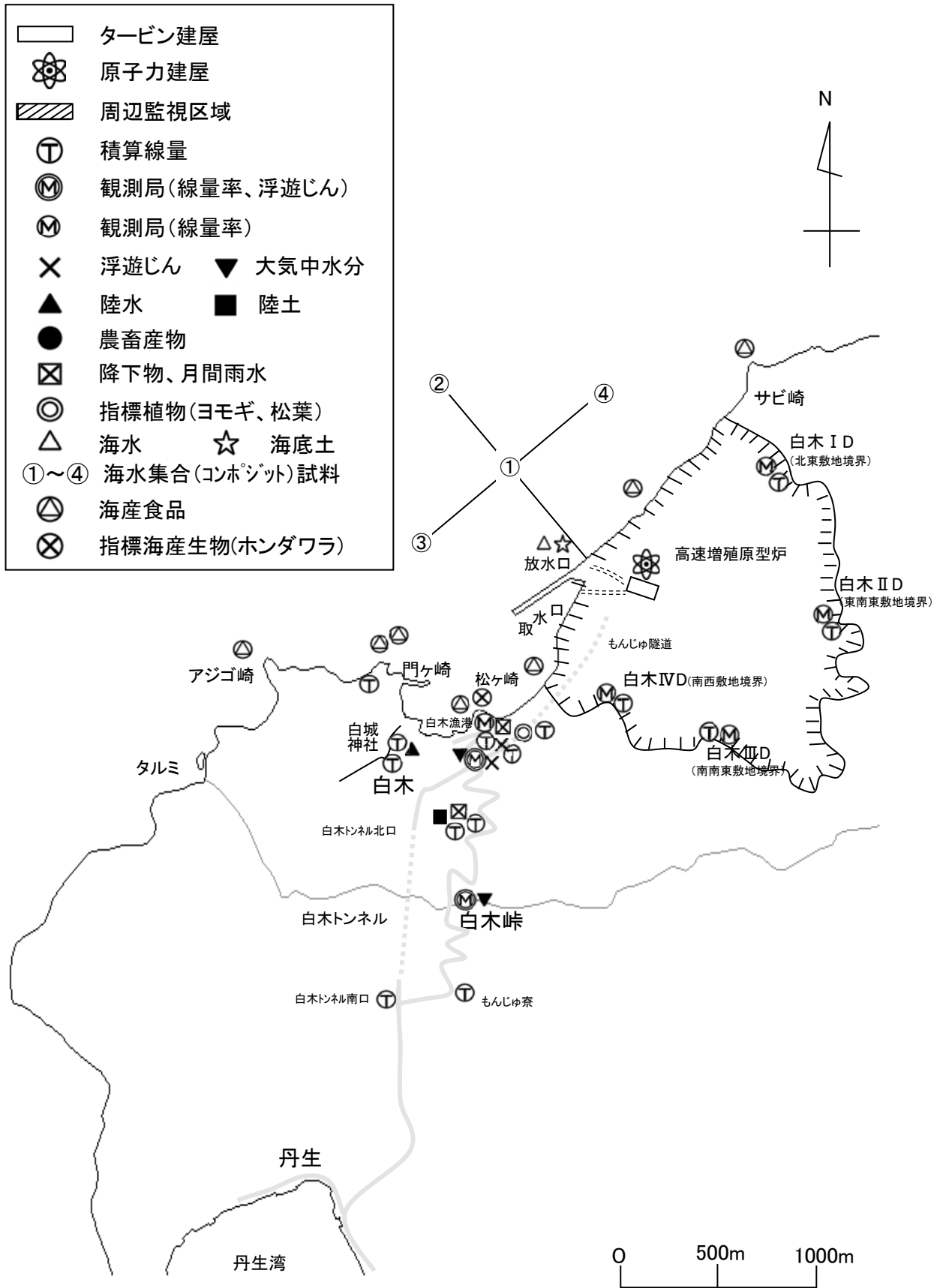
第1図 空間線量率連続測定・積算線量測定地点(全域)



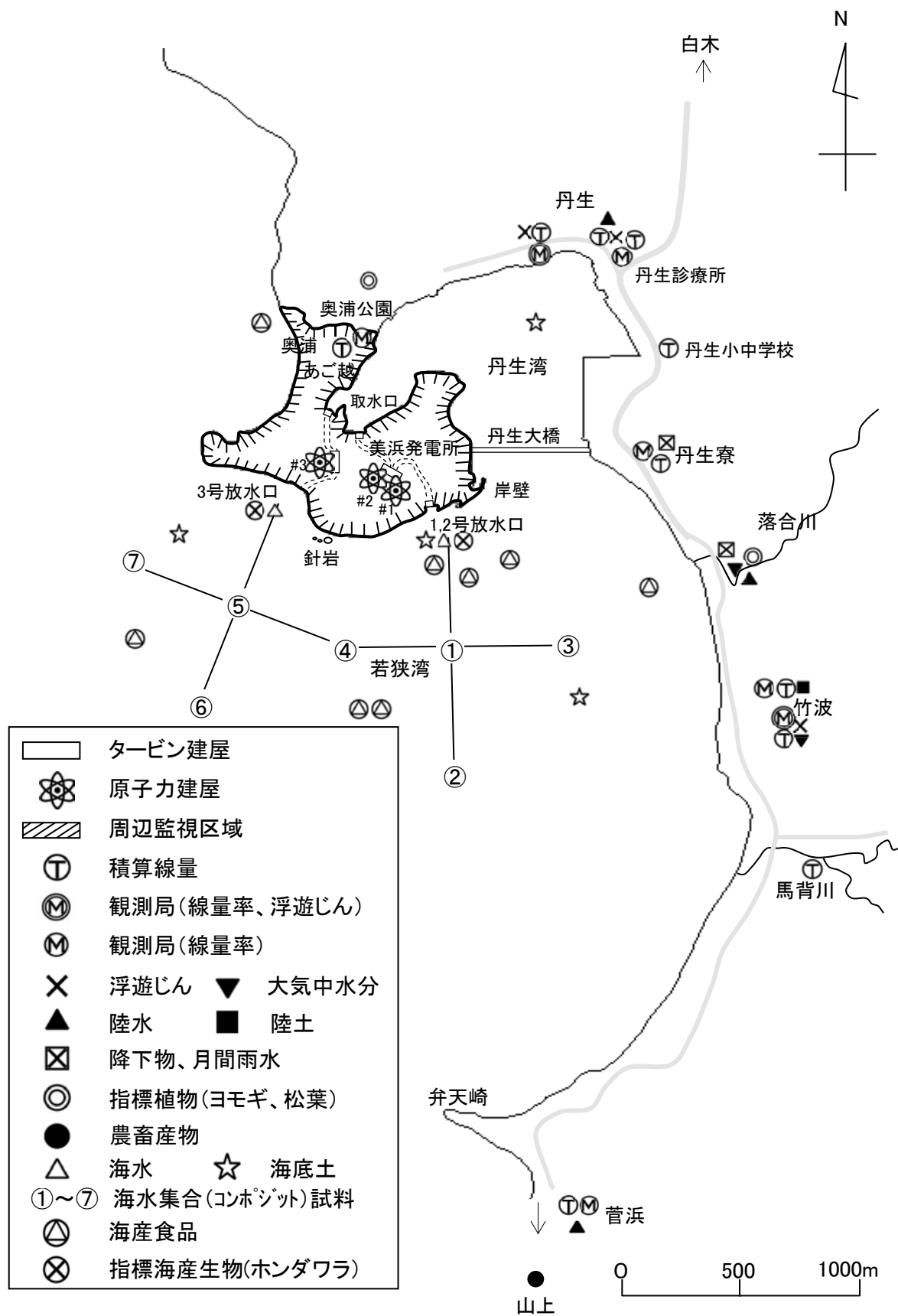
第2図 敦賀発電所および原子炉廃止措置研究開発センター(ふげん)周辺の試料採取地点



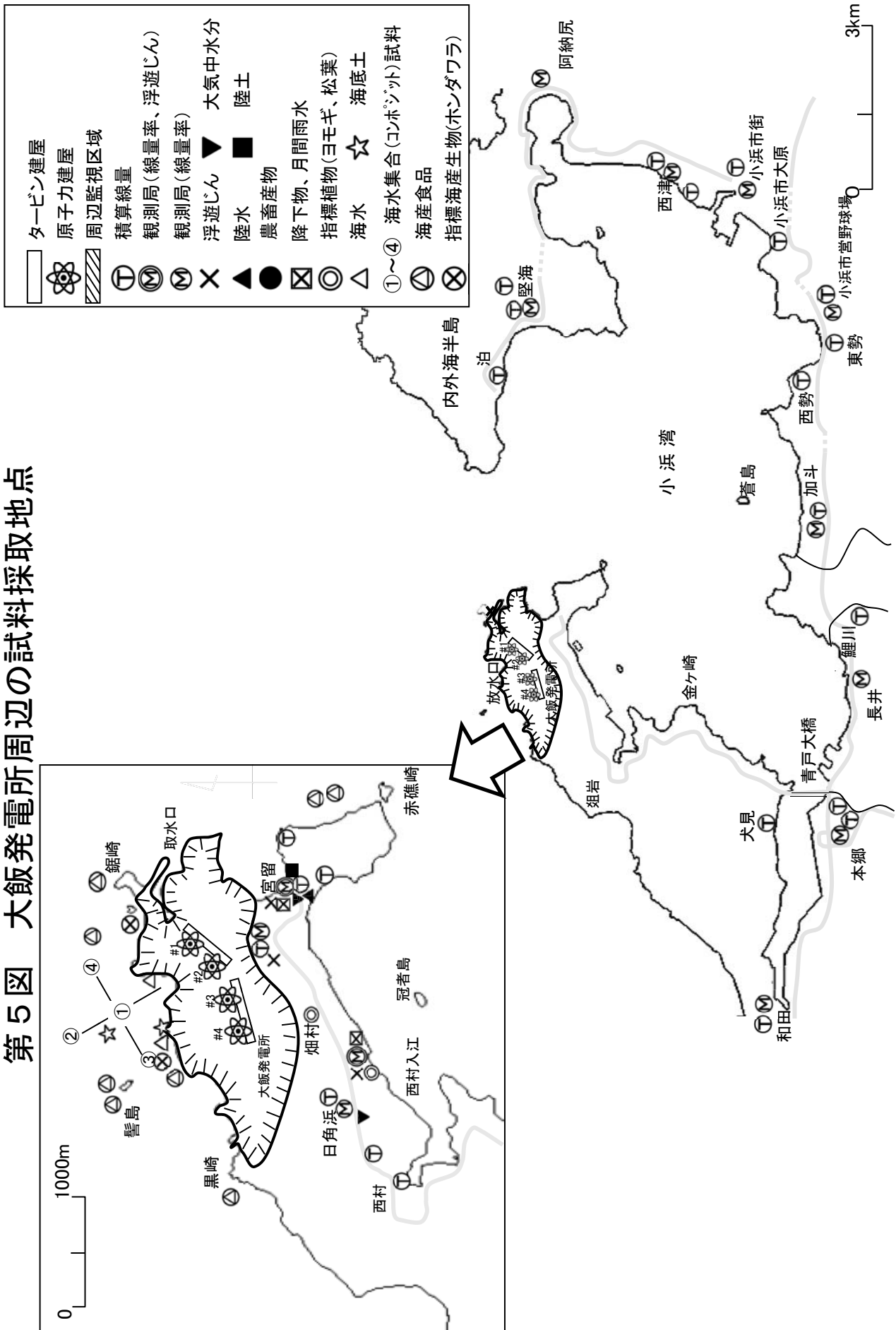
第3図 高速増殖原型炉もんじゅ周辺の試料採取地点



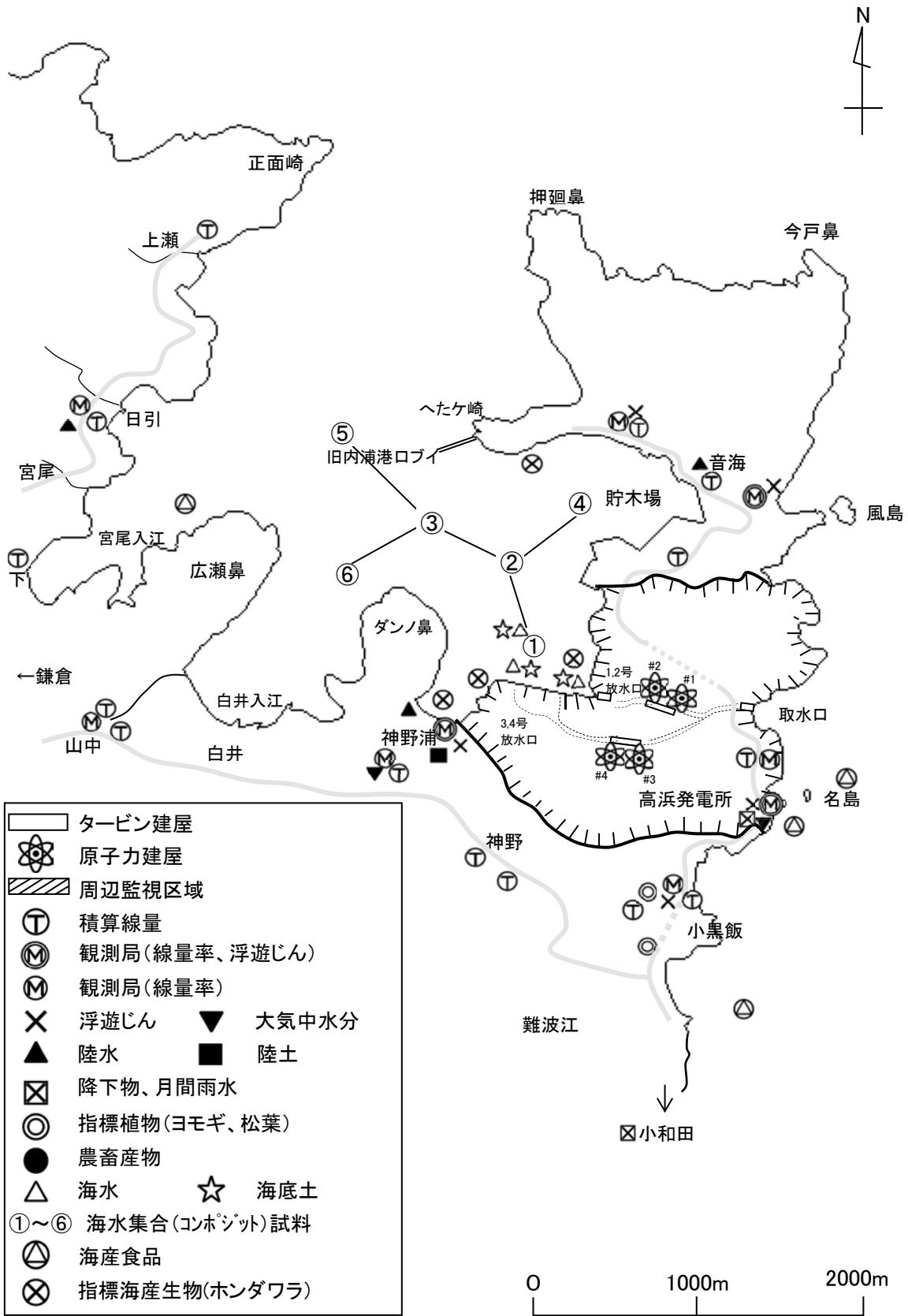
第4図 美浜発電所周辺の試料採取地点



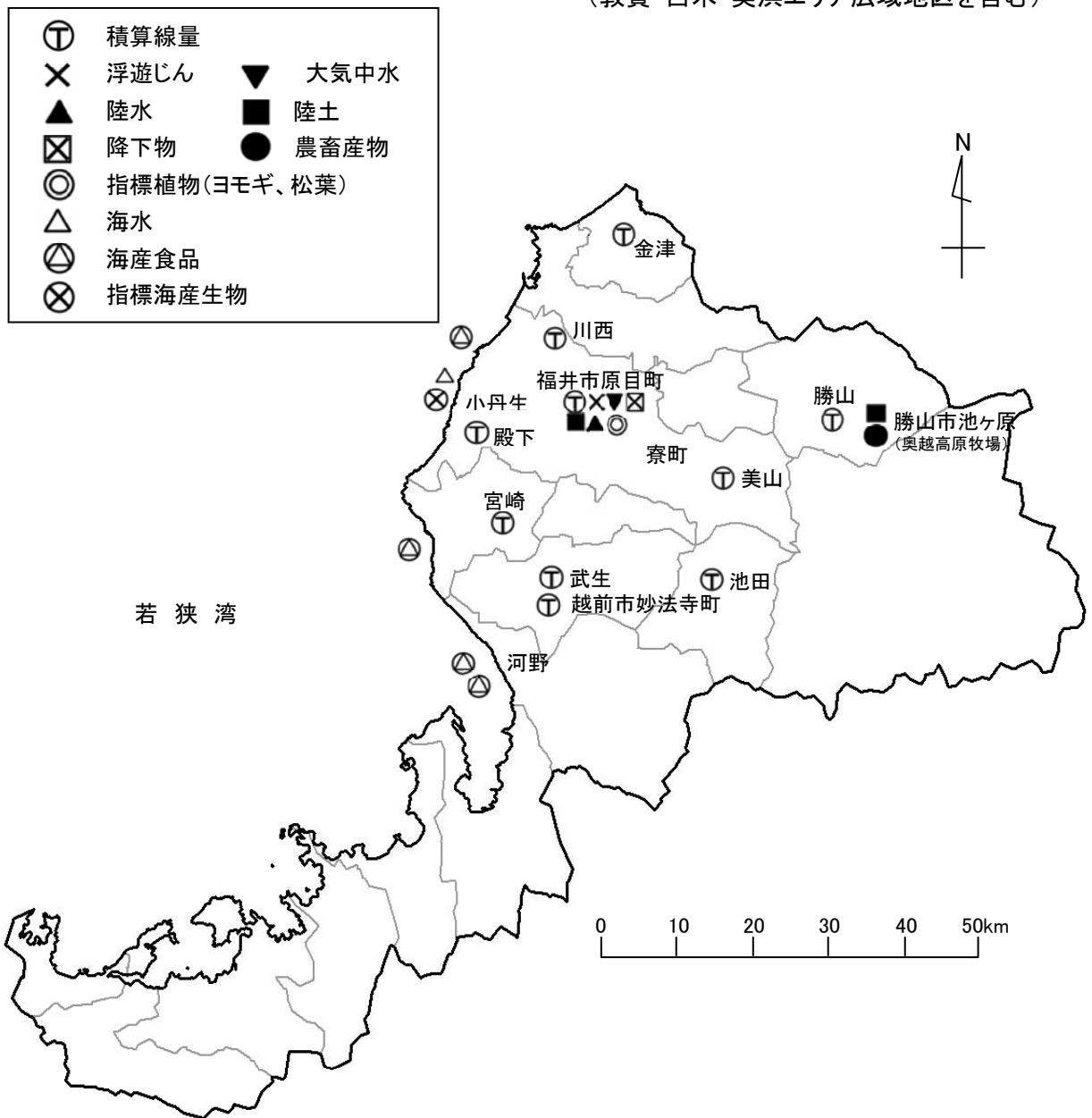
第5図 大飯発電所周辺の試料採取地点



第6図 高浜発電所周辺の試料採取地点



第7図 比較対照エリア（対照地区）の試料採取地点 （敦賀・白木・美浜エリア広域地区を含む）



(参考) 測定値の取り扱いについて

(1) テレメータシステムによる線量率連続測定結果

- ① 空間線量率は空気吸収線量率とし、テレメータシステムにより収集された 10 分値等をもとに計算された 1 時間値を、nGy/h で報告する。
- ② 測定値は小数点以下第 1 位までとし、第 2 位を四捨五入する。
- ③ 報告書では、地点毎に各月の最高値、最低値、平均値(M)および標準偏差(σ)を記載するとともに、各月の $M+3\sigma$ を超えたデータについては、降雨等の気象状況、近接局の結果、放射線のエネルギー情報等を調査し、変動原因を報告する。
なお、原子力施設からの影響が確認された場合には、その状況を報告する。
- ④ 変動原因の報告において「降雨」とする条件は基本的に以下の場合とし、気象観測装置の設置状況等考慮して総合的に判断する。
 - (a) 雨量計 (0.5mm 以上) の指示値があった場合、指示開始 1 時間前から指示終了後 2 時間までを「降雨あり」とする。
 - (b) 感雨計の指示があった場合、指示開始から指示終了後 1 時間までを「降雨あり」とする。
 - (c) 空間線量率測定地点で気象観測をおこなっていない地点では、近接局の雨量計または感雨計の指示値により「降雨あり/なし」を判断する。

(2) 積算線量測定結果

- ① 積算線量は空気吸収線量を、mGy/92 日 単位で報告する。
- ② 測定値は、小数点以下第 3 位まで表示し、第 4 位を四捨五入する。
- ③ 地点毎の過去 5 ヶ年の平均値 (M) を求め、平常の変動幅 ($M-3 \times C.V. \times M$) \sim ($M+3 \times C.V. \times M$) の範囲を超えた場合は、周辺環境等の変化等の原因の調査を行う。評価に用いる相対標準偏差 (C.V.) は、過去の平均的な値である 3.5%とする。ただし、自然放射線の変動等でこの平均的な変動範囲を上回る固有の変動幅がある地点については、地点毎に求めた過去 5 ヶ年の標準偏差 (σ) を用いる。周辺環境等の変化により過去の蓄積データが 2 年に満たない地点の相対標準偏差 (C.V.) は、3.5%とする。
- ④ 表-1 に今年度の平常の変動幅を示す。基本的には 2012 年度から 2016 年度までの 5 年間で計算し、地点変更があった場合は、現在と同じ状況となった後のデータで計算している。

表－1 積算線量における平常の変動幅（平成29年度用）

※ 2年未満の期間では、評価用 $\sigma = 3.5\%$ 固定

<敦賀・白木・美浜エリア>

地区	地点名	平均値	標本標準偏差	σ (%)	評価用 σ (%)	M-3 σ	M+3 σ	データ数
敦賀	立石A6(八坂神社)	0.227	0.01061	4.68	4.68	0.195	0.259	20
	立石山頂B1(原電MP)	0.220	0.00753	3.43	3.50	0.197	0.243	20
	ふげん西D2(西敷地境界)	0.159	0.00542	3.42	3.50	0.142	0.175	20
	猪ヶ池B1(原電MP)	0.229	0.00616	2.68	3.50	0.205	0.254	19
	原子力館B	0.197	0.00793	4.03	4.03	0.173	0.221	19
	水産試験場B2	0.180	0.00529	2.94	3.50	0.161	0.199	20
	水試裏B1(原電MP)	0.238	0.01000	4.20	4.20	0.208	0.268	20
	明神寮B2(明神寮)	0.227	0.00796	3.51	3.51	0.203	0.251	20
	浦底A6(剣神社)	0.242	0.00964	3.99	3.99	0.213	0.271	20
	色ヶ浜A4(本隆寺)	0.260	0.01047	4.03	4.03	0.229	0.291	20
	手ノ浦A4(舟幸寺)	0.218	0.00772	3.54	3.54	0.195	0.241	20
	手ノ浦B3(舟幸寺)	0.225	0.00600	2.67	3.50	0.201	0.248	20
	沓B6(常福寺)	0.216	0.00618	2.86	3.50	0.193	0.239	7
	常宮A4(常宮小学校)	0.218	0.00847	3.89	3.89	0.193	0.244	20
	常宮B4(常宮神社)	0.217	0.00546	2.52	3.50	0.194	0.240	20
	縄間B(宗清寺)	0.268	0.00714	2.66	3.50	0.240	0.296	20
	名子B2(名子バス停)	0.162	0.00167	1.03	3.50	0.145	0.179	5
	松島B3(原電松島寮)	0.209	0.00558	2.67	3.50	0.187	0.231	19
	松栄B3(敦賀合同庁舎)	0.210	0.00561	2.67	3.50	0.188	0.232	20
	赤崎A4(赤崎小グラウンド)	0.177	0.00725	4.10	4.10	0.155	0.199	20
	阿曾A3(ふれあい会館)	0.179	0.00738	4.11	4.11	0.157	0.202	20
	杉津A5(東浦小中学校)	0.167	0.00675	4.04	4.04	0.147	0.187	20
	元比田A6(集落掲示板横)	0.161	0.00698	4.33	4.33	0.140	0.182	20
	吉河A3(原子力センター)	0.167	0.00631	3.78	3.78	0.148	0.186	20
	沓見C(訓練センター)	0.185	0.00534	2.89	3.50	0.165	0.204	20
	大谷A4(八幡神社)	0.171	0.00682	3.99	3.99	0.150	0.191	20
大良B(大良集会所)	0.173	0.00582	3.37	3.50	0.155	0.191	20	
白木	白木 I D2(北東敷地境界)	0.231	0.01159	5.02	5.02	0.196	0.265	20
	白木 II D2(東南東敷地境界)	0.156	0.00774	4.96	4.96	0.133	0.179	20
	白木 III D2(南南東敷地境界)	0.215	0.00706	3.28	3.50	0.192	0.238	20
	白木 IV D2(南西敷地境界)	0.195	0.00682	3.49	3.50	0.175	0.216	20
	松ヶ崎D2(機構MS)	0.226	0.00540	2.39	3.50	0.202	0.250	20
	白木A6(県テレ観測局)	0.243	0.00829	3.41	3.50	0.218	0.269	5
	白木D6(公民館東県道脇)	0.237	0.00889	3.76	3.76	0.210	0.263	19
	白城神社A3(神社鳥居横)	0.232	0.00945	4.07	4.07	0.204	0.261	20
	白城神社D4	0.219	0.00719	3.29	3.50	0.196	0.242	20
	門ヶ崎D3	0.250	0.00802	3.21	3.50	0.224	0.276	20
	白木トンネル北口A3(池横)	0.257	0.01315	5.11	5.11	0.218	0.297	20
	白木トンネル北口D3	0.227	0.00954	4.21	4.21	0.198	0.255	20
	白木トンネル南口A3	0.217	0.00767	3.53	3.53	0.194	0.240	20
	もんじゅ寮D1(もんじゅ寮前)	0.228	0.00697	3.05	3.50	0.204	0.252	20
美浜	奥浦C(奥浦公園奥)	0.218	0.00414	1.90	3.50	0.195	0.241	20
	丹生A5(中村旅館)	0.185	0.00767	4.15	4.15	0.162	0.208	20
	丹生C3(丹生漁港)	0.182	0.00489	2.69	3.50	0.163	0.201	20
	丹生診療所C6	0.168	0.00635	3.79	3.79	0.149	0.187	20
	丹生教育体験館A1	0.203	0.00767	3.78	3.78	0.180	0.226	20
	丹生寮C5(関電丹生寮)	0.211	0.00622	2.94	3.50	0.189	0.233	20
	竹波A6(テレメ観測局)	0.229	0.00678	2.96	3.50	0.205	0.253	8
	竹波C5(高那弥神社)	0.216	0.00515	2.38	3.50	0.194	0.239	20
	馬背川C2(ポンプ場)	0.211	0.00594	2.81	3.50	0.189	0.234	20
	菅浜A4(旧菅浜保育所)	0.202	0.00801	3.96	3.96	0.178	0.226	20
	菅浜C2(民宿藤田横)	0.166	0.00462	2.78	3.50	0.149	0.184	20
	けやき台C1(けやき台ハイツ)	0.149	0.00519	3.48	3.50	0.133	0.165	20
	佐田A4(あおなみ保育園)	0.170	0.00634	3.73	3.73	0.151	0.189	20
	坂尻C2(三谷商店前)	0.170	0.00551	3.23	3.50	0.153	0.188	20
	和田A1(ふる里交流センター)	0.173	0.00629	3.65	3.65	0.154	0.191	20
	郷市C6(美浜町役場)	0.136	0.00555	4.07	4.07	0.120	0.153	20
	久々子C1(県園芸試験場)	0.145	0.00516	3.57	3.57	0.129	0.160	20
	早瀬C5(水無月神社)	0.137	0.00463	3.39	3.50	0.122	0.151	20
日向C5(日向漁業センター)	0.161	0.00543	3.37	3.50	0.144	0.178	20	
広域	新庄C3(日吉神社)	0.172	0.00464	2.69	3.50	0.154	0.190	20
	三方C4(町役場三方庁舎)	0.121	0.00353	2.92	3.50	0.108	0.134	20
	越前市妙法寺町A1(白山神社)	0.203	0.00681	3.35	3.50	0.182	0.225	20
	武生A3(丹南土木事務所)	0.148	0.00632	4.26	4.26	0.129	0.167	20
	宮崎A4(宮崎中学校)	0.144	0.00509	3.53	3.53	0.129	0.160	20

<大飯・高浜エリア>

地区	地点名	平均値	標本標準偏差	σ (%)	評価用 σ (%)	M-3 σ	M+3 σ	データ数	
大飯	赤礁崎C(あかぐり崎クラブ)	0.107	0.00354	3.32	3.50	0.096	0.118	20	
	宮留奥A1(海釣公園)	0.113	0.00442	3.90	3.90	0.100	0.127	20	
	宮留A8(宮留区生活改善センター横)	0.114	0.00372	3.25	3.50	0.102	0.126	12	
	宮留C3(エルパーク大飯下)	0.116	0.00420	3.61	3.61	0.104	0.129	20	
	日角浜C3(旧大島公民館)	0.114	0.00412	3.60	3.60	0.102	0.127	20	
	西村A3(常禅寺)	0.122	0.00598	4.90	4.90	0.104	0.140	20	
	西村C1(トンネル南口県道脇)	0.091	0.00369	4.08	4.08	0.079	0.102	20	
	犬見C2(集落手前道端)	0.122	0.00317	2.59	3.50	0.109	0.135	20	
	本郷A6(町営住宅)	0.128	0.00172	1.35	3.50	0.114	0.141	4	
	本郷C5(おおい町役場)	0.122	0.00430	3.52	3.52	0.109	0.135	20	
	鹿野C5(佐分利小学校)	0.124	0.00443	3.56	3.56	0.111	0.138	20	
	川上C4(川上公民館)	0.128	0.00415	3.25	3.50	0.114	0.141	20	
	鯉川A3(牛尾神社)	0.133	0.00582	4.38	4.38	0.115	0.150	20	
	加斗A5(加斗小学校)	0.141	0.00614	4.34	4.34	0.123	0.160	20	
	西勢A3(民宿つどい前)	0.131	0.00604	4.61	4.61	0.113	0.149	20	
	東勢C1(旧道脇)	0.127	0.00619	4.90	4.90	0.108	0.145	20	
	小浜市野球場C2	0.127	0.00351	2.76	3.50	0.114	0.141	20	
	小浜市大原A4(栖雲寺)	0.167	0.00582	3.49	3.50	0.149	0.184	20	
	若狭健康福祉センターA3	0.162	0.00742	4.58	4.58	0.140	0.184	20	
	西津A3(水産高校)	0.141	0.00631	4.49	4.49	0.122	0.160	20	
	西津C3(漁協西津支所)	0.117	0.00405	3.47	3.50	0.104	0.129	20	
	堅海A3(旧堅海小学校)	0.142	0.00482	3.40	3.50	0.127	0.157	20	
	堅海C3(県栽培漁業センター)	0.127	0.00421	3.31	3.50	0.114	0.141	20	
	泊C2(大谷旅館前)	0.133	0.00497	3.75	3.75	0.118	0.147	20	
	高浜	音海A4(児玉旅館)	0.125	0.00547	4.37	4.37	0.109	0.142	20
		音海C4(音海漁港奥)	0.121	0.00459	3.81	3.81	0.107	0.134	20
		音海県道C1(日本海港株)	0.111	0.00360	3.24	3.50	0.099	0.123	20
		田ノ浦C(南東敷地境界)	0.116	0.00393	3.39	3.50	0.104	0.128	20
小黑飯A4(寿奎寺旧道脇)		0.138	0.00641	4.63	4.63	0.119	0.158	20	
小黑飯C3(白浜トンネル北口)		0.121	0.00399	3.29	3.50	0.109	0.134	20	
旧神野小学校A1		0.130	0.00473	3.65	3.65	0.115	0.144	20	
神野A5(桃源寺)		0.111	0.00369	3.32	3.50	0.100	0.123	20	
神野浦C2(関電MP)		0.098	0.00358	3.65	3.65	0.087	0.109	20	
山中A4(県テレ観測局)		0.130	0.00615	4.72	4.72	0.112	0.149	20	
山中C2(JA若狭内浦)		0.092	0.00309	3.36	3.50	0.082	0.102	20	
下A3(産霊神社)		0.107	0.00357	3.33	3.50	0.096	0.119	20	
日引C3(旧日引小学校)		0.112	0.00428	3.83	3.83	0.099	0.125	20	
上瀬A3(山神社)		0.093	0.00326	3.51	3.51	0.083	0.103	20	
六路谷A4(ふれあい会館)		0.105	0.00412	3.92	3.92	0.093	0.118	20	
六路谷C2(杉森神社横)		0.129	0.00464	3.60	3.60	0.115	0.143	20	
高野C(旧青郷小高野分校)		0.124	0.00401	3.23	3.50	0.111	0.137	20	
青郷C2(青郷小学校)		0.124	0.00384	3.09	3.50	0.111	0.137	20	
東三松A5(東三松グラウンド)		0.144	0.00540	3.76	3.76	0.127	0.160	20	
東三松C2(民宿萩の家)		0.119	0.00404	3.39	3.50	0.107	0.131	20	
高浜町役場A4		0.104	0.00496	4.77	4.77	0.089	0.119	20	
高浜C(高浜小学校)		0.109	0.00398	3.64	3.64	0.097	0.121	20	
和田C3(和田小学校)		0.115	0.00396	3.44	3.50	0.103	0.127	20	
田井C3(田井グラウンド)		0.136	0.00428	3.16	3.50	0.121	0.150	20	
夕潮台C2(夕潮台公園)		0.101	0.00361	3.58	3.58	0.090	0.112	20	
広域		名田庄C3(名田庄観光館)	0.130	0.00537	4.14	4.14	0.114	0.146	20
		上中C3(上中体育館)	0.108	0.00391	3.61	3.61	0.097	0.120	20

<比較対照エリア>

地区	地点名	平均値	標本標準偏差	σ (%)	評価用 σ (%)	M-3 σ	M+3 σ	データ数
対照	池田A3(池田町役場)	0.147	0.00601	4.08	4.08	0.129	0.165	20
	殿下A4(殿下小学校)	0.160	0.00586	3.66	3.66	0.142	0.178	20
	美山A5(美山児童館)	0.139	0.00614	4.41	4.41	0.121	0.158	20
	福井市原目町A3 (福井分析管理室)	0.144	0.00620	4.32	4.32	0.125	0.162	20
	川西A4(川西中学校)	0.127	0.00504	3.97	3.97	0.112	0.142	20
	金津A3(健康福祉センター)	0.148	0.00520	3.52	3.52	0.132	0.164	20
	勝山A4(奥越土木)	0.175	0.00695	3.97	3.97	0.154	0.196	20

(3) テレメータシステムによる浮遊じん放射能の連続測定

- ① 浮遊じん放射能濃度はラドン娘核種に等価で各娘核種（R a A～R a C'）の比を1と仮定した放射能濃度で、測定サイクルである3時間値を測定値（報告値）とする。
ベータ（ β ）放射能濃度およびアルファ（ α ）放射能濃度の単位は、Bq/m³とし、 β/α 放射能濃度比は%とする。
- ② 測定値は小数点以下第1位まで、放射能濃度比は整数とし、いずれもその次の位を四捨五入する。
- ③ 報告書では、地点毎に各月の最高値、最低値、平均値(M)および標準偏差(σ)を記載するとともに、濃度比が各月のM+3 σ を超え β 放射能濃度が高いデータについては、近接局の結果、空間線量率等を調査し、変動原因を報告する。なお、原子力施設等からの影響が確認された場合には、その状況を報告する。

参考：浮遊じん放射能が天然放射性核種のみの場合、放射能濃度は通常0.1～数10Bq/m³程度変化するが、 β/α 放射能濃度比はほぼ一定である。一方、主に β 線放出核種である発電所由来の人工放射性核種がこれに加わった場合、 β/α 放射能濃度比は高くなる特徴を持っている。

テレメータシステムによる浮遊じん放射能測定は、環境の空気を吸引しながら同時に測定を行い、10分周期でリアルタイムデータが収集され、システムによる自動チェックが行われている。さらに職員によって、異常の有無を日常業務で詳細に確認している。

(4) ゲルマニウム検出器による核種分析結果

- ① 試料区分毎の報告単位は、核種分析結果の各表に示されている。
- ② 測定値は原則として、有効数字2桁または各表示単位の小数点以下第1位までとし、第2位を四捨五入する。
- ③ 放射能濃度をN、その誤差を ΔN とした時に $N \geq (3 \times \Delta N)$ の場合を検出されたものとし、通常は過去3年間の最低値～最高値と比べ、これを超えた場合はそれ以前の値を参考に、過去の核実験影響および発電所寄与について検討する。
- ④ 各種環境試料中の放射性核種濃度については、試料の種類によっても、また核種や環境条件によっても異なるため、関連する核種（例えばセシウム-137の場合はセシウム-134）の有無等も考慮し、起源を判断する。

(5) トリチウム分析結果

- ① 試料区分毎の報告単位は、Bq/l で報告する。
- ② 測定値は、有効数字2桁または各表示単位の小数点以下第1位までとし、第2位を四捨五入する。
- ③ トリチウム濃度をN、その誤差を ΔN とした時に、 $N \geq (3 \times \Delta N)$ の場合を検出されたものとし、通常は過去3年間の最低値～最高値と比べ、これを超えた場合はそれ以前の値を参考に、発電所寄与について検討する。

3-3 測定結果

第1表 空間線量率連続測定結果 (県テレメータシステム)

<敦賀・白木・美浜エリア>

機関：A(県)、線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 原因とその時間		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
敦賀	立石A	4月	75.3	56.0	58.1	1.9	17	17	0	59.3
		5月	68.7	57.4	59.4	1.4	21	21	0	
		6月	71.2	57.9	60.2	1.5	14	14	0	
	浦底A	4月	73.4	55.3	57.5	2.2	16	16	0	61.9
		5月	71.6	56.2	58.5	2.0	18	18	0	
		6月	75.9	55.8	59.2	2.2	13	13	0	
	敦賀A	4月	78.4	57.2	60.5	2.9	17	17	0	59.8
		5月	75.9	59.1	62.0	2.4	16	16	0	
		6月	87.3	59.1	62.5	3.3	12	12	0	
	東郷A	4月	85.2	57.1	63.2	2.9	17	17	0	64.8
		5月	81.8	54.8	63.3	2.4	19	19	0	
		6月	91.2	59.6	63.7	3.2	15	15	0	
	粟野A	4月	91.2	60.5	66.7	3.9	13	13	0	68.1
		5月	83.5	60.4	64.0	3.0	14	14	0	
		6月	93.2	60.1	66.4	4.3	15	13	2	
	大良A	4月	90.2	48.7	52.1	3.7	16	16	0	53.7
		5月	67.0	48.6	50.6	2.2	21	21	0	
		6月	73.9	48.8	51.0	2.7	16	16	0	
河野A	4月	66.9	45.0	46.8	2.5	22	22	0	47.5	
	5月	64.9	45.0	46.8	2.0	19	19	0		
	6月	69.4	45.0	47.1	2.4	17	17	0		
板取A	4月	70.0	43.4	46.4	3.7	22	22	0	47.2	
	5月	66.2	42.4	46.7	2.7	24	24	0		
	6月	76.0	44.7	47.2	3.6	17	17	0		

過去平均線量率：2014～2016年度

第1表 空間線量率連続測定結果 (県テレメータシステム)
 <敦賀・白木・美浜エリア>

機関：A (県)、線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 原因とその時間		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
白木	白木A	4月	93.1	64.6	67.2	3.2	16	16	0	76.4
		5月	86.7	65.3	67.9	2.5	18	18	0	
		6月	92.7	65.1	68.7	3.2	14	14	0	
	白木峠A	4月	88.3	60.1	63.0	3.2	16	16	0	71.9
		5月	83.1	61.4	64.1	2.7	18	18	0	
		6月	89.3	62.0	65.5	3.3	16	16	0	
美浜	丹生A	4月	78.2	56.6	59.0	2.6	18	18	0	60.8
		5月	78.3	57.4	60.4	2.4	16	16	0	
		6月	84.9	58.3	61.1	2.9	15	15	0	
	竹波A	4月	77.2	49.8	52.4	2.8	15	15	0	53.9*
		5月	69.4	50.8	53.3	2.4	19	19	0	
		6月	78.0	50.9	54.1	3.1	17	17	0	
	坂尻A	4月	87.5	57.5	60.9	3.4	18	18	0	61.4
		5月	85.2	58.3	60.8	2.8	21	21	0	
		6月	98.1	57.7	61.1	3.8	16	16	0	
	久々子A	4月	72.6	47.5	50.0	2.8	18	18	0	51.4
		5月	69.3	48.1	50.4	2.4	19	19	0	
		6月	77.4	47.9	50.8	3.2	16	16	0	

過去平均線量率：2014～2016年度

*：2015年4月移設建替のため、過去実績は2015～2016年度のみ。

第1表 空間線量率連続測定結果 (県テレメータシステム)
 <敦賀・白木・美浜エリア>

機関：A (県)、線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 原因とその時間		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
広域 監視	疋田A	4月	94.1	68.0	75.6	3.2	14	14	0	76.9
		5月	93.9	68.8	76.7	2.5	19	19	0	
		6月	102.5	68.1	76.9	3.4	13	13	0	
	神子A	4月	82.5	62.6	65.4	2.3	20	20	0	66.2
		5月	85.9	63.2	65.5	2.1	19	19	0	
		6月	95.4	63.6	66.0	2.6	16	16	0	
	宇津尾A	4月	73.0	45.8	49.9	3.4	19	19	0	50.5
		5月	64.9	44.7	48.7	2.7	17	17	0	
		6月	75.9	45.7	50.0	3.4	15	15	0	
	湯尾A	4月	69.1	43.9	46.7	3.2	20	20	0	47.8
		5月	61.8	43.6	46.9	2.4	20	20	0	
		6月	69.7	42.0	47.0	2.9	14	14	0	
	南条A	4月	74.4	58.6	61.4	2.0	19	19	0	61.7
		5月	70.6	58.6	61.7	1.5	22	22	0	
		6月	75.0	58.3	61.8	1.7	13	13	0	
	古木A	4月	88.8	56.1	59.0	3.5	17	17	0	59.7
		5月	74.0	56.7	59.4	2.4	23	23	0	
		6月	89.0	57.0	60.2	3.0	14	14	0	
	白山A	4月	86.9	55.4	58.2	3.3	20	20	0	59.3
		5月	79.8	55.6	58.4	2.7	17	17	0	
		6月	86.2	55.6	59.1	3.2	17	17	0	
	白崎A	4月	74.8	46.1	52.0	4.0	18	18	0	53.0
		5月	76.3	47.3	52.3	3.2	17	17	0	
		6月	87.0	46.6	53.2	3.8	16	16	0	
瓜生A	4月	76.8	46.6	50.5	3.5	21	21	0	51.5	
	5月	70.3	45.9	50.6	3.0	17	17	0		
	6月	81.1	46.6	51.2	3.8	14	14	0		
今立A	4月	72.9	48.1	50.5	2.9	23	23	0	51.9	
	5月	68.8	48.0	50.8	2.2	17	17	0		
	6月	86.5	48.6	51.7	3.3	13	13	0		
米ノA	4月	82.6	51.7	54.4	3.2	18	18	0	54.4	
	5月	76.2	52.4	54.1	2.6	19	19	0		
	6月	85.6	52.3	54.4	3.2	11	11	0		
織田A	4月	84.0	48.5	51.5	3.8	21	21	0	52.2	
	5月	71.2	48.6	51.5	2.6	18	18	0		
	6月	80.2	46.3	51.8	3.6	17	17	0		
玉川A	4月	67.0	45.9	47.9	2.8	22	22	0	49.1	
	5月	67.4	46.3	48.2	2.2	17	17	0		
	6月	73.6	46.5	48.7	2.8	15	15	0		

過去平均線量率：2014～2016年度

第1表 空間線量率連続測定結果 (県テレメータシステム)
 <大飯・高浜エリア>

機関：A (県)、線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 原因とその時間		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
大飯	宮留A	4月	40.7	22.0	24.1	2.5	17	17	0	24.9
		5月	45.4	21.8	24.2	2.6	19	19	0	
		6月	60.8	21.8	24.4	3.3	12	12	0	
	日角浜A	4月	45.5	28.1	30.5	2.4	20	20	0	31.4
		5月	51.5	28.5	31.1	2.5	20	20	0	
		6月	64.2	28.5	31.1	3.1	14	14	0	
	長井A	4月	54.6	32.5	34.9	2.9	22	22	0	37.0
		5月	59.0	33.2	35.5	2.6	20	20	0	
		6月	81.1	33.7	36.5	3.6	11	11	0	
	佐分利A	4月	61.1	38.9	41.5	3.0	19	19	0	43.3
		5月	64.9	39.3	42.4	2.8	20	20	0	
		6月	70.2	39.7	43.1	3.4	13	13	0	
	小浜A	4月	56.3	38.0	40.3	2.4	22	22	0	41.3
		5月	53.7	38.4	40.8	2.0	18	18	0	
		6月	68.8	38.5	41.1	2.7	14	14	0	
	阿納尻A	4月	49.6	29.1	31.1	2.4	17	17	0	32.0
		5月	45.5	29.3	31.4	2.0	20	20	0	
		6月	63.4	29.3	31.6	2.7	12	12	0	
口名田A	4月	53.2	31.6	34.5	3.0	18	18	0	36.6	
	5月	54.8	32.7	35.9	2.9	15	15	0		
	6月	64.3	32.7	36.5	3.9	14	14	0		
遠敷A	4月	56.0	41.8	44.5	1.9	20	20	0	44.8	
	5月	55.3	42.3	44.5	1.6	21	21	0		
	6月	61.2	42.0	44.6	2.1	22	22	0		

過去平均線量率：2014～2016年度

第1表 空間線量率連続測定結果 (県テレメータシステム)
 <大飯・高浜エリア>

機関：A (県)、線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 原因とその時間		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
高浜	音海A	4月	47.1	27.5	29.5	2.3	17	17	0	30.9
		5月	45.3	28.0	29.8	2.0	20	20	0	
		6月	63.4	28.0	30.2	3.0	11	11	0	
	小黒飯A	4月	43.9	27.9	29.6	2.1	18	18	0	30.5
		5月	41.9	28.2	29.9	1.8	21	21	0	
		6月	63.5	28.1	30.0	2.8	12	12	0	
	神野浦A	4月	45.8	29.4	31.2	1.9	18	18	0	28.6
		5月	44.5	30.1	31.8	1.6	17	17	0	
		6月	61.5	30.3	32.2	2.5	10	10	0	
	山中A	4月	47.2	26.6	28.4	2.5	18	18	0	29.4
		5月	53.5	26.6	28.6	2.5	16	16	0	
		6月	75.0	26.8	29.0	3.6	10	10	0	
三松A	4月	50.9	28.8	30.8	2.8	20	20	0	31.4	
	5月	47.4	29.1	30.8	2.5	21	21	0		
	6月	82.7	28.6	30.9	3.7	10	10	0		
広域 監視	三重A	4月	64.7	43.6	46.8	3.0	14	14	0	48.8
		5月	69.6	44.2	47.8	3.2	9	9	0	
		6月	73.2	44.2	48.4	3.9	12	12	0	
	納田終A	4月	55.6	34.1	37.7	2.8	22	22	0	39.9
		5月	64.0	35.6	38.8	2.9	13	13	0	
		6月	69.2	35.8	39.5	3.8	12	11	1	
	鳥羽A	4月	57.6	43.3	47.1	2.0	21	21	0	47.4
		5月	58.9	44.1	46.9	1.5	16	16	0	
		6月	60.7	44.7	46.8	2.0	26	26	0	
	熊川A	4月	64.2	39.9	42.8	3.4	22	22	0	44.3
		5月	62.3	40.8	43.2	2.5	17	17	0	
		6月	75.2	40.7	43.8	4.2	17	17	0	

過去平均線量率：2014～2016年度

第2表 空間線量率連続測定結果 (施設者テレメータシステム)

<敦賀・白木・美浜エリア>

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3σ をこえた 時間	M+3σをこえた 原因とその時間		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
敦賀	立石B	4月	97.8	83.2	86.0	1.7	10	8	2	89.9
		5月	97.5	85.2	90.2	2.3	1	1	0	
		6月	98.5	85.7	91.5	2.2	2	2	0	
	立石山頂B	4月	98.3	69.0	72.2	3.0	18	18	0	74.6
		5月	93.0	70.5	73.8	2.8	20	20	0	
		6月	97.7	71.7	75.6	3.1	14	14	0	
	ふげん北D	4月	86.3	58.9	62.5	2.8	14	14	0	63.6
		5月	81.1	59.9	63.5	2.5	17	17	0	
		6月	90.5	60.5	65.2	2.9	15	15	0	
	ふげん西D	4月	67.4	33.6	36.2	3.6	17	17	0	37.3
		5月	59.8	34.4	37.1	2.9	21	21	0	
		6月	64.5	34.6	38.1	3.2	17	17	0	
	猪ヶ池B	4月	103.4	70.4	73.2	3.3	18	18	0	77.9
		5月	95.2	71.5	74.3	2.9	20	20	0	
		6月	102.3	72.0	76.0	3.5	15	15	0	
	水試裏B	4月	100.6	73.1	76.3	3.2	17	17	0	79.4
		5月	97.2	74.7	78.4	2.8	18	18	0	
		6月	100.7	75.4	80.9	3.0	12	12	0	
	浦底B	4月	95.0	71.6	74.1	2.8	18	18	0	74.1
		5月	95.2	72.2	74.8	2.7	21	21	0	
		6月	99.2	72.7	75.6	2.9	14	14	0	
色ヶ浜B	4月	95.5	75.6	78.5	2.6	17	17	0	79.4	
	5月	94.2	76.9	79.2	2.2	22	22	0		
	6月	100.2	77.2	79.7	2.4	14	14	0		
縄間D	4月	97.1	71.0	74.0	2.9	20	20	0	74.5	
	5月	87.9	70.6	73.1	2.2	23	23	0		
	6月	95.3	70.3	73.8	3.1	19	19	0		
赤崎D	4月	69.5	47.3	49.2	2.5	21	21	0	49.9	
	5月	65.5	47.7	49.4	2.0	18	18	0		
	6月	73.3	47.5	49.9	2.5	17	17	0		
五幡B	4月	67.8	44.4	46.5	3.0	20	20	0	47.5	
	5月	61.9	44.8	46.8	2.1	23	23	0		
	6月	72.9	44.9	47.2	2.8	17	17	0		
阿曾D	4月	74.8	45.0	47.4	3.4	19	19	0	48.3	
	5月	63.4	44.8	47.5	2.2	22	22	0		
	6月	74.8	45.7	48.2	2.8	15	15	0		
杉津B	4月	83.0	47.4	50.2	3.7	20	20	0	51.8	
	5月	69.9	48.2	50.4	2.5	21	21	0		
	6月	79.2	48.0	51.1	3.1	18	18	0		

過去平均線量率：2014～2016年度

第2表 空間線量率連続測定結果 (施設者テレメータシステム)
 <敦賀・白木・美浜エリア>

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 原因とその時間		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
敦賀	甲楽城B	4月	64.3	41.0	42.9	2.7	23	23	0	43.9
		5月	64.1	41.3	42.9	2.4	19	19	0	
		6月	67.4	41.1	43.2	2.6	18	18	0	
白木	白木ID	4月	87.4	60.3	64.3	2.8	14	14	0	66.5
		5月	81.4	61.8	65.5	2.3	13	13	0	
		6月	89.7	64.2	68.1	2.6	13	13	0	
	白木IID	4月	68.5	35.6	38.9	3.5	15	15	0	40.8
		5月	62.8	36.6	40.1	2.7	17	17	0	
		6月	67.6	37.4	41.5	3.0	16	16	0	
	白木IIID	4月	76.4	50.0	53.3	2.9	15	15	0	54.4
		5月	72.2	51.2	54.1	2.4	20	20	0	
		6月	77.3	52.2	55.7	2.9	15	15	0	
	白木IIVD	4月	71.0	43.2	46.0	3.1	19	19	0	47.3
		5月	67.9	44.5	47.1	2.5	18	18	0	
		6月	72.6	45.4	48.6	3.1	15	15	0	
松ヶ崎D	4月	87.7	61.2	63.7	2.9	16	16	0	63.8	
	5月	83.9	61.6	64.4	2.4	16	16	0		
	6月	89.3	61.4	64.8	3.1	12	12	0		

過去平均線量率：2014～2016年度

第2表 空間線量率連続測定結果 (施設者テレメータシステム)
 <敦賀・白木・美浜エリア>

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 原因とその時間		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
美浜	奥浦C	4月	80.6	56.5	58.8	2.7	16	16	0	60.7
		5月	78.7	57.4	60.2	2.3	18	18	0	
		6月	84.8	57.3	60.9	2.9	13	13	0	
	丹生C	4月	66.9	47.4	49.4	2.3	18	18	0	49.9
		5月	68.2	47.4	49.5	2.0	19	19	0	
		6月	69.8	47.0	49.5	2.5	15	15	0	
	丹生寮C	4月	68.8	44.9	47.4	2.8	17	17	0	48.4
		5月	67.6	46.1	48.3	2.4	22	22	0	
		6月	69.5	44.9	47.7	2.8	17	17	0	
	竹波C	4月	91.7	68.3	71.6	2.2	13	13	0	72.5
		5月	84.5	69.4	72.1	2.0	17	17	0	
		6月	89.0	69.3	73.0	2.4	14	14	0	
	菅浜C	4月	54.6	34.3	36.3	2.2	16	16	0	36.7
		5月	50.8	33.9	36.6	1.7	20	20	0	
		6月	55.7	34.5	36.6	2.4	18	18	0	
	佐田C	4月	66.4	49.2	51.3	2.0	17	17	0	52.0
		5月	64.5	50.0	51.5	1.6	19	19	0	
		6月	71.8	49.8	51.7	2.2	14	14	0	
郷市C	4月	54.5	32.0	34.1	2.9	16	16	0	35.1	
	5月	51.4	32.0	34.3	2.4	20	20	0		
	6月	59.9	31.8	34.7	3.3	14	14	0		
早瀬C	4月	44.8	30.4	32.1	1.7	18	18	0	33.3	
	5月	44.2	30.6	32.5	1.6	17	17	0		
	6月	56.2	29.7	32.9	2.3	16	16	0		
日向C	4月	53.9	38.3	39.9	2.1	18	18	0	40.9	
	5月	56.3	38.5	40.2	1.9	19	19	0		
	6月	68.3	38.5	40.4	2.6	16	16	0		
広域 監視	新庄C	4月	70.3	55.5	57.9	2.0	23	23	0	58.7
		5月	70.2	56.2	58.4	1.6	17	17	0	
		6月	75.0	54.9	58.8	2.4	14	14	0	
	三方C	4月	44.7	27.3	29.5	2.3	20	20	0	30.9
		5月	50.0	27.0	29.8	2.2	14	14	0	
		6月	53.6	28.0	30.3	2.7	18	18	0	
	今庄B	4月	68.9	41.4	44.3	3.1	17	17	0	46.2
		5月	58.4	42.4	45.1	2.4	20	20	0	
		6月	69.4	42.6	45.6	3.0	15	15	0	
	越前厨D	4月	62.0	35.8	38.5	3.1	21	21	0	39.5
		5月	58.2	36.0	38.5	2.4	19	19	0	
		6月	65.6	36.2	39.0	3.2	15	15	0	

過去平均線量率：2014～2016年度

第2表 空間線量率連続測定結果 (施設者テレメータシステム)
 <大飯・高浜エリア>

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 原因とその時間		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
大飯	宮留C	4月	57.9	36.1	38.1	2.8	17	17	0	39.3
		5月	66.6	36.3	38.4	2.8	18	18	0	
		6月	91.2	36.5	38.7	3.8	12	12	0	
	日角浜C	4月	55.0	33.2	35.8	2.9	18	18	0	37.2
		5月	60.8	32.7	35.8	2.9	19	19	0	
		6月	79.3	33.8	36.1	3.7	15	15	0	
	本郷C	4月	58.6	39.5	42.0	2.5	21	21	0	42.8
		5月	67.6	40.0	42.4	2.6	18	18	0	
		6月	70.2	39.8	42.6	3.0	13	13	0	
	鹿野C	4月	61.6	38.9	41.3	3.2	18	18	0	42.7
		5月	63.2	39.0	41.5	2.8	19	19	0	
		6月	69.8	39.0	41.9	3.5	12	12	0	
	川上C	4月	68.3	46.1	48.3	2.7	18	18	0	49.3
		5月	70.3	46.3	48.4	2.3	21	21	0	
		6月	81.1	46.2	48.9	3.2	11	11	0	
	加斗C	4月	71.6	43.2	45.5	3.1	19	19	0	46.7
		5月	70.7	43.2	46.1	2.4	20	20	0	
		6月	85.1	43.4	46.4	3.2	13	13	0	
小浜C	4月	66.0	41.0	44.7	3.1	20	20	0	46.2	
	5月	66.6	41.2	45.2	2.7	21	21	0		
	6月	84.6	42.7	46.0	3.7	17	17	0		
西津C	4月	55.3	33.1	35.2	2.7	20	20	0	36.1	
	5月	54.5	33.1	35.4	2.4	18	18	0		
	6月	66.6	33.2	35.6	3.1	13	13	0		
堅海C	4月	57.4	35.6	38.0	2.6	18	18	0	39.7	
	5月	57.4	36.2	38.5	2.4	22	22	0		
	6月	68.0	36.1	39.2	3.3	13	13	0		

過去平均線量率：2014～2016年度

第2表 空間線量率連続測定結果 (施設者テレメータシステム)
 <大飯・高浜エリア>

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 原因とその時間		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
高浜	音海C	4月	62.5	43.3	45.2	2.2	17	17	0	44.1
		5月	61.1	43.9	45.5	1.9	18	18	0	
		6月	78.9	44.0	45.8	2.8	9	9	0	
	田ノ浦C	4月	53.7	37.2	38.9	2.1	19	19	0	39.7
		5月	54.4	37.8	39.5	1.8	16	16	0	
		6月	71.4	38.2	39.9	2.7	12	12	0	
	小黒飯C	4月	53.0	34.0	36.6	2.3	18	18	0	37.5
		5月	50.0	34.0	36.9	2.0	21	21	0	
		6月	71.3	33.5	37.2	3.0	13	13	0	
	神野浦C	4月	49.1	26.6	28.6	2.7	19	19	0	29.5
		5月	48.2	27.2	29.0	2.3	17	17	0	
		6月	73.5	27.3	29.5	3.7	10	10	0	
	目引C	4月	52.7	33.3	35.0	2.3	17	17	0	35.8
		5月	49.8	33.5	35.2	1.9	21	21	0	
		6月	62.9	33.8	35.5	2.9	10	10	0	
	青郷C	4月	58.2	36.9	39.0	2.6	20	20	0	39.7
		5月	56.1	36.4	39.3	2.1	19	19	0	
		6月	82.8	37.2	39.5	3.1	10	10	0	
	高浜C	4月	52.2	34.0	36.1	2.1	21	21	0	36.5
		5月	49.5	34.0	36.2	1.9	19	19	0	
		6月	73.6	34.0	36.3	2.9	10	10	0	
和田C	4月	53.4	34.5	36.2	2.4	18	18	0	37.2	
	5月	51.2	34.5	36.4	2.0	18	18	0		
	6月	69.2	34.4	36.5	2.9	12	12	0		
田井C	4月	64.8	42.4	44.5	2.7	18	18	0	43.2	
	5月	68.0	42.9	44.8	2.6	21	21	0		
	6月	83.9	42.8	45.3	3.3	11	11	0		
夕潮台C	4月	42.7	28.2	29.9	1.7	13	13	0	30.6	
	5月	47.7	28.6	30.3	1.7	15	15	0		
	6月	57.3	28.3	30.4	2.2	10	10	0		
広域 監視	名田庄C	4月	60.8	41.0	43.7	2.9	17	17	0	45.2
		5月	62.2	41.4	44.4	2.7	12	12	0	
		6月	72.7	41.6	44.9	3.6	13	13	0	
	上中C	4月	56.8	34.2	36.3	2.9	22	22	0	37.2
		5月	57.2	34.3	36.3	2.3	19	19	0	
		6月	73.9	34.1	36.7	3.5	15	15	0	

過去平均線量率：2014～2016年度

<第1、2表に関する注釈>

1 2014年度（平成26年度）以降に生じた設置地点の状況変化等を以下に示す。

(1) 県 (A)

- ① 丹生Aおよび宮留Aは、2013年10月～2014年4月にかけて局舎の建て替えを行った。建て替えに伴い、宮留Aは宮留バス停から袖ヶ浜海水浴場に移設した。その結果、表1のようにバックグラウンド値が変化した。

表1 観測局舎建替工事に伴う空間線量率の変化 単位：nGy/h

局名	建替期間に伴う欠測	建替前	建替後
丹生A	2013. 10. 21 ~ 2014. 4. 7	60.1	59.9
宮留A	2014. 3. 5 ~ 2014. 4. 12	34.8	23.0

※建替前後の値は、建替期間前または後1ヶ月間の積雪・降水影響時を除いた1時間平均値を示した。

- ② 浦底A、竹波Aおよび小黑飯Aは、2014年10月～2015年3月にかけて局舎の建て替えを行った。そのうち、竹波Aは竹波集落センターから竹波区内公園に移設した。建て替えの結果、表2のようにバックグラウンド値が変化した。

表2 観測局舎建替工事に伴う空間線量率の変化 単位：nGy/h

局名	建替期間に伴う欠測	建替前	建替後
浦底A	2014. 11. 6 ~ 2015. 3. 19	75.1	56.6
竹波A	2015. 2. 18 ~ 2015. 3. 24	68.6	51.6
小黑飯A	2014. 10. 2 ~ 2015. 2. 6	39.9	29.0

※建替前後の値は、建替期間前または後1ヶ月間の積雪・降水影響時を除いた1時間平均値を示した。

- ③ 白木A、白木峠Aおよび神野浦Aは、2015年10月～2016年3月にかけて局舎の建て替えを行った。そのうち、白木Aは白木区土地（敦賀市白木1丁目402-1）から松原小学校白木分校跡地（敦賀市白木1丁目267）へ南東に約30m移設した（地点名は「白木公民館東県道脇」から変更しない）。

建て替えの結果、表3のようにバックグラウンド値が変化した。

表3 観測局舎建替工事に伴う空間線量率の変化 単位：nGy/h

局名	建替に伴う欠測期間	建替前	建替後
白木A	2016. 1. 12 ~ 2016. 2. 4	78.0	64.4
白木峠A	2015. 11. 2 ~ 2016. 3. 14	79.8	61.6
神野浦A	2015. 10. 30 ~ 2016. 3. 9	29.7	30.3

※建替前後の値は、建替期間前または後1ヶ月間の積雪・降水影響時を除いた1時間平均値を示した。

(2) 原電 (B)

- ① 猪ヶ池Bは、2016年8月に周辺の地面が舗装され、周辺環境が変化した。

(3) 関電 (C)

- ① 音海Cは、2016年10月に検出器の交換を行いバックグラウンド値が変化した。

表4 検出器交換に伴う空間線量率の変化 単位：nGy/h

局名	交換日	交換前	交換後
音海C	2016. 10. 24	42.5	45.0

※交換前後の値は、交換前または約1ヶ月間の降水影響時を除いた1時間平均値を示した。

- ② 田井Cは、2017年2月下旬から3月上旬間に田井コミュニティセンターが解体され、周辺環境が変化した。

(4) 機構 (D)

- ① 沓Dは、周辺道路の整備工事のため測定地点を縄間に移転し、観測局名を縄間Dに変更して2014年4月1日から運用を開始した。

2 観測局の気象観測について

観測局に気象観測装置（雨量計、感雨計）が実装されている局、またはその近傍に併設されている局は表5のとおりである。

表5 気象観測装置実装局

エリア	地区	気 象 観 測 局 名 称						備 考
敦賀・ 白木・ 美浜	敦賀	立石A	浦底A	敦賀A	東郷A	栗野A	縄間D	*:線量率連続測定 地点から幾分離 れて気象観測装 置が設置されて いるもの。
		赤崎D	杉津B	大良A	河野A	板取A	甲楽城B	
	白木	白木A	白木峠A	松ヶ崎D	—	—	—	
	美浜	丹生A	竹波A	坂尻A	久々子A	竹波C*	郷市C	
	広域 監視	疋田A	新庄C*	神子A	三方C*	宇津尾A	湯尾A	
		南条A	古木A	今庄B	白山A	白崎A	瓜生A	
		今立A	米ノA	織田A	玉川A	越前厨D	—	
大飯・ 高浜	大飯	宮留A	日角浜A	長井A	佐分利A	日角浜C	本郷C	
		小浜A	阿納尻A	口名田A	小浜C	—	—	
	高浜	音海A	小黒飯A	神野浦A	山中A	三松A	神野浦C	
		高浜C*	夕潮台C*	—	—	—	—	
	広域 監視	三重A	納田終A	名田庄C*	鳥羽A	熊川A	上中C	

気象観測装置が設置されていない局については、表6のように近くの地点で気象観測装置（雨量計と感雨計）が設置されている局で代用する。

表6 気象観測装置代用局一覧

測定地点	代用局	測定地点	代用局
ふげん北D 立石B 立石山頂B ふげん西D 猪ヶ池B 浦底B 水試裏B 色ヶ浜B	敦賀発電所気象露場	佐田C 早瀬C 日向C	郷市C
		宮留C	日角浜C
		川上C 鹿野C	本郷C
		遠敷A	アメダス小浜観測所 [気象庁] (福井県若狭合同庁舎)
五幡B	杉津B	加斗C 西津C	小浜C
阿曾D	赤崎D	堅海C	
白木ID 白木IID 白木IIID 白木IIVD	もんじゅ気象露場	田ノ浦C 音海C 小黒飯C	神野浦C
奥浦C 丹生C 丹生寮C 竹波C 菅浜C		日引C 田井C	
	落合川ポンプ場	青郷C 高浜C 和田C	高浜（高浜町役場東側構外駐車場）
		夕潮台C	舞鶴（関電舞鶴営業所）

第3表 積算線量測定結果

<敦賀・白木・美浜エリア>

(測定地点のA, B, C, Dは担当機関を示す。A:県、B:原電、C:関電、D:原子力機構)

単位：mGy/92日

敦賀地区			白木地区		
測定地点	今 期	過去の平均値	測定地点	今 期	過去の平均値
立石A 6	0.232	0.227	白木I D 2	0.233	0.231
立石山頂B 1	0.223	0.220	白木II D 2	0.155	0.156
ふげん西D 2	0.159	0.159	白木III D 2	0.210	0.215
猪ヶ池B 1	0.225	0.229	白木IV D 2	0.197	0.195
原子力館B	0.197	0.197	松ヶ崎D 2	0.233	0.226
水産試験場B 2	0.178	0.180	白木A 6	0.259	0.243 ^{*4}
水試裏B 1	0.250 ^{*1}	0.238	白木D 6	0.239	0.237
明神寮B 2	0.231	0.227	白城神社A 3	0.241	0.232
浦底A 6	0.265	0.242	白城神社D 4	0.222	0.219
色ヶ浜A 4	0.283	0.260	門ヶ崎D 3	0.258	0.250
手ノ浦A 4	0.237	0.218	白木トンネル北口A 3	0.273	0.257
手ノ浦B 3	0.227	0.225	白木トンネル北口D 3	0.232	0.227
沓B 6	0.217	0.216 ^{*2}	白木トンネル南口A 3	0.236	0.217
常宮A 4	0.217	0.218	もんじゅ寮D 1	0.236	0.228
常宮B 4	0.214	0.217			
縄間B	0.274	0.268			
名子B 2	0.166	0.162 ^{*3}			
松島B 3	0.207	0.209			
松栄B 3	0.212	0.210			
赤崎A 4	0.191	0.177			
阿曽A 3	0.183	0.179			
杉津A 5	0.175	0.167			
元比田A 6	0.171	0.161			
吉河A 3	0.169	0.167			
沓見C	0.184	0.185			
大谷A 4	0.181	0.171			
大良B	0.175	0.173			

過去の平均値：2012～2016年度

- * 1：線量計の不具合により約14日間（5月1日12時～5月15日12時）欠測したことから参考値とする。
- * 2：設置環境が変化したため、過去実績は2015～2016年度のみ。
- * 3：2015年度に線量計を更新したため、過去実績は2015～2016年度のみ。
- * 4：測定地点変更のため、過去実績は2015～2016年度のみ。

第3表 積算線量測定結果

<敦賀・白木・美浜エリア>

(測定地点のA, B, C, Dは担当機関を示す。A:県、B:原電、C:関電、D:原子力機構)

単位：mGy/92日

美浜地区			広域監視地区		
測定地点	今 期	過去の平均値	測定地点	今 期	過去の平均値
奥浦C	0.218	0.218	新庄C 3	0.171	0.172
丹生A 5	0.191	0.185	三方C 4	0.120	0.121
丹生C 3	0.181	0.182	越前市妙法寺町A 1	0.222	0.203
丹生診療所C 6	0.167	0.168	武生A 3	0.162	0.148
丹生教育体験館A 1	0.218	0.203	宮崎A 4	0.157	0.144
丹生寮C 5	0.211	0.211			
竹波A 6	0.245	0.229*			
竹波C 5	0.214	0.216			
馬背川C 2	0.209	0.211			
菅浜A 4	0.213	0.202			
菅浜C 2	0.159	0.166			
けやき台C 1	0.147	0.149			
佐田A 4	0.178	0.170			
坂尻C 2	0.168	0.170			
和田A 1	0.187	0.173			
郷市C 6	0.129	0.136			
久々子C 1	0.143	0.145			
早瀬C 5	0.133	0.137			
日向C 5	0.161	0.161			

過去の平均値：2012～2016年度

*：測定地点変更のため、過去実績は2015～2016年度のみ。

第3表 積算線量測定結果

<大飯・高浜エリア>

(測定地点のA, B, C, Dは担当機関を示す。A:県、B:原電、C:関電、D:原子力機構)

単位：mGy/92日

大飯地区			高浜地区		
測定地点	今 期	過去の平均値	測定地点	今 期	過去の平均値
赤礁崎C	0.102	0.107	音海A 4	0.131	0.125
宮留奥A 1	0.120	0.113	音海C 4	0.118	0.121
宮留A 8	0.114	0.114 ^{*1}	音海県道C 1	0.110	0.111
宮留C 3	0.117	0.116	田ノ浦C	0.115	0.116
日角浜C 3	0.114	0.114	小黒飯A 4	0.150	0.138
西村A 3	0.126	0.122	小黒飯C 3	0.118	0.121
西村C 1	0.092	0.091	旧神野小学校A 1	0.132	0.130
犬見C 2	0.124	0.122	神野A 5	0.115	0.111
本郷A 6	0.132	0.128 ^{*2}	神野浦C 2	0.096	0.098
本郷C 5	0.122	0.122	山中A 4	0.143	0.130
鹿野C 5	0.121	0.124	山中C 2	0.090	0.092
川上C 4	0.124	0.128	下A 3	0.111	0.107
鯉川A 3	0.143	0.133	日引C 3	0.113	0.112
加斗A 5	0.151	0.141	上瀬A 3	0.098	0.093
西勢A 3	0.140	0.131	六路谷A 4	0.119	0.105
東勢C 1	0.125	0.127	六路谷C 2	0.128	0.129
小浜市野球場C 2	0.122	0.127	高野C	0.123	0.124
小浜市大原A 4	0.178	0.167	青郷C 2	0.121	0.124
若狭健康福祉センターA 3	0.168	0.162	東三松A 5	0.147	0.144
西津A 3	0.147	0.141	東三松C 2	0.115	0.119
西津C 3	0.114	0.117	高浜町役場A 4	0.113	0.104
堅海A 3	0.149	0.142	高浜C	0.112	0.109
堅海C 3	0.124	0.127	和田C 3	0.114	0.115
泊C 2	0.131	0.133	田井C 3	0.133	0.136
			夕潮台C 2	0.098	0.101

過去の平均値：2012～2016年度

* 1：設置環境が変化したため、過去実績は2014～2016年度のみ。

* 2：測定地点変更のため、過去実績は2016年度のみ。

第3表 積算線量測定結果

<大飯・高浜エリア>

<比較対照エリア>

(測定地点のA, B, C, Dは担当機関を示す。A:県、B:原電、C:関電、D:原子力機構)

単位：mGy/92日

広域監視地区			対照地区		
測定地点	今 期	過去の平均値	測定地点	今 期	過去の平均値
名田庄C 3	0.125	0.130	池田A 3	0.147	0.147
上中C 3	0.104	0.108	殿下A 4	0.166	0.160
			美山A 5	0.150	0.139
			福井市原目町A 3	0.153	0.144
			川西A 4	0.129	0.127
			金津A 3	0.163	0.148
			勝山A 4	0.187	0.175

過去の平均値：2012～2016年度

<第3表に関する注釈>

- (1) 常宮A4は、2014年2月に付近に建築物が設置され周辺環境が変化したが、暫定的に従来と同一地点として取り扱ってきた。2014年第4期終了後、周辺環境変化の前後でデータの有意差検定を行ったところ、データの有意差が認められなかったため、従来と同一地点として取扱う。
- (2) 丹生A5は、2014年1月に付近に建築物が設置され周辺環境が変化したが、暫定的に従来と同一地点として取り扱ってきた。2014年第4期終了後、周辺環境変化の前後でデータの有意差検定を行ったところ、データの有意差が認められなかったため、従来と同一地点として取扱う。
- (3) 宮留A7は、2014年3月に観測局建て替えに伴い約6.5m移動し、従来の観測局が撤去され周辺環境が変化したが、暫定的に従来と同一地点として取り扱ってきた。2014年第4期終了後、周辺環境変化の前後でデータの有意差検定を行ったところ、有意差が認められたため、2014年度第1四半期から地点番号をひとつ進め、宮留A8とした。
- (4) 音海A4は、2014年12月に測定地点周辺工事のため約2.5m移動し、周辺環境が変化したが、暫定的に従来と同一地点として取り扱ってきた。2015年第3期終了後、周辺環境変化の前後でデータの有意差検定を行ったところ、データの有意差が認められなかったため、従来と同一地点として取扱う。
- (5) 竹波A5は、2015年2月に観測局とともに約130m移転し周辺環境が変化したため、地点番号をひとつ進め竹波A6とする。
- (6) 沓B5は、2015年5月に測定地点周辺の整地に伴い約5m移動し周辺環境が変化したが、暫定的に従来と同一地点として取り扱ってきた。2016年第1期終了後、周辺環境変化の前後でデータの有意差検定を行ったところ、データの有意差が認められたため、2015年度第2四半期から地点番号をひとつ進め、沓B6とした。
- (7) 日本原電は2015年度第2期から新しい電子線量計を採用したが、測定結果は過去の平常の範囲内であることから1年間データの蓄積を待って有意差検定を行うものとし、暫定的に従来と同一地点として取り扱ってきた。2016年第2期終了後、更新前後でデータの有意差検定を行ったところ、名子B1でデータの有意差が認められたため、2015年度第2四半期から地点番号をひとつ進め、名子B2とした。
なお、その他の地点ではデータの有意差が認められなかったため、従来と同一地点として取扱う。
- (8) 白木A5は、2016年1月に観測局とともに約30m移転し周辺環境が変化したため、地点番号をひとつ進め白木A6とする。
- (9) 本郷A5は、2016年2月に測定地点周辺の駐車場整備のため約35m移転し周辺環境が変化したため、地点番号をひとつ進め本郷A6とする。
- (10) 田井C3は、2017年2月下旬から3月上旬間に田井コミュニティセンターが解体され周辺環境が変化したが、過去の平常の範囲内であることから1年間データの蓄積を待って有意差検定を行うものとし、暫定的に従来と同一地点として扱う。

第4表 浮遊じん放射能の連続測定結果

機関：A(県)

単位＝放射能濃度：Bq/m³、放射能濃度比：%

地区	測定地点	測定月	ベータ放射能濃度				アルファ放射能濃度				(ベータ/アルファ) 放射能濃度比					
			最高濃度	最低濃度	月間平均濃度	月間標準偏差	最高濃度	最低濃度	月間平均濃度	月間標準偏差	最高	最低	月間平均濃度比 M	月間標準偏差 σ	M+3σを超えた数と原因	
															自然変動	その他
敦賀	立石 A	4 月	9.4	0.5	2.6	1.3	10.9	0.6	3.1	1.5	91	75	83	3	0	0
		5 月	15.6	1.1	3.8	2.6	19.3	1.3	4.6	3.2	93	75	83	3	1	0
		6 月	19.3	0.4	3.7	3.2	22.9	0.5	4.6	3.9	93	72	80	4	1	0
		過去実績	16.8	0.1	3.2	2.1	22.4	0.1	4.1	2.7	91	65	78	4	7	0
	浦底 A	4 月	13.7	0.5	2.8	1.8	16.7	0.5	3.4	2.2	91	71	82	4	0	0
		5 月	29.2	1.0	4.6	4.5	35.3	1.2	5.5	5.5	93	72	83	4	0	0
		6 月	34.5	0.4	4.4	4.7	44.8	0.5	5.5	6.0	90	70	80	3	0	0
		過去実績	32.9	0.1	3.9	3.5	43.3	0.2	5.1	4.5	92	65	76	4	7	0
白木	白木 A	4 月	8.7	0.4	2.7	1.6	10.3	0.4	3.2	1.8	95	75	83	3	1	0
		5 月	37.4	1.0	5.3	5.3	47.7	1.3	6.7	6.8	93	69	79	4	3	0
		6 月	38.0	0.4	4.7	5.6	48.9	0.5	5.9	7.1	87	70	78	3	0	0
		過去実績	29.1	0.3	3.4	3.0	40.3	0.3	4.5	3.9	93	63	77	4	11	0
	白木峠 A	4 月	6.2	0.4	2.1	0.9	8.6	0.5	2.7	1.2	87	69	77	4	0	0
		5 月	13.3	1.0	3.2	2.0	18.1	1.2	4.3	2.8	86	64	75	4	0	0
		6 月	15.1	0.4	3.1	2.5	20.9	0.5	4.2	3.5	82	66	74	3	0	0
		過去実績	11.8	0.2	2.5	1.4	15.9	0.2	3.4	1.9	86	64	74	4	8	0
美浜	丹生 A	4 月	10.3	0.4	2.7	1.7	12.5	0.6	3.4	2.1	90	69	79	4	0	0
		5 月	18.9	0.9	4.3	3.5	24.8	1.2	5.4	4.4	90	71	80	4	0	0
		6 月	16.9	0.3	3.8	3.4	23.4	0.4	5.0	4.5	86	68	76	4	0	0
		過去実績	14.9	0.1	3.2	2.2	19.7	0.1	4.2	2.9	93	65	76	4	13	0
	竹波 A	4 月	10.2	0.4	2.8	1.7	13.4	0.5	3.6	2.1	94	70	80	4	1	0
		5 月	20.8	0.9	4.4	3.6	26.6	1.0	5.4	4.4	92	73	82	4	0	0
		6 月	26.0	0.3	4.4	4.3	33.6	0.4	5.4	5.4	89	71	80	3	0	0
		過去実績	19.0	0.1	3.6	2.7	25.4	0.2	4.7	3.4	90	66	76	4	7	0

過去実績：2016年度*

- (注1) 測定地点は、いずれも県テレメータ観測局である。データは、いずれも3時間毎の素データを計算の基礎において算出したものである。
- (注2) 「M+3σを超えた数」の過去の実績は、月毎に算出した数の年間和の平均である。
- (注3) 「平均値+標準偏差の3倍」の平常の変動幅を超えたものについて原因の調査を行っている。
 これらは、平常の変動幅をわずかの超えたもの、もしくは空气中放射能濃度が低いときに観測されたものであった。
 なお、ゲルマニウム検出器による核種分析でも人工放射性核種は検出されていないことから、これらの上昇は天然放射能の変動によるものであると見なされる。

*：2015年度（2015年10月～2016年3月）に機器を更新したため、過去実績は2016年度のみ。

第4表 浮遊じん放射能の連続測定結果

機関：A(県)

単位＝放射能濃度：Bq/m³、放射能濃度比：%

地区	測定地点	測定月	ベータ放射能濃度				アルファ放射能濃度				(ベータ/アルファ) 放射能濃度比					
			最高濃度	最低濃度	月間平均濃度	月間標準偏差	最高濃度	最低濃度	月間平均濃度	月間標準偏差	最高	最低	月間平均濃度比 M	月間標準偏差 σ	M+3σを超えた数と原因	
															自然変動	その他
大飯	宮留A	4月	10.4	0.3	2.8	2.0	12.6	0.4	3.5	2.5	100	76	88	4	1	0
		5月	19.7	1.1	4.5	3.6	28.5	1.5	6.2	5.1	93	72	81	4	1	0
		6月	18.4	0.3	3.8	3.6	26.2	0.4	5.1	4.9	99	73	81	4	2	0
		過去実績	17.3	0.1	3.3	2.6	23.0	0.1	4.4	3.5	101	65	80	6	11	0
	日角浜A	4月	9.8	0.3	2.6	1.8	12.6	0.4	3.2	2.2	92	73	82	4	0	0
		5月	17.9	1.0	4.2	3.3	23.6	1.2	5.6	4.5	88	69	75	3	1	0
		6月	16.3	0.3	3.6	3.3	22.9	0.3	4.8	4.4	86	67	75	3	1	0
		過去実績	15.8	0.1	3.2	2.4	21.1	0.2	4.2	3.2	90	66	77	4	8	0
高浜	音海A	4月	6.1	0.4	2.2	1.2	8.1	0.5	2.9	1.5	86	70	78	4	0	0
		5月	8.9	1.1	3.1	1.7	11.4	1.5	4.0	2.2	86	69	77	3	0	0
		6月	10.6	0.3	2.7	2.1	14.3	0.4	3.6	2.7	89	68	76	3	2	0
		過去実績	9.7	0.2	2.7	1.5	13.9	0.3	3.6	2.1	88	62	75	4	6	0
	小黒飯A	4月	7.9	0.4	2.1	1.1	9.9	0.4	2.6	1.4	92	68	82	5	0	0
		5月	7.4	1.1	2.7	1.4	9.0	1.2	3.3	1.8	95	77	84	3	2	0
		6月	10.4	0.3	2.6	2.0	13.9	0.4	3.5	2.6	90	68	78	5	0	0
		過去実績	8.6	0.2	2.5	1.3	11.3	0.2	3.3	1.8	95	66	76	4	6	0
	神野浦A	4月	6.1	0.4	2.0	1.1	8.2	0.5	2.6	1.3	88	71	80	3	0	0
		5月	8.4	0.8	2.7	1.5	10.5	1.0	3.2	1.8	93	74	85	3	0	0
		6月	9.3	0.2	2.6	1.9	11.7	0.3	3.1	2.3	95	74	83	3	2	0
		過去実績	9.3	0.2	2.6	1.4	12.7	0.3	3.4	1.9	91	65	76	4	9	0

過去実績：2016年度*

- (注1) 測定地点は、いずれも県テレメータ観測局である。データは、いずれも3時間毎の素データを計算の基礎において算出したものである。
- (注2) 「M+3σを超えた数」の過去の実績は、月毎に算出した数の年間和の平均である。
- (注3) 「平均値+標準偏差の3倍」の平常の変動幅を超えたものについて原因の調査を行っている。これらは、平常の変動幅をわずかの超えたもの、もしくは空气中放射能濃度が低いときに観測されたものであった。なお、ゲルマニウム検出器による核種分析でも人工放射性核種は検出されていないことから、これらの上昇は天然放射能の変動によるものであると見なされる。
- *：2015年度（2015年10月～2016年3月）に機器を更新したため、過去実績は2016年度のみ。

第5表 大気中のヨウ素-131分析結果

単位：mBq/m³

地区	採取地点	採取期間	¹³¹ 粒子状 I 濃度	¹³¹ ガス状 I 濃度	過去実績		機 関
					¹³¹ 粒子状 I	¹³¹ ガス状 I	
敦賀	浦底A	17.04.07~17.05.02	—	—	—	—	A
		17.05.02~17.06.07	—	—			
		17.06.07~17.07.07	—	—			
白木	白木A	17.04.07~17.05.02	—	—	—	—	A
		17.05.02~17.06.07	—	—			
		17.06.07~17.07.07	—	—			
美浜	竹波A	17.04.07~17.05.02	—	—	—*	—*	A
		17.05.02~17.06.07	—	—			
		17.06.07~17.07.07	—	—			
大飯	宮留A	17.04.06~17.05.01	—	—	—	—	A
		17.05.01~17.06.06	—	—			
		17.06.06~17.07.06	—	—			
	日角浜A	17.04.06~17.05.01	—	—	—	—	A
		17.05.01~17.06.06	—	—			
		17.06.06~17.07.06	—	—			
高浜	小黒飯A	17.04.06~17.05.01	—	—	—	—	A
		17.05.01~17.06.06	—	—			
		17.06.06~17.07.06	—	—			
	神野浦A	17.04.06~17.05.01	—	—	—	—	A
		17.05.01~17.06.06	—	—			
		17.06.06~17.07.06	—	—			

過去実績：2014～2016年度

*：採取地点変更のため過去実績は2015～2016年度のみ。

第6表 核種分析結果 その1 浮遊じん

単位： mBq/m³

地区	採取地点	採取期間	目的核種							参考核種		天然核種	過去実績		機関
			²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁴ Ce		⁷ Be	⁶⁰ Co	
敦賀	立石B	17.04.06~17.05.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.0	—	—	B
	〃	17.05.08~17.06.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.6			
	〃	17.06.02~17.07.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.9			
	浦底A	17.04.07~17.05.02	—	—	—	—	/	—	—	—	—	4.4	—	—	A
	〃	17.05.02~17.06.07	—	—	—	—	/	—	—	—	—	3.6			
	〃	17.06.07~17.07.07	—	—	—	—	/	—	—	—	—	2.5			
	浦底B	17.04.06~17.05.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.1	—	—	B
	〃	17.05.08~17.06.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.9			
	〃	17.06.02~17.07.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.8			
	色ヶ浜B	17.04.06~17.05.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.7	—	—	B
〃	17.05.08~17.06.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.0				
〃	17.06.02~17.07.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.7				
白木	白木A	17.04.07~17.05.02	—	—	—	—	/	—	—	—	—	4.3	—	—	A
	〃	17.05.02~17.06.07	—	—	—	—	/	—	—	—	—	3.7			
	〃	17.06.07~17.07.07	—	—	—	—	/	—	—	—	—	2.6			
	松ヶ崎D	17.04.03~17.05.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.9	—	—	D
	〃	17.05.01~17.06.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.3			
	〃	17.06.01~17.07.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.1			
美浜	竹波A	17.04.07~17.05.02	—	—	—	—	/	—	—	—	—	4.3	—*	—*	A
	〃	17.05.02~17.06.07	—	—	—	—	/	—	—	—	—	3.7			
	〃	17.06.07~17.07.07	—	—	—	—	/	—	—	—	—	2.6			
	丹生	17.04.03~17.05.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.8	—	—	C
	〃	17.05.02~17.06.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.5			
〃	17.06.02~17.07.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.8				
大飯	宮留A	17.04.06~17.05.01	—	—	—	—	/	—	—	—	—	4.6	—	—	A
	〃	17.05.01~17.06.06	—	—	—	—	/	—	—	—	—	3.7			
	〃	17.06.06~17.07.06	—	—	—	—	/	—	—	—	—	2.3			
	日角浜A	17.04.06~17.05.01	—	—	—	—	/	—	—	—	—	4.4	—	—	A
	〃	17.05.01~17.06.06	—	—	—	—	/	—	—	—	—	3.6			
	〃	17.06.06~17.07.06	—	—	—	—	/	—	—	—	—	2.4			
	宮留	17.04.04~17.05.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.9	—	—	C
	〃	17.05.08~17.06.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.6			
〃	17.06.05~17.07.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.0				
高浜	音海	17.04.04~17.05.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.7	—	—	C
	〃	17.05.08~17.06.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.6			
	〃	17.06.05~17.07.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.1			
	小黒飯A	17.04.06~17.05.01	—	—	—	—	/	—	—	—	—	4.6	—	—	A
	〃	17.05.01~17.06.06	—	—	—	—	/	—	—	—	—	3.8			
	〃	17.06.06~17.07.06	—	—	—	—	/	—	—	—	—	2.5			
	神野浦A	17.04.06~17.05.01	—	—	—	—	/	—	—	—	—	4.4	—	—	A
	〃	17.05.01~17.06.06	—	—	—	—	/	—	—	—	—	3.6			
	〃	17.06.06~17.07.06	—	—	—	—	/	—	—	—	—	2.4			
	小黒飯	17.04.04~17.05.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.1	—	—	C
	〃	17.05.08~17.06.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.2			
	〃	17.06.05~17.07.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.4			
対照	福井市原目町 (福井分析管理室)	17.04.03~17.04.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.7	—	—	A
	〃	17.05.01~17.05.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.4			
	〃	17.06.01~17.06.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.3			

過去実績：2014~2016年度

(注) I-131はガス状のものを含まない浮遊じんのみの測定結果である。
 対照地区以外の機関Aの測定は、ろ紙を灰化しているため、I-131は調査対象外である。I-131濃度は第5表 粒子状I-131の欄を参照。
 *：採取地点変更のため過去実績は2015~2016年度のみ。

第7表 核種分析結果 その2 陸水

単位： mBq/l

地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種							参考核種		天然核種	過去実績		機関
				⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be		⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	
敦賀	浦底 (水試)	水道水	17.05.10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A
白木	白木 (民家)	〃	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A
美浜	丹生 (民家)	〃	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A
	菅浜 (菅浜多目的広場)	〃	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A
	竹波 (落合川)	河川水	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A
大飯	宮留 (民家)	水道水	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A
高浜	音海 (民家)	〃	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A
	神野浦 (区集会所)	〃	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A
	日引 (旧日引小学校)	〃	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A
対照	福井市原目町 (福井分析管理室)	〃	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A

過去実績：2014～2016年度

(注) 機関Aはマリネリピーカーを用いて直接測定、その他の機関はパウデックス樹脂に吸着後測定。

第8表 核種分析結果 その3 陸土

単位：Bq/kg乾土

地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種					参考核種		天然核種				過去実績		機関
				⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁴⁰ K	Th-Ser	U-Ser	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	
敦賀	明神町 (猪ヶ池野島園)	未耕土	17.05.25	—	—	—	—	0.9	—	—	4.8	650	36	21	—	1.0~1.3	A
白木	白木 (川崎重工事務所)	〃	〃	—	—	—	—	—	—	—	4.6	1200	110	41	—	—	A
美浜	竹波 (高那弥神社)	土床	〃	—	—	—	—	7.1	—	—	6.8	1200	120	57	—	2.6~9.9	A
大飯	宮留 (県テレメ観測局)	未耕土	17.05.24	—	—	—	—	1.1	—	—	3.0	340	24	17	—	1.0~1.9	A
高浜	神野浦 (気比神社)	土床	〃	—	—	—	—	1.0	—	—	—	1100	100	60	—	0.8~1.8	A
対照	福井市原目町 (衛環研)	未耕土	17.05.25	—	—	—	—	1.4	—	—	10	530	27	18	—*	1.6~1.8*	A
	勝山市池ヶ原 (奥越高原牧場)	山土	17.06.14	—	—	—	—	18	—	—	—	270	50	35	—	18~19	A

過去実績：2014~2016年度

(注) 0~5cmで採取した試料の粒径2mm以下を分析した。Th系列 (Th-Ser) はTl-208から系列ガンマ線放出比30.7%を用いて、U系列 (U-Ser) はBi-214またはPb-214から系列ガンマ線放出比44.2% (または36.0%) を用いて求めたものである。
*：採取地点変更のため過去実績は2016年度のみ。

第9表 核種分析結果 その4 農畜産物（原乳）

単位： Bq/l

地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種						参考核種		天然核種	過去実績		機関	
				⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁴ Ce		⁴⁰ K	¹³¹ I		¹³⁷ Cs
美浜	山上	原乳	17.06.16	—	—	—	—	—	—	—	—	—	47	—	—	A
対照	勝山市池ヶ原	〃	17.06.14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	52	—	—	A

過去実績：2014～2016年度

(注) マリネリピーカーを用いて直接測定。

第10表 核種分析結果 その5 指標植物（ヨモギ）

単位： Bq/kg生

地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種							参考核種			天然核種		過去実績		機関
				²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁰ Ba	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁴⁰ K	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	
敦賀	浦底	ヨモギ	17.05.25	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	21	220	—	ND~0.3	A
	〃	〃	17.06.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	30	220			
白木	白木	〃	17.05.25	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	28	200	—	ND~0.4	A
	〃	〃	17.06.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	30	190			
美浜	竹波	〃	17.05.25	—	—	—	—	—	—	0.2	—	—	—	25	220	—	ND~0.6	A
	〃	〃	17.06.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	31	240			
大飯	日角浜	〃	17.05.24	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	12	280	—	ND~0.1	A
	〃	〃	17.06.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	43	270			
高浜	小黒飯	〃	17.05.24	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	15	250	—	ND~0.1	A
	〃	〃	17.06.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	44	260			
対照	福井市原目町	〃	17.05.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	34	200	—	ND~0.2	A
	〃	〃	17.06.01	—	—	—	—	—	—	—	0.1	—	—	23	240			

過去実績：2014~2016年度

第11表 核種分析結果 その6 指標植物（松葉（2年葉））

単位：Bq/kg生

地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種							参考核種			天然核種		過去実績		機関
				²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁰ Ba	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁴⁰ K	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	
敦賀	浦底（明神寮）	松葉	17.06.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	35	69	—	—	B
美浜	丹生	〃	17.06.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	32	49	—	—	C
大飯	畑村（県道脇）	〃	17.06.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	30	64	—	—	C
高浜	小黒飯（白浜トンネル上）	〃	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	43	61	—	—	C

過去実績：2014～2016年度

第12表 核種分析結果 その7 降下物

単位： Bq/m²

地区	採取地点	採取期間	目的核種							参考核種			天然核種	過去実績		機関
			²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁰ Ba	¹⁴⁴ Ce		⁷ Be	⁶⁰ Co	
敦賀	明神町 (敦賀原子力館)	17.04.07~17.05.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	130	—	—	A
	〃	17.05.02~17.06.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	180			
	〃	17.06.07~17.07.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	88			
	浦底 (明神寮)	17.04.04~17.05.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	88	—	—	B
	〃	17.05.01~17.06.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	110			
	〃	17.06.01~17.07.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100			
白木	白木 (川崎重工事務所)	17.04.07~17.05.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	120	—	—	A
	〃	17.05.02~17.06.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	150			
	〃	17.06.07~17.07.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	110			
	松ヶ崎 (機構モニタリングステーション)	17.04.03~17.05.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	78	—	—	D
	〃	17.05.08~17.06.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	120			
	〃	17.06.01~17.07.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	74			
美浜	竹波 (落合川取水場)	17.04.07~17.05.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	76	—	—	A
	〃	17.05.02~17.06.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	210			
	〃	17.06.07~17.07.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	81			
	丹生 (関電丹生寮)	17.04.03~17.05.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	120	—	—	C
	〃	17.05.02~17.06.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	140			
	〃	17.06.02~17.07.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	42			
大飯	宮留 (県テレメ観測局)	17.04.06~17.05.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	130	—	—	A
	〃	17.05.01~17.06.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	140			
	〃	17.06.06~17.07.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	79			
	日角浜 (ヴィラ大島)	17.04.04~17.05.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	140	—	—	C
	〃	17.05.08~17.06.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	150			
	〃	17.06.05~17.07.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	76			
高浜	小黒飯 (県テレメ観測局)	17.04.06~17.05.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	120	—	—	A
	〃	17.05.01~17.06.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	130			
	〃	17.06.06~17.07.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	88			
	小和田 (小和田ポンプ所)	17.04.04~17.05.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	120	—	—	C
	〃	17.05.08~17.06.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	150			
	〃	17.06.05~17.07.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	75			
対照	福井市原目町 (福井分析管理室)	17.04.03~17.05.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	180	—	—	A
	〃	17.05.01~17.06.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100			
	〃	17.06.01~17.07.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	160			

過去実績：2014~2016年度

第13表 核種分析結果 その8 海水

単位：mBq/l

地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種						参考核種		過去実績		機関
				⁵⁴ Mn	⁵⁹ Fe	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁴ Ce	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	
敦賀	敦賀発電所2号放水口	海水	17.05.09	—	—	—	—	—	2.2	—	—	—	1.6~2.4	B
	〃	〃	17.05.18	—	—	—	—	—	1.4	—	—	—	—	A
	ふげん放水口	〃	〃	—	—	—	—	—	1.3	—	—	—	ND~2.2	A
	〃	〃	17.06.15	—	—	—	—	—	1.8	—	—	—	—	D
白木	もんじゅ放水口	〃	17.04.13	—	—	—	—	—	1.9	—	—	—	ND~2.3	A
	〃	〃	17.05.22	—	—	—	—	—	1.6	—	—	—	—	D
美浜	美浜発電所1, 2号放水口	〃	17.04.13	—	—	—	—	—	1.6	—	—	—	ND~2.9	A
	〃	〃	17.05.11	—	—	—	—	—	2.8	—	—	—	—	C
	美浜発電所3号放水口	〃	17.04.13	—	—	—	—	—	1.9	—	—	—	ND~2.7	A
	〃	〃	17.05.11	—	—	—	—	—	2.6	—	—	—	—	C
大飯	大飯発電所放水口	〃	17.04.14	—	—	—	—	—	1.8	—	—	—	ND~3.0	A
	〃	〃	17.05.10	—	—	—	—	—	2.0	—	—	—	—	C
高浜	高浜発電所1, 2号放水口	〃	17.04.14	—	—	—	—	—	1.6	—	—	—	ND~2.5	A
	〃	〃	17.05.10	—	—	—	—	—	1.9	—	—	—	—	C
	高浜発電所3, 4号放水口	〃	17.04.14	—	—	—	—	—	2.0	—	—	—	ND~2.5	A
	〃	〃	17.05.10	—	—	—	—	—	2.3	—	—	—	—	C
対照	福井市小丹生町	〃	17.04.04	—	—	—	—	—	2.1	—	—	—	1.3~2.3	A

過去実績：2014~2016年度

第14表 核種分析結果 その9 海底土

単位：Bq/kg乾土

地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種					参考核種		天然核種				過去実績		機関	
				⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁴⁰ K	Th-Ser	U-Ser	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs		
敦賀	敦賀発電所2号放水口	砂	17.05.18	—	—	—	—	—	—	—	—	5.8	790	14	10	—	—	A
	〃	〃	17.05.09	—	—	—	—	—	—	—	—	5.2	860	15	9.4	—	—	B
	2号放水口沖	〃	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1200	50	25	—	—	B
	ふげん放水口	〃	17.06.15	—	—	—	—	—	—	—	—	7.1	720	23	15	—	—	D
白木	もんじゅ放水口	〃	17.04.13	—	—	—	—	—	—	—	—	3.7	1300	15	13	—	—	A
	〃	〃	17.05.22	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1400	17	13	—	—	D
美浜	美浜発電所1, 2号放水口	〃	17.04.13	—	—	—	—	0.3	—	—	—	6.5	820	40	19	—	—	A
	〃	〃	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	8.0	840	70	26	—	—	C
	美浜発電所1, 2号放水口沖	〃	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1100	93	50	—	—	C
	美浜発電所3号放水口	〃	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	880	50	23	—	—	C
	丹生湾中央	泥	〃	—	—	—	—	5.4	—	—	—	—	700	62	31	—	5.2~8.8	C
大飯	大飯発電所放水口	砂	17.04.14	—	—	—	—	—	—	—	—	3.9	130	4.1	4.3	—	ND~0.3	A
	〃	〃	17.04.11	—	—	—	—	—	—	—	—	3.1	110	3.7	4.0	—	—	C
	放水口沖	〃	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	160	6.4	6.2	—	—	C
高浜	高浜発電所1, 2号放水口	砂・泥	17.04.14	—	—	—	—	0.7	—	—	—	4.4	430	21	13	—	0.6~1.6	A
	〃	砂	17.04.12	—	—	—	—	1.3	—	—	—	5.2	440	21	13	—	—	C
	高浜発電所3, 4号放水口	砂・泥	17.04.14	—	—	—	—	0.9	—	—	—	8.9	360	18	11	—	ND~0.9	A
	〃	砂	17.04.12	—	—	—	—	—	—	—	—	4.2	400	20	14	—	—	C
	高浜発電所放水口沖	〃	〃	—	—	—	—	1.4	—	—	—	—	390	15	10	—	0.8~2.1	C

過去実績：2014~2016年度

(注) エクマンバージ等の採泥器で採取した試料の粒径2mm以下を分析した。天然核種の求め方は陸土と同様である。

第15表 核種分析結果 その10 海産食品

単位: Bq/kg生

地区	採取地点	種類	部位	採取年月日	目的核種								参考核種		天然核種		平均体長 cm	平均体重 g	過去実績		機関
					²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁴⁰ K	⁶⁰ Co			¹³⁷ Cs		
					—	—	—	—	/	—	0.1	—	—	—	130	24			108	—	
敦賀	立石漁港	トビウオ	肉	17.06.07	—	—	—	—	/	—	0.1	—	—	—	130	24	108	—	0.0~0.3	A	
	長崎	サザエ	除殻	17.06.06	—	—	—	—	/	—	0.0	—	—	2.8	79	3	70	—	ND~0.0	A	
	立石漁港	ワカメ	除根	17.04.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.6	30	—	—	—	—	A	
	えりヶ崎	〃	〃	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.6	27	—	—	—	—	A	
	立石沖	〃	〃	17.04.13	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	210	—	—	—	—	B	
	えりヶ崎	〃	〃	17.05.15	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.0	53	—	—	—	—	A	
白木	門ヶ崎	メバル	肉	17.06.20	—	—	—	—	/	—	0.1	—	—	—	100	22	184	—	0.1~0.2	A	
	アジゴ崎	サワラ	〃	17.06.21	—	—	—	—	/	—	0.2	—	—	—	130	50	861	—	—	A	
	サビ崎	サザエ	除殻	17.06.08	—	—	—	—	/	—	—	—	—	3.8	100	3	91	—	ND~0.0	A	
	松ヶ崎	ワカメ	除根	17.04.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.8	51	—	—	—	—	A	
	もんじゅ放水口東	〃	〃	17.04.15	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.8	110	—	—	—	—	A	
	門ヶ崎	〃	〃	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.8	62	—	—	—	—	A	
	白木沿岸	〃	〃	17.04.17	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.7	190	—	—	—	—	D	
美浜	美浜発電所1, 2号放水口沖	スズキ	肉	17.04.07	—	—	—	—	/	—	0.2	—	—	—	120	35	362	—	0.1~0.2	A	
	美浜発電所1, 2号放水口	アジ	全身	17.06.14	—	—	—	—	/	—	0.1	—	—	—	110	13	25	—	—	C	
	美浜発電所3号放水口	〃	〃	〃	—	—	—	—	/	—	0.1	—	—	—	110	14	24	—	—	A	
	美浜発電所1, 2号放水口沖	イカ	〃	17.04.07	—	—	—	—	/	—	0.0	—	—	0.5	91	7	5	—	—	A	
	あご越	サザエ	除殻	17.06.08	—	—	—	—	/	—	—	—	—	3.2	94	3	60	—	ND~0.0	A	
	美浜発電所1, 2号放水口	ワカメ	除根	17.04.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.4	110	—	—	—	—	A	
	〃	〃	〃	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.8	130	—	—	—	—	A	
	美浜発電所1, 2号放水口沖	〃	〃	17.05.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.4	86	—	—	—	—	A	
大飯	髷島沖	スズキ	肉	17.04.06	—	—	—	—	/	—	0.2	—	—	—	100	49	1310	—	ND~0.3	A	
	〃	カレイ	〃	〃	—	—	—	—	/	—	0.1	—	—	—	87	24	156	—	—	A	
	大飯発電所放水口	アジ	〃	17.06.12	—	—	—	—	/	—	0.2	—	—	—	130	30	271	—	—	C	
	赤礁崎	サザエ	除殻	17.06.09	—	—	—	—	/	—	—	—	—	4.1	78	3	69	—	ND~0.0	A	
	大飯発電所放水口	ワカメ	除根	17.04.16	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.4	130	—	—	—	—	C	
	黒崎	〃	〃	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.1	41	—	—	—	—	A	
	鋸崎	〃	〃	17.04.23	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.4	26	—	—	—	—	A	
	赤礁崎	モズク	〃	17.05.16	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.2	16	—	—	—	—	A	
高浜	内浦湾	アジ	肉	17.06.17	—	—	—	—	/	—	0.1	—	—	—	120	21	125	—	0.0~0.2	C	
	難波江	コウイカ	〃	17.05.08	—	—	—	—	/	—	—	—	—	—	90	44	281	—	—	A	
	小黒飯漁港	ワカメ	除根	17.05.17	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.0	36	—	—	—	—	A	
	名島	〃	〃	17.05.20	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.1	40	—	—	—	—	A	
対照	越前町	スズキ	肉	17.04.21	—	—	—	—	/	—	0.3	—	—	—	110	60	2414	—	0.1~0.3	A	
	鷹巣沖	サザエ	除殻	17.06.14	—	—	—	—	/	—	—	—	—	2.4	70	3	118	—	ND~0.0	A	
	河野沖	ワカメ	除根	17.04.14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.5	140	—	—	—	—	A	
	〃	モズク	〃	17.05.14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.9	110	—	—	—	—	A	

過去実績: 2014~2016年度

(注1) 実績欄の値は、地区毎の魚、貝、藻別にまとめて求めたものである。付帯データのうち体長は全長、重量は全身または殻込みの重量である。各放水口は放水口付近を含む。

(注2) 「0.0」は0.05未満で検出限界値以上を示す。

第16表 核種分析結果 その11 指標海産生物

単位：Bq/kg生

地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種							参考核種			天然核種		過去実績		機関	
				²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁰ Ba	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁴⁰ K	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs		
敦賀	明神崎F	ホンダワラ	17.05.09	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7.2	330	—	—	B
	水島	〃	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.4	290	—	—	B
	釜谷元川河口	〃	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.6	310	—	ND~0.1	B
	立石	〃	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.5	270	—	—	B
	敦賀発電所2号放水口	〃	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.5	340	—	—	B
	〃	〃	17.05.18	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.6	310	—	—	A
	ふげん放水口	〃	17.05.16	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.9	250	—	—	D
〃	〃	17.05.18	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.5	230	—	—	A	
白木	松ヶ崎	〃	17.05.19	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.6	350	—	—	D	
	〃	〃	17.05.25	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.2	270	—	—	A	
美浜	美浜発電所1, 2号放水口	〃	17.04.13	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	9.6	240	—	ND~0.1	C	
	〃	〃	17.05.18	—	—	—	—	—	—	—	0.0	—	—	12	100	—	—	A	
	美浜発電所3号放水口	〃	17.04.13	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.1	280	—	ND~0.1	C	
	〃	〃	17.05.18	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.7	230	—	—	A	
大飯	大飯発電所放水口	〃	17.04.11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.9	210	—	—	C	
	台場浜	〃	17.05.24	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.3	240	—	ND~0.0	A	
高浜	高浜発電所1, 2号放水口	〃	17.04.12	—	—	—	—	—	—	—	0.1	—	—	12	230	—*	ND~0.1*	C	
	〃	〃	17.05.18	—	—	—	—	—	—	—	0.1	—	—	6.3	230	—	—	A	
	高浜発電所3, 4号放水口	〃	17.04.12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	21	210	—	ND~0.2	C	
	神野浦	〃	17.05.24	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.3	240	—	—	A	
	音海	〃	17.04.12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	12	210	—	ND~0.1	C	
対照	福井市小丹生町	〃	17.04.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8.6	250	—	—	A	

過去実績：2014～2016年度

(注) ホンダワラは除根試料を分析した。

*：2011～2014年度まで代替地点で調査を行っていたため過去実績は2015～2016年度のみ。

(参考) 今期のセシウム-137分析結果

単位: 浮遊じん (mBq/m³)、原乳 (Bq/l)、降下物 (Bq/m²)、陸水・海水 (mBq/l)、その他 (Bq/kg)

試料	地区			敦賀			白木			美浜		
	今期	14~16年度	8~10年度	今期	14~16年度	8~10年度	今期	14~16年度	8~10年度	今期	14~16年度	8~10年度
浮遊じん	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
陸水	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
陸土	0.9	1.0~23	8.3~28	—	ND~1.9	0.8~2.2	7.1	2.6~9.9	2.5~6.2	—	—	—
指標植物(ヨモギ)	—	ND~0.3	ND~0.1	—	ND~0.4	ND~0.3	ND~0.2	ND~0.6	ND~0.4	—	—	—
指標植物(松葉)	—	—	—	/	—	—	—	—	—	—	—	—
農畜産物(大根葉)	/	—	ND~0.0	/	—	ND~0.0	/	—	ND~0.0	—	—	ND~0.0
農畜産物(原乳)	/	/	/	/	/	/	—	—	—	—	—	—*1
降下物	—	—	ND~0.3	—	—	—	—	—	—	—	—	ND~0.3
海水	1.3~2.2	ND~2.4	ND~2.4	1.6~1.9	ND~2.3	ND~2.1	1.6~2.8	ND~2.9	ND~2.6	—	—	—
海底土	—	ND~3.2	ND~3.5	—	—	—	ND~5.6	ND~8.8	ND~8.8	—	—	—
海産食品(魚類)	0.1	0.0~0.3	ND~0.2	0.1~0.2	0.1~0.2	0.0~0.3	0.0~0.2	0.1~0.2	0.0~0.1	—	—	—
〃 (貝類)	0.0	ND~0.0	ND~0.0	—	ND~0.0	ND~0.0	—	ND~0.0	ND~0.0	—	—	—
〃 (藻類)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
指標海産生物	—	ND~0.1	ND~0.1	—	—	—	ND~0.0	ND~0.1	ND~0.1	—	—	—

試料	地区			大飯			高浜			対照		
	今期	14~16年度	8~10年度	今期	14~16年度	8~10年度	今期	14~16年度	8~10年度	今期	14~16年度	8~10年度
浮遊じん	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
陸水	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
陸土	1.1	1.0~2.7	2.0~89*2	1.0	0.8~5.6	4.2~9.0	1.4~18	1.6~19	2.6~150*3	—	—	—
指標植物(ヨモギ)	—	ND~0.1	ND~0.2	—	ND~0.1	—	ND~0.1	ND~0.2	ND~0.1	—	—	—
指標植物(松葉)	—	—	—	—	—	—	/	—	ND~0.6	—	—	—
農畜産物(大根葉)	/	—	—	/	—	—	/	—	—	—	—	—
農畜産物(原乳)	/	/	/	/	/	/	—	—	—	—	—	—
降下物	—	—	—	—	—	ND~0.1	—	—	ND~0.3	—	—	—
海水	1.8~2.0	ND~3.0	ND~2.0	1.6~2.3	ND~2.5	ND~2.5	2.1	1.3~2.3	ND~1.8	—	—	—
海底土	—	ND~4.0	ND~4.3	ND~1.4	ND~2.1	ND~3.9	/	/	/	—	—	—
海産食品(魚類)	0.1~0.2	ND~0.3	0.0~0.2	ND~0.1	0.0~0.2	0.0~0.2	0.3	0.1~0.3	0.1~0.3	—	—	—
〃 (貝類)	—	ND~0.0	ND~0.0	/	ND~0.1	ND~0.0	—	ND~0.0	—	—	—	—
〃 (藻類)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
指標海産生物	—	ND~0.0	ND~0.0	ND~0.1	ND~0.2	ND~0.3	—	—	—	—	—	—

(注1) 実績欄の値は対象となる試料の過去3ヶ年全ての測定結果を地区毎に集計したものである。
また、過去3ヶ年の測定結果には一部の試料で福島第一原子力発電所事故の影響がみられることから、事故以前の3ヶ年実績(事故が発生した2010年度3月を除く)も合わせて記載した。

(注2) 「0.0」は0.05未満で検出限界値以上、「ND」は検出限界未満、「—」は検出実績が1例もない場合、「/」は調査対象外であることを示す。

*1: 旧採取地点(安江; 2013年度以前)の実績を含む。

*2: 旧採取地点(日角浜; 2013年度以前)の実績を含む。

*3: 旧採取地点(奥越高原牧場; 2011年度以前)の実績を含む。

第17表 トリチウム分析結果 その1 陸水

単位：Bq/l

地区	採取地点	種類	採取年月日	放射能濃度	過去実績	機関
敦賀	浦底 (水試)	水道水	17.05.10	0.9	ND~1.7	A
白木	白木 (民家)	〃	17.05.10	0.5	ND~1.0	A
美浜	丹生 (民家)	〃	17.05.10	1.2	0.5~1.2	A
	菅浜 (菅浜多目的広場)	〃	17.05.10	0.9	ND~1.0	A
	竹波 (落合川)	河川水	17.05.10	0.8	ND~1.6	A
大飯	宮留 (民家)	水道水	17.05.10	0.6	ND~1.1	A
高浜	音海 (民家)	〃	17.05.10	0.7	ND~1.0	A
	神野浦 (区集会所)	〃	17.05.10	0.6	ND~0.9	A
	日引 (旧日引小学校)	〃	17.05.10	0.7	ND~0.8	A
対照	福井市原目町 (福井分析管理室)	〃	17.05.10	0.7	ND~0.8	A

過去実績：2014~2016年度

(注) 計数値が計数誤差の3倍未満の場合は、検出されず(—、またはND)とした。

第18表 トリチウム分析結果 その2 大気中水分

単位：Bq/l

地区	採取地点	採取期間	放射能濃度	過去実績	機関
敦賀	立石A	17.03.31~17.04.28	1.1	0.5~2.0	D
		17.04.28~17.06.02	1.0		
		17.06.02~17.06.30	0.8		
	猪ヶ池B	17.03.31~17.04.28	3.2	1.0~6.5	D
		17.04.28~17.06.02	2.9		
		17.06.02~17.06.30	2.2		
	浦底A	17.04.07~17.05.02	0.9	0.9~3.7	A
		17.05.02~17.06.07	1.5		
		17.06.07~17.07.07	1.3		
	浦底B	17.04.06~17.05.08	1.6	1.4~3.5	B
		17.05.08~17.06.02	1.8		
		17.06.02~17.07.07	1.7		
色ヶ浜B	17.04.06~17.05.08	1.2	1.2~2.3	B	
	17.05.08~17.06.02	1.4			
	17.06.02~17.07.07	1.3			
白木	白木A	17.04.07~17.05.02	0.6	ND~2.8	A
		17.05.02~17.06.07	0.8		
		17.06.07~17.07.07	0.7		
	白木峠A	17.04.03~17.05.01	1.0	0.7~2.7	D
		17.05.01~17.06.05	0.9		
		17.06.05~17.07.03	1.4		
美浜	竹波A	17.04.07~17.05.02	1.1	0.7~1.9*	A
		17.05.02~17.06.07	2.3		
		17.06.07~17.07.07	1.6		
	竹波(落合川取水場)	17.04.03~17.05.02	1.5	1.0~3.1	C
		17.05.02~17.06.01	2.0		
		17.06.01~17.07.03	1.5		
大飯	宮留A	17.04.06~17.05.01	1.4	0.9~2.2	A
		17.05.01~17.06.06	1.5		
		17.06.06~17.07.06	1.6		
	日角浜	17.04.04~17.05.08	1.6	0.9~3.3	C
		17.05.08~17.06.01	2.2		
		17.06.01~17.07.04	2.3		

過去実績：2014~2016年度

(注) 計数値が計数誤差の3倍未満の場合は、検出されず(—、またはND)とした。

*：採取地点変更のため、過去実績は2015~2016年度のみ。

第18表 トリチウム分析結果 その2 大気中水分

単位：Bq/l

地区	採取地点	採取期間	放射能濃度	過去実績	機関
高浜	小黒飯A	17.04.06～17.05.01	5.5	2.5～12	A
		17.05.01～17.06.06	4.9		
		17.06.06～17.07.06	4.5		
	神野浦	17.04.04～17.05.08	3.6	1.4～4.9	C
		17.05.08～17.06.01	3.1		
		17.06.01～17.07.03	2.6		
対照	福井市原目町（福井分析管理室）	17.04.06～17.05.01	0.9	ND～2.0	A
		17.05.01～17.06.06	1.6		
		17.06.06～17.07.06	0.9		

過去実績：2014～2016年度

（注）計数値が計数誤差の3倍未満の場合は、検出されず（－、またはND）とした。

第19表 トリチウム分析結果 その3 雨水

単位：Bq/l

地区	採取地点	採取期間	放射能濃度	過去実績	機関
敦賀	明神町(敦賀原子力館)	17.04.07~17.07.07	1.3	1.0~2.5	A
	浦底(明神寮)	17.04.04~17.07.03	0.9	0.7~1.7	B
白木	白木(川崎重工事務所)	17.04.07~17.07.07	0.8	0.5~1.5	A
	松ヶ崎(機構モニタリングステーション)	17.04.03~17.07.03	1.0	0.4~1.1	D
美浜	竹波(落合川取水場)	17.04.07~17.07.07	1.2	0.5~1.6	A
	丹生(関電丹生寮)	17.04.03~17.07.03	1.0	0.7~1.5	C
大飯	宮留(県テレメ観測局)	17.04.06~17.07.06	1.1	1.0~3.0	A
	日角浜(ヴィラ大島)	17.04.04~17.07.04	1.0	0.7~2.8	C
高浜	小黒飯(県テレメ観測局)	17.04.06~17.07.06	2.3	2.5~6.3	A
	小和田(小和田ポンプ所)	17.04.04~17.07.03	1.2	0.6~1.3	C
対照	福井市原目町(福井分析管理室)	17.04.06~17.07.06	0.6	ND~1.3	A

過去実績：2014~2016年度

(注) 計数値が計数誤差の3倍未満の場合は、検出されず(—、またはND)とした。

第20表 トリチウム分析結果 その4 海水

単位：Bq/l

地区	採取地点	種類	採取年月日	放射能濃度	過去実績	機関
敦賀	敦賀発電所2号放水口	海水	17.05.09	0.5	ND~1.3	B
		〃	17.05.18	—		A
	ふげん放水口	〃	17.05.18	0.6	ND~9.6	A
		〃	17.06.15	—		D
	敦賀発電所2号・ふげん放水口周辺	〃	17.05.18	—	ND~0.9	A
白木	もんじゅ放水口	〃	17.04.13	0.6	ND~0.7	A
		〃	17.05.22	0.8		D
	もんじゅ放水口周辺	〃	17.04.13	0.6	ND~1.2	A
美浜	美浜発電所1, 2号放水口	〃	17.04.13	—	ND~2.4	A
		〃	17.05.11	—		C
	美浜発電所3号放水口	〃	17.04.13	0.6	ND~0.8	A
		〃	17.05.11	—		C
	美浜発電所放水口周辺	〃	17.04.13	0.6	ND~1.1	A
大飯	大飯発電所放水口	〃	17.04.14	0.4	ND~1.3	A
		〃	17.05.10	—		C
	大飯発電所放水口周辺	〃	17.04.14	—	ND~0.9	A
高浜	高浜発電所1, 2号放水口	〃	17.04.12	0.9	ND~2.6	C
		〃	17.04.14	1.1		A
		〃	17.05.10	1.5		C
	高浜発電所3, 4号放水口	〃	17.04.12	—	ND~3.5	C
		〃	17.04.14	0.9		A
		〃	17.05.10	—		C
	高浜発電所放水口沖	〃	17.04.12	0.6	ND~1.9	C
		〃	17.05.10	—		
高浜発電所放水口周辺	〃	17.04.14	0.7	ND~3.5	A	
対照	福井市小丹生町	〃	17.04.04	—	ND~0.6	A

過去実績：2014~2016年度

(注) 計数値が計数誤差の3倍未満の場合は、検出されず(—、またはND)とした。

4. 参考資料

4-1	各発電所の運転実績	69
4-2	(1)各発電所の廃止措置作業状況	70
	(2)高速増殖原型炉もんじゅの試験進捗状況	72
4-3	各発電所の発電停止状況	73
4-4	各発電所の放射性廃棄物放出実績（気体廃棄物）	74
4-5	各発電所の放射性廃棄物放出実績（液体廃棄物）	77
4-6	各発電所の液体廃棄物の核種存在比	78

5. 付 録

付録1	大気中水分、雨水（降下物）のトリチウム分析結果について	80
付録2	国際放射線防護委員会勧告による放射線防護	82
付録3	軽水型原子力発電所に対する線量目標値	85

4-1 各発電所の運転実績

2017年 4月～6月

施設名		発電電力量 (MWH)	最大電力 (MW)	稼働率 (%)	発電日数 (日)
日本原電(株) 敦賀発電所	1号機*	/	/	/	/
	2号機	0	0	0	0
日本原子力研究 開発機構	高速増殖炉原型炉 もんじゅ	(0)	(0)	(0)	(0)
関西電力(株) 美浜発電所	1号機*	/	/	/	/
	2号機*	/	/	/	/
	3号機	0	0	0	0
関西電力(株) 大飯発電所	1号機	0	0	0	0
	2号機	0	0	0	0
	3号機	0	0	0	0
	4号機	0	0	0	0
関西電力(株) 高浜発電所	1号機	0	0	0	0
	2号機	0	0	0	0
	3号機	4.5×10^5	923	24.2	23
	4号機	8.3×10^5	921	43.3	40

() 内は、試運転中の実績である。

* : 2017年4月19日に廃止措置計画が認可されたため、今期をもって掲載を終了する。

4-2 (1)各発電所の廃止措置作業状況

① 敦賀発電所1号機

2017年6月末現在

区分	年月日	概要説明
廃止措置	17.04.19	廃止措置計画認可
	17.04.19～	廃止措置作業中
	17.05.15～17.06.09	除染室サンプピットの除染工事終了
定期検査		

② 原子炉廃止措置研究開発センター（ふげん）

2017年6月末現在

区分	年月日	概要説明
廃止措置	08.02.12～	廃止措置作業中
	09.02.16～17.05.31	カランドリアタンク及び重水冷却系のトリチウム除去終了
	13.08.26～17.05.31	劣化重水貯槽、重水貯槽等のトリチウム除去終了
	17.04.03～	A復水器及び湿分分離器等の解体撤去作業中
定期検査		

③ 美浜発電所1号機

2017年6月末現在

区分	年月日	概要説明
廃止措置	17.04.19	廃止措置計画認可
	17.04.19～	廃止措置作業中
	17.04.25～	系統除染の現場工事準備作業中
定期検査		

4-2 (1)各発電所の廃止措置作業状況

④ 美浜発電所2号機

2017年6月末現在

区分	年月日	概要説明
廃止措置	17.04.19	廃止措置計画認可
	17.04.19～	廃止措置作業中
	17.05.09～	系統除染の現場工事準備作業中
定期検査		

4-2 (2) 高速増殖原型炉もんじゅの試験進捗状況

試験進捗状況

2017年6月末現在

区分	年月日	概要説明	進捗率(%)
性能試験	10. 5. 6～	性能試験中 (原子炉停止中)	10*
	12. 4. 2～	設備保全対策実施中	

* : 本格運転開始までに実施される性能試験の試験項目数を考慮し算出したもの。
2010年5月6日の性能試験再開以降の進捗率である。

4-3 各発電所の発電停止状況

2017年6月末現在

施設名	項目	発電停止状況		その他	
		年月日	概要	年月日	概要
日本原電(株) 敦賀発電所	1号機*	11.1.26～ 17.4.19	第33回定期検査作業実施	15.4.27 17.4.19	運転終了 廃止措置計画認可
	2号機	11.8.29～	第18回定期検査作業実施中 ・福島第一原子力発電所事故を踏まえた安全性向上対策および新規制基準対応中		なし
関西電力(株) 美浜発電所	1号機*	10.11.24～ 17.4.19	第25回定期検査作業実施	15.4.27 17.4.19	運転終了 廃止措置計画認可
	2号機*	11.12.18～ 17.4.19	第27回定期検査作業実施	15.4.27 17.4.19	運転終了 廃止措置計画認可
	3号機	11.5.14～	第25回定期検査作業実施中 ・福島第一原子力発電所事故を踏まえた安全性向上対策対応および新規制基準等対応中		なし
関西電力(株) 大飯発電所	1号機	10.12.10～	第24回定期検査作業実施中 ・福島第一原子力発電所事故を踏まえた安全性向上対策対応および新規制基準等対応中		なし
	2号機	11.12.16～	第24回定期検査作業実施中 ・福島第一原子力発電所事故を踏まえた安全性向上対策対応および新規制基準等対応中		なし
	3号機	13.9.2～	第16回定期検査作業実施中 ・福島第一原子力発電所事故を踏まえた安全性向上対策対応および新規制基準等対応中		なし
	4号機	13.9.15～	第15回定期検査作業実施中 ・福島第一原子力発電所事故を踏まえた安全性向上対策対応および新規制基準等対応中		なし
関西電力(株) 高浜発電所	1号機	11.1.10～	第27回定期検査作業実施中 ・福島第一原子力発電所事故を踏まえた安全性向上対策対応および新規制基準等対応中		なし
	2号機	11.11.25～	第27回定期検査作業実施中 ・福島第一原子力発電所事故を踏まえた安全性向上対策対応および新規制基準等対応中		なし
	3号機	16.12.9～ 17.6.9	第22回定期検査作業実施	17.6.9～	調整運転開始
	4号機	11.7.21～ 17.5.22	第20回定期検査作業実施	17.5.22～ 17.6.16	調整運転開始 第20回定期検査を終了し、営業運転を再開

*：2017年4月19日に廃止措置計画が認可されたため、今期をもって掲載を終了する。

4-4 各発電所の放射性廃棄物放出実績（気体廃棄物）

2017年4月～6月

区分 施設	期 間	気体廃棄物（希ガス等）		ヨウ素-131		粒子状物質		トリチウム
		平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	放出量 Bq
敦賀発電所	1号機	4月	—	—	—	—	—	2.4E+08
		5月	—	—	—	—	—	3.2E+08
		6月	—	—	—	—	—	3.9E+08
		3カ月	—	—	—	—	—	9.6E+08
	2号機	4月	—	—	—	—	—	5.3E+10
		5月	—	—	—	—	—	8.1E+10
		6月	—	—	—	—	—	1.0E+11
		3カ月	—	—	—	—	—	2.3E+11
	焼却炉排気筒	4月	/	/	—	—	—	—
		5月	/	/	—	—	—	—
		6月	/	/	—	—	—	—
		3カ月	/	/	—	—	—	—
雑固体処理建屋 排気口	4月	/	/	—	—	—	—	
	5月	/	/	—	—	—	—	
	6月	/	/	—	—	—	—	
	3カ月	/	/	—	—	—	—	
ふげん	原子炉施設 排気筒	4月	—	—	—	—	—	1.3E+09
		5月	—	—	—	—	—	2.0E+09
		6月	—	—	—	—	—	2.4E+09
		3カ月	—	—	—	—	—	5.8E+09
	重水精製施設 排気筒	4月	/	/	/	/	—	4.1E+08
		5月	/	/	/	/	—	5.8E+08
		6月	/	/	/	/	—	6.3E+08
		3カ月	/	/	/	/	—	1.6E+09
	廃棄物処理建屋 排気筒	4月	/	/	—	—	—	—
		5月	/	/	—	—	—	—
		6月	/	/	—	—	—	—
		3カ月	/	/	—	—	—	—
高速増殖原型炉 もんじゅ	排気筒	4月	—	—	—	—	—	1.3E+07
		5月	—	—	—	—	—	—
		6月	—	—	—	—	—	—
		3カ月	—	—	—	—	—	1.3E+07
	一般換気系 排気口	4月	/	/	/	/	/	—
		5月	/	/	/	/	/	—
		6月	/	/	/	/	/	—
		3カ月	/	/	/	/	/	—

(注1) 1.0E-01は 1.0×10^{-1} のことである。

(注2) 各ユニットで複数の排気筒がある場合の平均濃度は、各排気筒の放出量(Bq)の和を排気量(cm³)の和で除して算出している。

4-4 各発電所の放射性廃棄物放出実績（気体廃棄物）

2017年4月～6月

区分 施設		期 間	気体廃棄物（希ガス等）		ヨウ素-131		粒子状物質		トリチウム
			平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	放出量 Bq
美浜発電所	1号機	4月	—	—	—	—	—	—	4.1E+10
		5月	—	—	—	—	—	—	5.4E+10
		6月	—	—	—	—	—	—	7.7E+10
		3カ月	—	—	—	—	—	—	1.7E+11
	2号機	4月	—	—	—	—	—	—	5.6E+10
		5月	—	—	—	—	—	—	7.5E+10
		6月	—	—	—	—	—	—	8.4E+10
		3カ月	—	—	—	—	—	—	2.2E+11
	3号機	4月	—	—	—	—	—	—	9.4E+10
		5月	—	—	—	—	—	—	8.8E+10
		6月	—	—	—	—	—	—	6.3E+10
		3カ月	—	—	—	—	—	—	2.5E+11
	固体廃棄物 処理建屋	4月	—	—	—	—	—	—	2.0E+07
		5月	—	—	—	—	—	—	—
		6月	—	—	—	—	—	—	1.8E+08
		3カ月	—	—	—	—	—	—	2.0E+08
第2固体廃棄物 処理建屋	4月	—	—	—	—	—	—	1.5E+09	
	5月	—	—	—	—	—	—	1.5E+09	
	6月	—	—	—	—	—	—	3.2E+09	
	3カ月	—	—	—	—	—	—	6.1E+09	
大飯発電所	1号機	4月	—	—	—	—	—	—	7.8E+10
		5月	—	—	—	—	—	—	1.5E+11
		6月	—	—	—	—	—	—	2.7E+11
		3カ月	—	—	—	—	—	—	5.1E+11
	2号機	4月	—	—	—	—	—	—	9.6E+09
		5月	—	—	—	—	—	—	1.4E+10
		6月	—	—	—	—	—	—	8.9E+10
		3カ月	—	—	—	—	—	—	1.1E+11
	3号機	4月	—	—	—	—	—	—	3.3E+10
		5月	—	—	—	—	—	—	3.7E+10
		6月	—	—	—	—	—	—	4.5E+10
		3カ月	—	—	—	—	—	—	1.2E+11
	4号機	4月	—	—	—	—	—	—	4.9E+10
		5月	—	—	—	—	—	—	6.0E+10
		6月	—	—	—	—	—	—	7.3E+10
		3カ月	—	—	—	—	—	—	1.8E+11

(注1) 1.0E-01は 1.0×10^{-1} のことである。

(注2) 各ユニットで複数の排気筒がある場合の平均濃度は、各排気筒の放出量(Bq)の和を排気量(cm³)の和で除して算出している。

4-4 各発電所の放射性廃棄物放出実績（気体廃棄物）

2017年4月～6月

区分 施設	期 間	気体廃棄物（希ガス等）		ヨウ素-131		粒子状物質		トリチウム	
		平均濃度	放出量	平均濃度	放出量	平均濃度	放出量	放出量	
		Bq/cm ³	Bq	Bq/cm ³	Bq	Bq/cm ³	Bq	Bq	
大飯発電所	固体廃棄物 処理建屋	4 月	—	—	—	—	—	—	5.0E+08
		5 月	—	—	—	—	—	—	—
		6 月	—	—	—	—	—	—	—
		3カ月	—	—	—	—	—	—	5.0E+08
	廃棄物 処理建屋	4 月	—	—	—	—	—	—	1.5E+08
		5 月	—	—	—	—	—	—	1.4E+08
		6 月	—	—	—	—	—	—	2.0E+08
		3カ月	—	—	—	—	—	—	4.9E+08
高浜発電所	1号機	4 月	—	—	—	—	—	—	3.0E+10
		5 月	—	—	—	—	—	—	3.1E+10
		6 月	—	—	—	—	—	—	4.6E+10
		3カ月	—	—	—	—	—	—	1.1E+11
	2号機	4 月	—	—	—	—	—	—	7.5E+10
		5 月	—	—	—	—	—	—	7.1E+10
		6 月	—	—	—	—	—	—	3.6E+10
		3カ月	—	—	—	—	—	—	1.8E+11
	3号機	4 月	—	—	—	—	—	—	1.0E+11
		5 月	—	—	—	—	—	—	1.0E+11
		6 月	—	—	—	—	—	—	3.7E+10
		3カ月	—	—	—	—	—	—	2.4E+11
	4号機	4 月	—	—	—	—	—	—	1.1E+11
		5 月	—	—	—	—	—	—	7.8E+10
		6 月	—	—	—	—	—	—	8.8E+10
		3カ月	—	—	—	—	—	—	2.7E+11
	固体廃棄物 処理建屋	4 月	—	—	—	—	—	—	2.6E+08
		5 月	—	—	—	—	—	—	3.0E+09
		6 月	—	—	—	—	—	—	1.0E+09
		3カ月	—	—	—	—	—	—	4.3E+09
廃樹脂 処理建屋	4 月	—	—	—	—	—	—	2.7E+09	
	5 月	—	—	—	—	—	—	2.5E+09	
	6 月	—	—	—	—	—	—	2.2E+09	
	3カ月	—	—	—	—	—	—	7.4E+09	

(注1) 1.0E-01は 1.0×10^{-1} のことである。

(注2) 各ユニットで複数の排気筒がある場合の平均濃度は、各排気筒の放出量(Bq)の和を排気量(cm³)の和で除して算出している。

4-5 各発電所の放射性廃棄物放出実績（液体廃棄物）

2017年4月～6月

区分 施設	期 間	トリチウムを除く液体廃棄物		トリチウム	
		平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq
敦賀発電所	4 月	—	—	—	—
	5 月	—	—	2.1E-02	9.2E+10
	6 月	—	—	2.5E-03	1.1E+10
	3カ月	—	—	8.0E-03	1.0E+11
ふげん	4 月*1	—	—	9.7E-03	1.2E+10
	5 月*1	—	—	1.1E-02	1.4E+10
	6 月*1	—	—	3.6E-03	4.2E+09
	3カ月	—	—	8.2E-03	2.9E+10
高速増殖原型炉 もんじゅ	4 月	—	—	—	—
	5 月	—	—	—	—
	6 月	—	—	—	—
	3カ月	—	—	—	—
美浜発電所 1, 2号機	4 月	—	—	1.6E-03	8.3E+10
	5 月	—	—	1.9E-03	9.7E+10
	6 月	—	—	2.0E-02	9.3E+11
	3カ月	—	—	7.5E-03	1.1E+12
美浜発電所 3号機*2	4 月	/	/	/	/
	5 月	/	/	/	/
	6 月	/	/	/	/
	3カ月	/	/	/	/
大飯発電所 1, 2号機	4 月	—	—	2.7E-04	2.1E+10
	5 月	—	—	1.3E-03	9.1E+10
	6 月	—	—	2.6E-03	2.2E+11
	3カ月	—	—	1.4E-03	3.3E+11
大飯発電所 3, 4号機	4 月	—	—	1.6E-03	1.8E+11
	5 月	—	—	1.5E-04	1.8E+10
	6 月	—	—	7.4E-05	8.3E+09
	3カ月	—	—	6.0E-04	2.1E+11
高浜発電所 1, 2号機	4 月	—	—	1.4E-07	8.9E+06
	5 月	—	—	4.5E-04	2.8E+10
	6 月	—	—	2.7E-03	1.7E+11
	3カ月	—	—	1.0E-03	1.9E+11
高浜発電所 3, 4号機	4 月	—	—	4.4E-04	1.2E+11
	5 月	—	—	1.0E-03	2.9E+11
	6 月	—	—	8.6E-04	2.8E+11
	3カ月	—	—	7.9E-04	6.9E+11

(注) 液体廃棄物は、放水口ごとに集計している。ふげん発電所の放射性廃棄物実績については、重水精製施設からの放出量も含めて記載した。

(注) 敦賀発電所の液体廃棄物放出量については、雑固体減容処理設備からの放出も含まれている。

(注) 加圧水型を含む各発電所の液体廃棄物のトリチウムは、2次系から放出された物を含めて集計している。

*1：重水精製施設からの液体廃棄物放出実績なし。

*2：美浜3号機の定期検査に伴い、連絡配管により1、2号機放水口から放出した。(4/1～6/30)

4-6 各発電所の液体廃棄物中の核種存在比

2017年4月～6月

単位：%

核種 施設	期 間	²² Na	⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁹ Fe	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	その他
		敦賀発電所	4 月	/	—	—	—	—	—	—	—
	5 月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	6 月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	3カ月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ふげん	4 月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	5 月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	6 月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	3カ月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
高速増殖原型炉 もんじゅ	4 月	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	5 月	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	6 月	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	3カ月	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
美浜発電所 1, 2号機	4 月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	5 月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	6 月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	3カ月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
美浜発電所 3号機*	4 月	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	5 月	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	6 月	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	3カ月	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
大飯発電所 1, 2号機	4 月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	5 月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	6 月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	3カ月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
大飯発電所 3, 4号機	4 月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	5 月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	6 月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	3カ月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
高浜発電所 1, 2号機	4 月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	5 月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	6 月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	3カ月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
高浜発電所 3, 4号機	4 月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	5 月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	6 月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	3カ月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—

*：美浜3号機の定期検査に伴い、連絡配管により1、2号機放水口から放出した。(4/1～6/30)

(液体廃棄物中のストロンチウム-89、90)

2017年4月～6月

施 設	区 分	ストロンチウム-89		ストロンチウム-90	
		平均濃度 (Bq/cm ³)	放出量 (Bq)	平均濃度 (Bq/cm ³)	放出量 (Bq)
敦 賀 発 電 所		—	—	—	—
ふ げ ん		—	—	—	—
高速増殖炉原型炉もんじゅ		—	—	—	—
美浜発電所1・2号機		—	—	—	—
〃 3号機*		/	/	/	/
大飯発電所1・2号機		—	—	—	—
〃 3・4号機		—	—	—	—
高浜発電所1・2号機		—	—	—	—
〃 3・4号機		—	—	—	—

*：美浜3号機の定期検査に伴い、連絡配管により美浜1、2号機放水口から放出した。(4/1～6/30)

付録 1

大気中水分、雨水（降下物）のトリチウム分析結果について

【測定のための目的・経緯】

大気中水分、雨水（降下物）のトリチウムの測定については、平成8年度から定期調査として報告を開始し、平成17年度からは、大気中水分を期間調査から月間調査に、雨水を月間調査から期間調査に変更した。

トリチウムは表-1に示すように、単位放射能当たりの線量への寄与が他の主要な核種と比べ数百分の1～数千分の1と小さく、環境安全上大きな問題となるものではないが、放射性ヨウ素や ^{60}Co 等の放射性核種の放出がほとんどなくなったことから、環境モニタリングにおいて相対的にトリチウムの比重が高くなっており、また、希ガスを除けば、定常的に放出される唯一の核種であるので、定期調査に加えたものである。

県内で多数を占める軽水型原子炉施設を例にとれば、気体廃棄物中のトリチウムは、海への液体廃棄物の放出とは異なり、使用済燃料プールや定期検査時の原子炉キャビティーからの蒸発や格納容器パージがあるため、ほぼ定常的に発生し、放出される。

大気中水分のトリチウム分析は、吸入に伴う内部被ばく線量を把握するためであり、雨水（降下物）については、雨によるウォッシュアウト（洗い落とし）効果によって大気中のトリチウムが地表にもたらされることや、空気中の水蒸気と地表面に溜まった水とが比較的容易に入れ代わること等から、大気中水分の測定結果を解釈する際の参考として分析しているものである。トリチウムの存在形態としてはHTや T_2 のようなガス状の存在も考えられるが、環境では速やかにHTOに変換するとされているので、水分を採取することとしている。

表-1 1 Bqを経口または吸入摂取した場合の成人の実効線量係数 (mSv/Bq)

	経 口 摂 取	吸 入 摂 取
^3H	1.8×10^{-8}	1.8×10^{-8}
^{60}Co	3.4×10^{-6} (^3H に対する倍数 190)	3.1×10^{-5} (^3H に対する倍数 1,700)
^{131}I	1.6×10^{-5} (// 890)	1.5×10^{-5} (// 830)
^{137}Cs	1.3×10^{-5} (// 720)	3.9×10^{-5} (// 2200)

【試料の採取・測定法】

大気中水分は、線量率連続モニタの観測局等に設置した除湿器により月毎に採取したものを測定試料としている。雨水は、降下物の核種分析用の水盤または別の水盤から月毎に分取し、それを3ヶ月分まとめたもの（集合試料）を測定試料としている。測定試料を蒸留後、乳化シンチレータと混合、静置し、低バックグラウンド液体シンチレーション検出器により原則として計500分（50分×10回）測定している。検出限界値は測定条件によって多少異なるが、およそ0.5～1Bq/ℓである。

【数値の取扱い・大気中濃度への換算方法】

分析結果はBq/ℓ（水）で報告する。

測定値は、有効数字2桁または表示単位の小数点以下第1位までとし、第2位を四捨五入する。

トリチウム濃度をN、その誤差を ΔN とした時に、 $N \geq 3 \Delta N$ の場合を検出されたものとし、通常は過去3年間の最低値～最高値と比べ、これを超えた場合はそれ以前の値を参考に、発電所寄与について検討する。

なお、大気中水分のトリチウム濃度（Bq/ℓ）は、空気中の水分量が気温、相対湿度によって変動するため季節によって3～4倍値が違い、大気中濃度（Bq/m³）が一定であっても冬季は大きな値となるため、測定結果を見る場合は注意を要する。

大気中水分のトリチウム (Bq/ℓ) を大気中濃度 (Bq/m³) に換算するには、当該期間の平均気温と平均相対湿度を用いて求めた空気中の水分量 (ℓ /m³) を乗じる。2016年度の月毎の平均的な空気中の水分量は表-2の通りである。過去に報告された大気中水分のトリチウム濃度 (Bq/ℓ) も、同様に当該期間中の空気中の水分量を用いて大気中濃度 (Bq/m³) に換算することができる。

表-2 月毎および年間の平均的な空気中の水分量 (単位: mℓ /m³) *

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月平均	8.6	11.4	14.9	19.0	20.3	18.1	12.1	7.9	6.2	5.0	4.9	5.4
年平均	11.2											

* : 敦賀特別地域気象観測所における2016年度の平均気温および平均相対湿度を基に計算した。

【線量評価】

大気中水分を吸入することによる預託実効線量は、仮に100Bq/ℓ のトリチウム濃度の水分を含む空気を成人が年間連続して呼吸し続けると仮定した場合、表-1の線量換算係数および1日の呼吸量を用いれば、

$$(100\text{Bq}/\ell \times 0.0112\ell /\text{m}^3) \times 22.2\text{m}^3/\text{日} \times 365\text{日} \times 1.8 \times 10^{-8}\text{mSv}/\text{Bq} = 1.6 \times 10^{-4}\text{mSv}$$

と計算される。これは、公衆の線量限度 1 mSvあるいは2008年国連科学委員会報告によるラドン等の吸入による内部被ばく線量1.26mSvと比べ、無視し得るくらいの極めて小さな値である。

【過去の実績およびバックグラウンドレベル】

表-3に過去の実績として1975~2016年度の間最高値を、また、参考として「表-4」に対照地点の調査結果を示す。

表-3 過去の実績(1975~2016年度の最高値)

	地区	水中濃度	大気中濃度
大気中水分	高浜	52Bq/ℓ 07年11月小黒飯	0.38Bq/m ³
	対照	5.4Bq/ℓ 81年4月福井	0.062Bq/m ³
雨水	大飯	24.1Bq/ℓ 99年3月宮留	
	対照	6.5Bq/ℓ 75年6月福井	

表-4 対照地点の測定結果(2014~2016年度)

	試料数	平均濃度±標準偏差
大気中水分	36	0.64±0.16Bq/ℓ
雨水	12	0.79±0.16Bq/ℓ

(検出限界値未満の場合を含む全試料の平均)

付録 2

国際放射線防護委員会勧告による放射線防護

国際放射線防護委員会（ICRP）は、職業人および公衆を放射線から防護するために勧告を行っており、1958年にPublication 1（以下、Pub. 1）、1962年に Pub. 6、1965年に Pub. 9、1977年にPub. 26が採択されてきた。1977年勧告では、放射線防護の考え方が整理され、体系化された。

その後、広島・長崎における原爆被爆線量の再評価がなされたこと、被爆生存者の疫学データがまとまってきたこと、さらに放射線防護の考え方と進歩に鑑みて、ICRP1990年勧告をPub. 60としてまとめた。2001年度から、わが国の法体系にPub. 60が取り入れられた。

ICRPは、2007年に新勧告としてPub. 103を発行した。ICRP2007年勧告は1990年勧告を基礎とした放射線防護制度に対して大幅な変更を求めるものでないが、線量に関して適用の考え方を明確にするとともに係数の変更を行った。現在、2007年勧告の法令取り入れの検討が進められている。

1. 放射線防護の基本的な考え方

(1) 放射線影響の区分

放射線防護の観点から、人体に対する放射線影響を「確定的影響」と「確率的影響」の2つに区分している。

確定的影響とは、障害を引き起こす確率が、しきい値を超えると急速に1（100%）に上昇し、障害の重篤度が線量の大きさとともに変わるものであって、水晶体の白濁、脱毛、皮膚の美容上受け入れがたい変化などがその例である。被ばく線量をしきい値以下に制限することによって、影響の発生を防止することができる。

確率的影響とは、その影響の起きる確率がしきい値のない線量の関数とみなされるものであって、発ガンや遺伝的影響をいい、致死性悪性腫瘍、子と孫（2世代）の遺伝的欠陥などがその例である。表Ⅲ－1に確率的影響の確率係数を示す。これは、結果の重篤度を表現するため、損害の様々な構成要素を考慮に入れるように修正された確率的影響の発生確率であり、年齢と性について平均化して計算していることから「名目」と呼ばれる。

表 Ⅲ－1 損害で調整された確率的影響についての名目リスク係数（ $10^{-2}/Sv$ ）

被ばく集団	がん		遺伝的影響		合計	
	Pub. 103	Pub. 60	Pub. 103	Pub. 60	Pub. 103	Pub. 60
全集団	5.5	6.0	0.2	1.3	5.7	7.3
成人	4.1	4.8	0.1	0.8	4.2	5.6

(2) 目的

放射線による確定的影響の発生を防止し、確率的影響のリスクを合理的に達成できる程度に減少させる。

(3) 放射線防護体系

確定的影響の防止は被ばく線量をしきい値に達しないように制限すればよく、一方、確率的影響の防止は適切な線量限度を設けたうえで、被ばくを合理的に達成できる限り低く保つことによって達成できる。ICRPは、確率的影響があることを認識して線量限度に留まらず、次のような放射線防護体系を提言している。なお、1990年勧告では線量を増加させる「行為」と線量を減らす「介入」とを区別していたが、2007年勧告では放射線被ばくが「計画被ばく」、「現存被ばく」、「緊急時被ばく」の3つの状況で発生するとして、被ばく状況により防護体系を整理した。1990年勧告において、行為に対する防護の原則が示されたが、2007年勧告においても引き続きそれらの原則は防護体系の基本と考えられ、基本原則がどのように放射線源と個人に適用されるか、また線源関連の原則がどのように全

ての制御可能な被ばく状況に適用されるのかが明らかにされている。

- ①正当化の原則：すべての被ばく状況において、害より便益を大きくすべきである。
- ②防護の最適化の原則：すべての被ばくにおいて、被ばくする可能性、被ばくする人の数、およびその人たちの個人線量の大きさは経済的および社会的な要因を考慮して、合理的に達成できる限り低く保たれるべきである。
- ③線量限度適用の原則：患者の医療被ばくを除く計画被ばく状況においては、規制された線源からのいかなる個人への総線量も、適切な限度を超えるべきでない。

また、あらゆる放射線源が防護の対象になるとしながらも、線源または被ばく状況を規制する上での管理へのなじみややすさを考慮し、被ばくやリスクのレベルに応じて放射線防護管理の範囲を区別するため、管理を規制できない「除外」と管理は規制される必要がない「免除」の概念を導入した。

2. 等価線量と実効線量

確率的影響の確率は、吸収線量のみでなく線量の原因となる放射線の種類とエネルギーに依存する。このことは、線質（放射線の種類とエネルギー）に関係づけられた係数で吸収線量を加重することにより考慮される。この加重した線量のことを等価線量、この目的のための加重係数を放射線加重係数（ w_R ）という。組織Tの等価線量（ H_T ）は次式で与えられる。

$$H_T = \sum_R w_R \cdot D_{T,R}$$

ここで、 $D_{T,R}$ は組織・臓器Tについて平均された放射線Rに対する吸収線量である。放射線加重係数の値を表Ⅲ－2に示す。

また、確率的影響の確率と等価線量との関係は、照射された組織・臓器にも依存する。このため、確率的影響に対する個々の組織・臓器の寄与をすべての臓器・組織にわたって合計した実効線量が導入された。実効線量（E）は次の式で表される。

$$E = \sum_T w_T \cdot H_T$$

w_T は組織Tの組織加重係数である。組織加重係数の値を表Ⅲ－3に示す。この実効線量の基本的な定義式は1990年勧告から変わっていないが、2007年勧告では、新しい男女別の人体モデルにより男性と女性の臓器線量を別々に計算することが可能になり、その結果、実効線量は標準男性と標準女性の臓器・組織Tに対して評価された等価線量 H_T^M および H_T^F から次式のように計算される（性別値の平均化）。

$$E = \sum_T w_T \cdot \left[\frac{H_T^M + H_T^F}{2} \right]$$

表 Ⅲ－2 放射線加重係数

放射線の種類	放射線加重係数（ w_R ）	
	Pub. 103	Pub. 60
光子	1	1
電子および μ 粒子	1	1
中性子	中性子エネルギーの関数としての連続曲線	
陽子および荷電 π 中間子	2	5
アルファ粒子など	20	20

表 Ⅲ－3 組織加重係数

臓器・組織	組織加重係数 (w_T)		臓器・組織	組織加重係数 (w_T)	
	Pub. 103	Pub. 60		Pub. 103	Pub. 60
肺	0.12	0.12	食道	0.04	0.05
胃	0.12	0.12	膀胱	0.04	0.05
骨髄	0.12	0.12	肝臓	0.04	0.05
結腸	0.12	0.12	骨表面	0.01	0.01
乳房	0.12	0.05	皮膚	0.01	0.01
残りの組織	0.12	0.05	脳	0.01	—
生殖腺	0.08	0.20	唾液腺	0.01	—
甲状腺	0.04	0.05	合計	1	1

3. 線量限度の設定

線量限度は個人の被ばく線量を制限するために設定された値であり、計画被ばく状況にのみ適用されるが、患者の医療被ばくには適用されない。ICRPが勧告した線量限度を表Ⅲ－4に示す。この線量限度は、「安全」な範囲と「危険」な範囲との境界線でないことを、ICRPは強調している。

事故による放射線被ばくを除けば、一般公衆はもとより作業員といえども、しきい線量に近い放射線被ばくを受けることはあり得ない。放射線防護での線量限度を考えると、特に確率的影響が問題となる。実効線量限度は確率的影響の制限を考慮して設定されている。この限度によって確率的影響の発生確率を容認できるレベルまで制限することになる。ただし、眼の水晶体および限られた面積の皮膚については、実効線量限度によって確定的影響が必ずしも防護されるとは限らないので、これらの組織に対しても限度を設定した。

表 Ⅲ－4 計画被ばく状況における線量限度の勧告値

適用		職業被ばく	公衆被ばく
実効線量		決められた5年間の平均が 1年あたり20mSv*(1)	1年に1mSv*(2)
等価線量	眼の水晶体	150mSv/年	15mSv/年
	皮膚	500mSv/年	50mSv/年
	手先及び足先	500mSv/年	—

(1) 実効線量は任意の1年に50mSvを超えるべきでないという付加条件つき。

(2) 特殊な状況では、5年間にわたる平均が年あたり1mSvを超えなければ、単一年にこれよりも高い実効線量が許されることがありうる。

4. 線量限度設定の根拠となる考え方

容認できるレベルの判断にあたって、ICRPは日常生活においてどれくらいリスクであればそのリスクを容認できるかという、リスクの容認性に基礎を置いている。ICRPは、線量限度をいかなる合理的な根拠に基づいても被ばくは受け入れることができない「容認不可」と歓迎されないが合理的に耐えられる「耐容可」との間の領域における一つの境界値としている。即ち、「容認不可」なレベルの下限值であり、「耐容可」なレベルの上限値である。ICRP1977年勧告では、放射線と関係のない産業において、平均の年致死率は作業員百万人あたり約100人であり、その中の高リスク亜集団では平均の10倍のリスクにさらされる、という仮定に基づき「職業上の年致死率 10^{-3} 」を線量限度の基準となるリスクとして採用できるかもしれないと考えた。さらに「平均余命の損失」などの放射線リスクによる損害を考慮して総合的に判断した結果、ICRP1990年勧告では作業員と公衆に対してそれぞれ値が求められ、作業員に対して20mSv/年の連続被ばく（生涯1.0Sv）は容認できないレベルの下限値とした。一般公衆に対しては、作業員の場合と同様に「容認できるリスク」に関する判断に加えて、ラドンを除く自然放射線による被ばくが約1mSv/年であることを考慮して設定した。2007年勧告では1990年勧告の値や導出根拠がそのまま継承されている。

軽水型原子力発電所に対する線量目標値

ICRPの基本的な考え方である「as low as reasonably achievable」の取入れに関して、旧原子力安全委員会において「発電用軽水型原子炉施設周辺の線量目標値に対する評価指針」（昭和51年9月制定、平成13年3月最終改訂）が制定されている。

この指針によれば、発電用軽水炉施設の通常運転時における環境への放射性物質の放出に伴う周辺公衆の線量を低く保つための努力目標として、施設周辺の公衆の線量についての目標値は下記の通りである。

○実効線量 50マイクロシーベルト／年〔=50 μ Sv/y〕

1 敷地の全軽水型原子炉から環境に放出される放射性物質による実効線量。具体的には発電所周辺の集落における食生活等が標準的である人を対象とし、現実的と考えられる計算方法およびパラメータにより算出する。

①気体廃棄物については、放射性希ガスからのガンマ線による外部被ばくおよび放射性ヨウ素の体内摂取による内部被ばく。

②液体廃棄物については、海産物を摂取することによる内部被ばく。

これらの目標値を積極的に達成するために、各原子力発電所では放射性廃棄物の環境への放出について、保安規定で放出管理に係わる具体的な数値を下表に示すように定めている。

<放射性気体廃棄物：放出管理による放出管理目標値>

①希ガス (単位：Bq/年)

敦賀発電所	ふげん*	もんじゅ	美浜発電所	大飯発電所	高浜発電所
1.3 $\times 10^{15}$ 注1	— 注2	8.2 $\times 10^{13}$	1.0 $\times 10^{15}$ 注3	4.0 $\times 10^{15}$	3.3 $\times 10^{15}$

②ヨウ素-131 (単位：Bq/年)

敦賀発電所	ふげん*	もんじゅ	美浜発電所	大飯発電所	高浜発電所
1.2 $\times 10^{10}$ 注1	— 注2	1.5 $\times 10^8$	2.5 $\times 10^{10}$ 注3	1.0 $\times 10^{11}$	6.2 $\times 10^{10}$

③粒子状物質（コバルト-60） (単位：Bq/年)

敦賀発電所	ふげん*	もんじゅ	美浜発電所	大飯発電所	高浜発電所
5.9 $\times 10^7$ 注4	6.0 $\times 10^9$ 注5	—	—	—	—

④トリチウム (^3H) (単位：Bq/年)

敦賀発電所	ふげん*	もんじゅ	美浜発電所	大飯発電所	高浜発電所
—	1.4 $\times 10^{13}$ 注5	—	—	—	—

(注1) 「敦賀発電所」は敦賀1号機の廃止措置計画の認可を受け、保安規定を改正し、放出管理目標値を変更した。(保安規定改正日；2017年4月19日)

(注2) ふげん発電所運転終了に伴い、炉心から燃料がなくなったことから、保安規定を改正し、希ガス、ヨウ素-131の放出管理目標値を削除した。(保安規定改正日；2003年10月1日)

(注3) 「美浜発電所」は美浜1、2号機の廃止措置計画の認可を受け、保安規定を改正し、放出管理目標値等を変更した。(保安規定改正日；2017年4月19日)

(注4) 「敦賀発電所」は敦賀1号機の廃止措置計画の認可を受け、保安規定を改正し、敦賀1号機の廃止措置に伴い発生する粒子状放射性物質（コバルト-60）を放出管理目標値に追加した。(保安規定改正日；2017年4月19日)

(注5) 「ふげん発電所」は、廃止措置計画の認可を受け、「原子炉廃止措置研究開発センター」に組織名を変更し、廃止措置に伴い発生する粒子状放射性物質（コバルト-60）を放出管理目標値に追加し、トリチウムの放出管理目標値を変更した。(保安規定改正日；2008年2月12日)

*：「原子炉廃止措置研究開発センター」は、表記名を「ふげん」とする。

<放射性液体廃棄物：放出管理による放出管理目標値>

①放射性液体廃棄物（³Hを除く^{注6}）

（単位：Bq/年）

敦賀発電所	ふげん*	もんじゅ	美浜発電所	大飯発電所	高浜発電所
7.4×10^{10}	2.8×10^8 ^{注7}	5.5×10^9	7.1×10^{10} ^{注3}	1.4×10^{11}	1.4×10^{11}

（注 6）放射性液体廃棄物のトリチウム（³H）に関しては、各発電所の保安規定に以下の放出管理の基準値等が設けられている。

（単位：Bq/年）

敦賀発電所	ふげん*	もんじゅ	美浜発電所	大飯発電所	高浜発電所
7.7×10^{13}	8.5×10^{12} ^{注8}	9.2×10^{12}	1.1×10^{14} ^{注3}	2.9×10^{14}	2.2×10^{14}

（注 7）ふげん発電所運転終了に伴い、放水槽での希釈水量が減少することから、保安規定を改正し、放出管理目標値を変更した。（保安規定改正日；2003年10月1日）

（注 8）「ふげん発電所」は廃止措置計画の認可を受け、「原子炉廃止措置研究開発センター」に組織名を変更し、保安規定についても改正し、放出管理目標値を変更した。

（保安規定改正日；2008年2月12日）

*：「原子炉廃止措置研究開発センター」は、表記名を「ふげん」とする。

原子力発電所周辺の環境放射能調査

平成29年度（2017年度）第1四半期報告書

〔FERC第50巻 1号〕

福井県環境放射能測定技術会議

Fukui Environmental Radiation Monitoring Council
(FERC)

平成29年10月 発行

発行所 福井県環境放射能測定技術会議事務局
敦賀市吉河37-1 (〒914-0024)
福井県原子力環境監視センター
TEL. (0770) 25-6110

発行責任者 田賀 幹生

